

とっとりキャンパスライフ2018

平成30年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

発行 鳥取大学学生部学生生活課
〒680-8550
鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

電話 0857-31-5058

編集 鳥取大学学生生活支援委員会
学生生活実態調査専門委員会

2019年3月発行

※本報告書利用上の注意

本報告書に掲載されている本学独自の調査データを、引用・転載・コピーして二次利用されることは自由ですが、利用された場合は上記編集委員会（事務担当は発行者欄に記載）宛に利用内容をご報告願います。

とっとりキャンパスライフ2018

平成30年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

鳥
取
大
学

とっとりキャンパスライフ2018

平成30年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

はじめに

このたび、平成30年9月から10月にかけて実施した学生生活実態調査の結果を取りまとめ、報告書として刊行しました。

この学生生活実態調査は本学では平成17年度からは隔年(2年ごと)で実施しております。今回はくしくも「平成最後」の調査となってしまいましたが、この学生生活実態調査はおそらく大学が独法化される前から続いていると思われます。平成26年度(2014年)までは回答は紙媒体を回収する方法を採用しておりましたが、平成28年度(2016年)からは、Web上での回答する方式に変更しました。Web回答では、回答率が低下することが懸念されましたが、紙媒体回答であった平成24年度(2012年)の回答率は47.9%、平成26年度(2014年)は54.4%であったのに対して、Web回答に切り替えた平成28年度(2016年)は40.2%でありました。Web回答方式でも学生への呼びかけをすることで、ある程度の回答率を維持できるとの結果が得られました。そこで今回もWeb回答とした結果、46.2%と前回よりも6ポイント向上しました。回答呼びかけに素直に答えてくれた鳥取大学生の生真面目さが現れた結果と思っています。それを証拠に、自由記述欄には、建設的な意見の書き込みが多数ありました。まさにこの学生生活実態調査は、学生の住居、食生活などの生活実態、学業、課外活動、就職活動などの学生の動向が把握できる貴重なデータ集であると思います。

鳥取大学のホームページには平成22年度(2010年)からの調査結果を公表しています(<https://www.tottori-u.ac.jp/campuslife/life/investigation/>)。設問は多少変わっているものの10年間の学生生活状況の移り変わりを把握することができます。是非、過去のデータもご覧いただければと思います。

一方、本調査は「教育及び福利厚生 の改善と充実を図る」ことも目的のひとつです。今回得られたデータや意見と併せて、今後の大学運営上の資料として有効に活用していきます。

最後になりましたが、本調査の実施に当たり、回答して下さった全ての学生の皆さま、回答率向上のためご協力をいただいた教員の皆さま、調査の方向性の検討から報告書の編集までご協力いただいた学生生活実態調査専門委員の皆様、実施準備、アンケート配布、回収に協力していただいた学生生活課と学生支援センター及び学部教務係職員、そして専門委員会を支えていただいた中島教育担当理事を委員長とする学生生活支援委員会委員ほか、ご協力をいただいたすべての教職員の皆様に感謝いたします。

平成31年3月

鳥取大学学生生活支援委員会
学生生活実態調査専門委員会委員長

山口 武視

目次

はじめに	1
目次	2
調査・集計・編集の概要	3
基本編	
家計状況について	5
住居・通学方法について	12
アルバイトについて	14
授業以外での学習について	18
課外活動について	20
学生生活について	23
就職について	28
学生支援体制編	
経済支援体制について	31
学習支援体制について	34
生活支援体制について	41
就職支援体制について	43
大学の施設について	45
カリキュラムについて	46
その他	49
意見・要望	50
参考資料	
アンケート調査票	57

学生生活実態調査専門委員会委員名簿

委員長	山口武視	委員長	学生支援センター長	平29.4.1～31.3.31
	竹川俊夫	地域学部	准教授	平30.4.1～32.3.31
	海藤俊行	医学部	教授	平30.4.1～32.3.31
	大城隆	工学部	教授	平30.4.1～32.3.31
	緒方英彦	農学部	教授	平30.4.1～32.3.31
	武田元有	教育支援・国際交流推進機構(教育センター)	准教授	平29.4.1～31.3.31
	森川修	教育支援・国際交流推進機構(入学センター)	准教授	平29.4.1～31.3.31
	長尾博暢	教育支援・国際交流推進機構(キャリアセンター)	准教授	平29.4.1～31.3.31
	井上菜穂	教育支援・国際交流推進機構(学生支援センター)	准教授	平30.4.1～32.3.31
	三島香津子	保健管理センター	准教授	平29.4.1～31.3.31
	久保拓史	学生部	学生生活課長	平28.4.1～
	植田美穂子	学生部	学生生活課副課長	平30.4.1～31.3.31
	前根俊彦	学生部	学生部学生生活課 学生支援係長	平30.4.1～31.3.31
	大野賢一	学長室	教授	平30.4.1～31.3.31
委員会事務担当	竹中愛	学生部	学生生活課学生支援係	

調査・集計・編集の概要

- 調査の目的

本調査は、在学生の実態を把握し、本学の学生支援の質の向上に向けた施策の検討並びに修学指導などの基礎資料として活用することを目的とする。
- 調査期間

平成30年9月12日(水)～10月22日(月)
- 調査の対象

平成30年9月1日現在に在籍する学部と大学院学生を対象とした。
ただし、休学者、9月1日現在留学中の日本人学生、外国人留学生、連合獣医学研究科及び連合農学研究科他大学配置学生は除いた。
- 調査の方法

学生生活支援委員会学生生活実態調査専門委員会が、学部等の協力のもとWebシステムにより調査した。
- 集計の方法

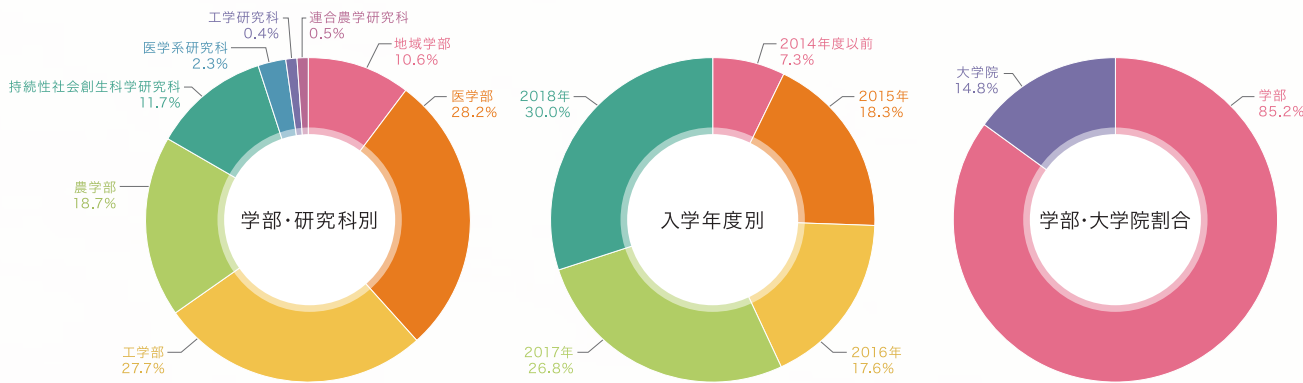
所属、入学年度等の基本項目により、設問毎に統計的にデータの集計を行った。
- 編集の方法

1. 調査データに基づき作成した各種グラフを基本に、学生生活実態調査専門委員会が分析を行った。
2. 構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても100%とならない。
3. 入学年度別データについては、解説の便宜上、「学年」の概念を用いて解説した。
4. 関係者の関心が特に高いと思われる調査項目は「ダイジェスト版」として抜粋し、リーフレットに要約編集した。

調査票の回収状況

学部・研究科	回収率(%)	対象者数(人)
地域学部	36.9	778
医学部	58.5	1,301
工学部	40.0	1,870
農学部	47.5	1,064
持続性社会創生科学研究科	61.5	512
医学系研究科	23.1	264
工学研究科	30.6	36
連合農学研究科	52.0	25
大学全体	46.2	5,850

調査に協力してくれた学生



TOTTORI CAMPUS LIFE2018

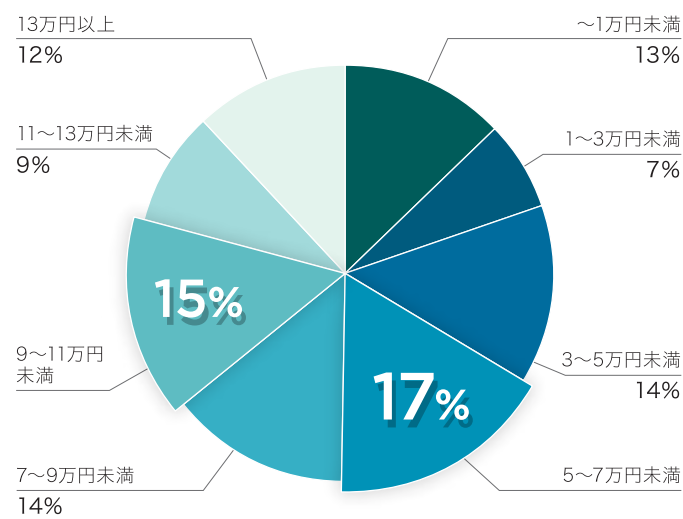
基本編

経済状況や住居、サークルなど、
日常の学生生活について
回答してもらいました。

01-1

直近1年間における平均的な1ヶ月の収入はいくらですか。

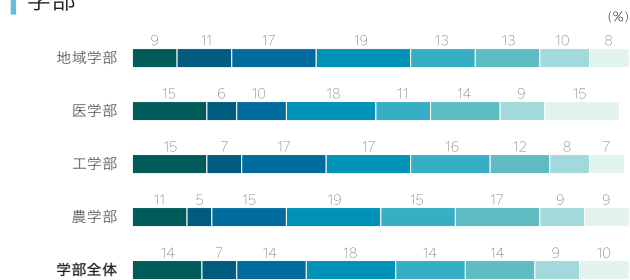
大学全体



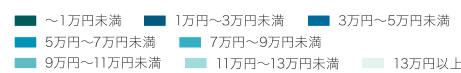
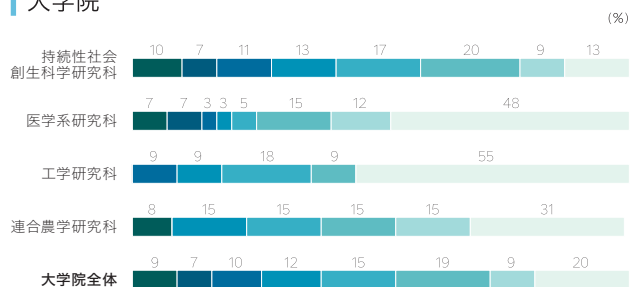
comment

1ヶ月の収入について一般的な学生の生活水準の指標として中央値を取ると、学部では「5～7万円」、大学院では「7～9万円」となります。一方、大学院生のうち医学系研究科と工学研究科の約半数が「13万円以上」の収入を得ています。

学部



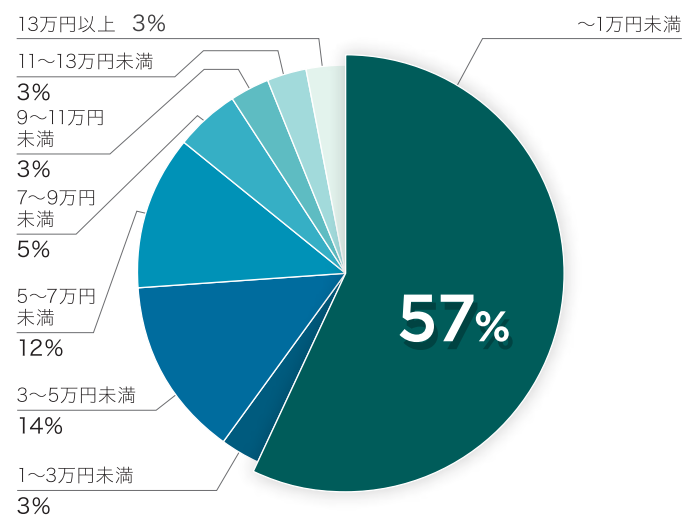
大学院



01-3

【収入内訳】奨学金

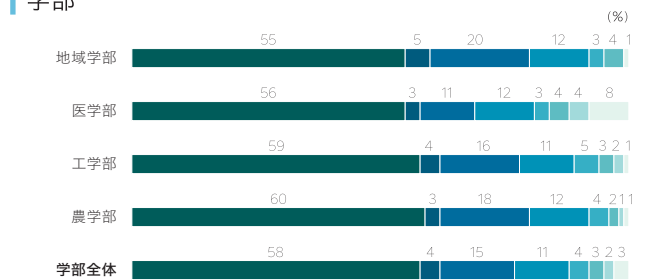
大学全体



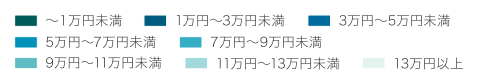
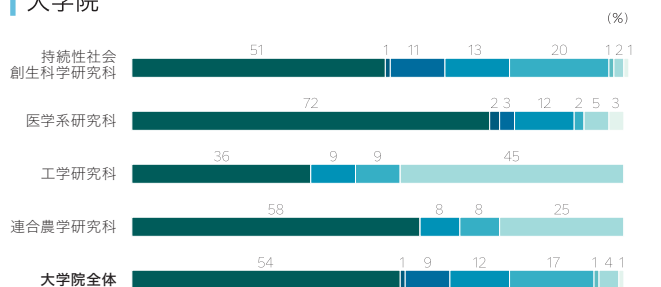
comment

大学全体では奨学金を受けている学生の割合は約4割で、9万円以上の比較的高額の奨学金を受けている割合は約1割です。学部では、医学部の学生の16%が9万円以上の奨学金を受けています。大学院では、工学研究科の学生の45%が「11～13万円」の奨学金を受けています。

学部



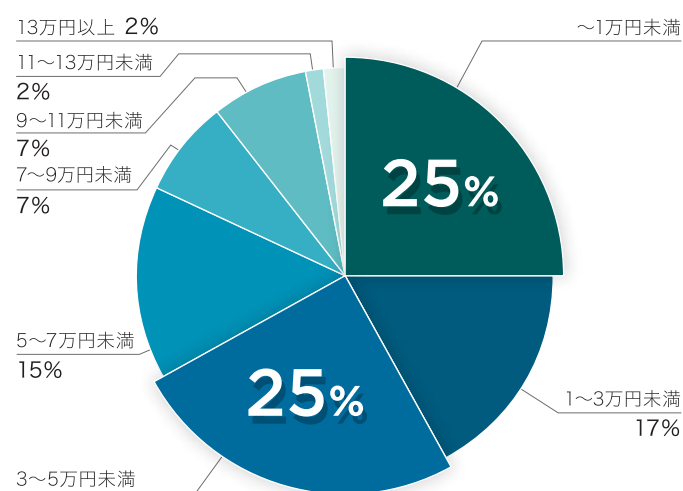
大学院



01-2

【収入内訳】家族等からの小遣いや仕送り

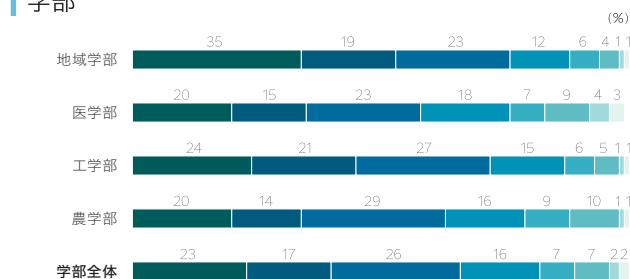
大学全体



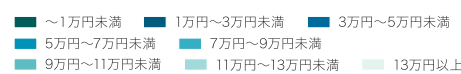
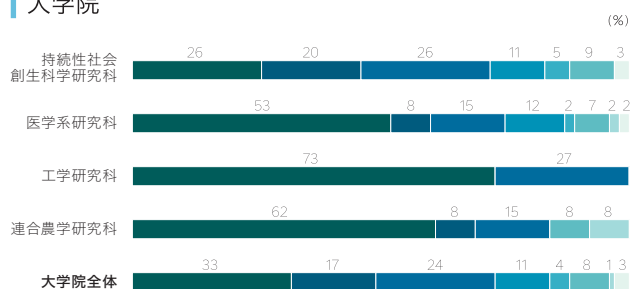
comment

学費負担者等からの小遣いや仕送りは、学部全体では「3～5万円」が26%で最も多くなっています。大学院全体では「1万円未満」が33%で最も多く、1/3の大学院生は学費負担者から学費以外の援助をあまり受けていないようです。

学部



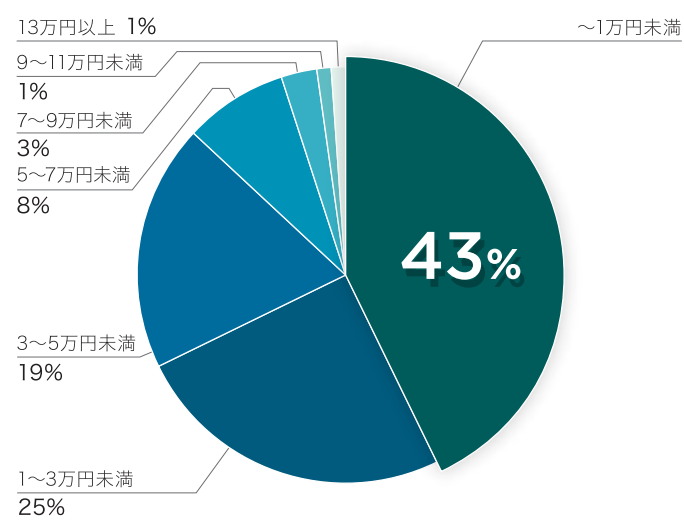
大学院



01-4

①【収入内訳】アルバイト

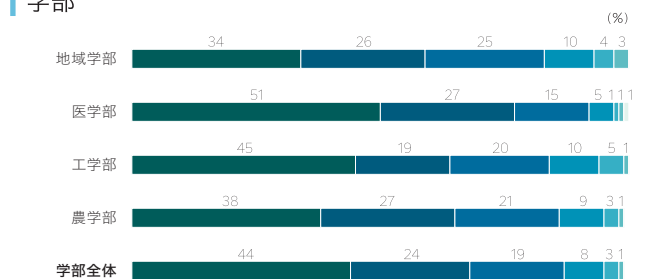
大学全体



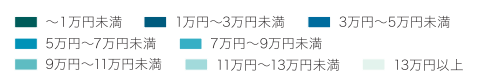
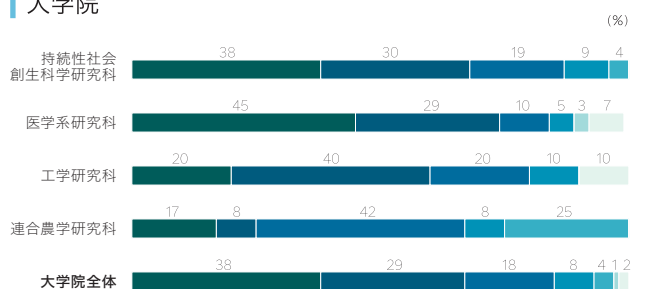
comment

学部では、アルバイトをあまりしていない「1万円未満」の学生は医学部だけが50%を超えており、工学部も45%と多い傾向がありました。一方、大学院では、医学系研究科や工学研究科の学生の約1割が11万円以上のアルバイト収入を得ているようです。

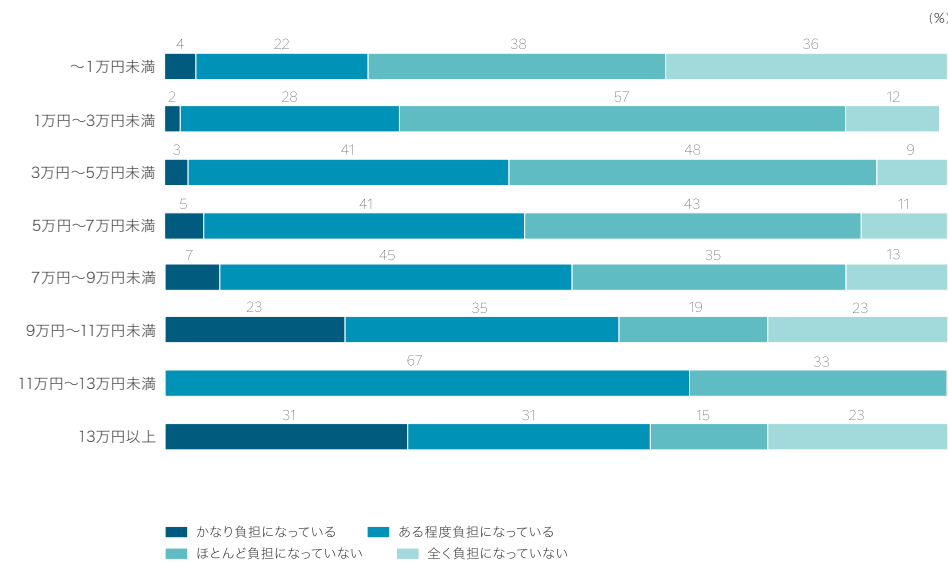
学部



大学院



01-4

②【収入内訳】アルバイト
(問10-5「アルバイトが修学上、負担になっていますか」の回答との相関)

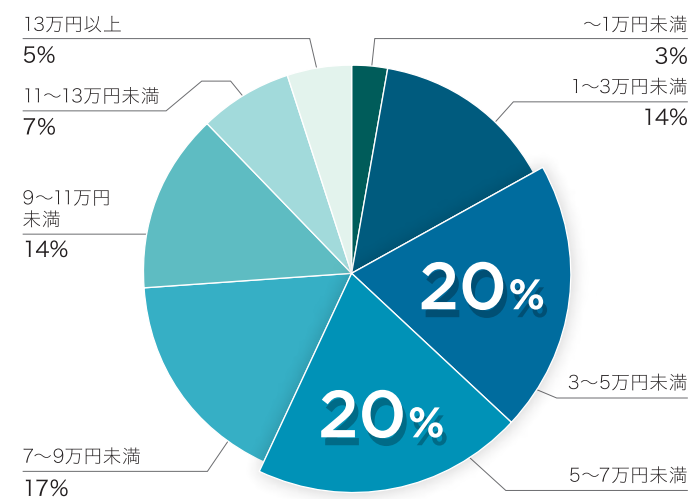
comment

学部では、アルバイトをあまりしていない「1万円未満」の学生は医学部だけが50%を超えており、工学部も45%と多い傾向がありました。一方、大学院では、医学系研究科や工学研究科の学生の約1割が11万円以上のアルバイト収入を得ているようです。

02-1

直近1年間における平均的な1ヶ月の支出はいくらですか。

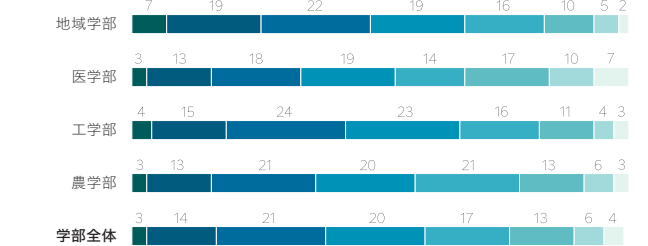
大学全体



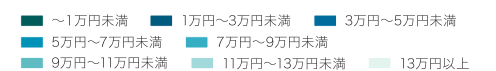
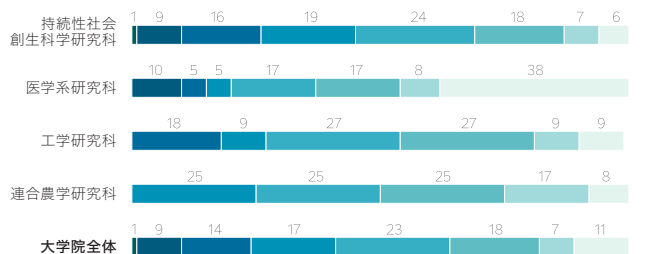
comment

支出合計について、一般的な学生の生活水準の指標として中央値を取ると、学部では「5～7万円」、大学院では「7～9万円」となります。大学院生のうち医学研究科の46%、連合農学研究科の25%が11万円以上の支出があるようです。

学部



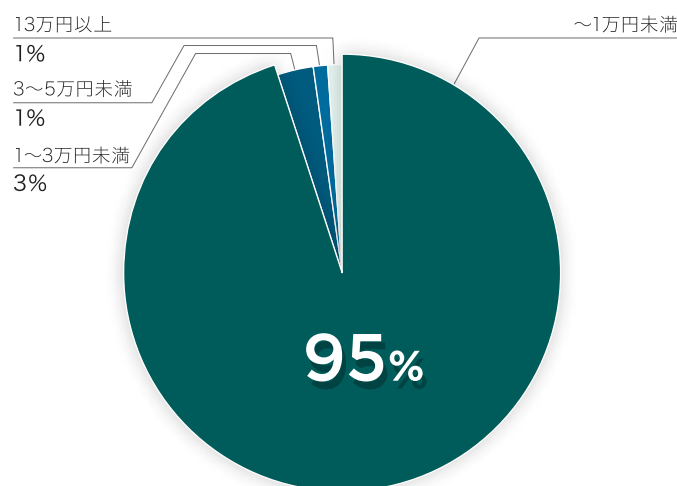
大学院



01-5

【収入内訳】その他

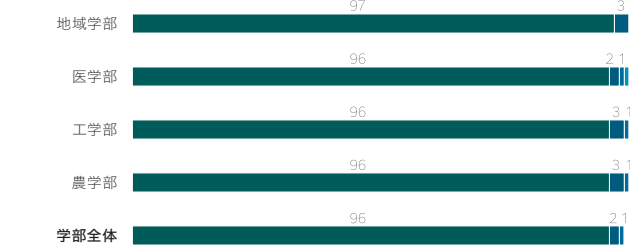
大学全体



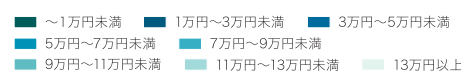
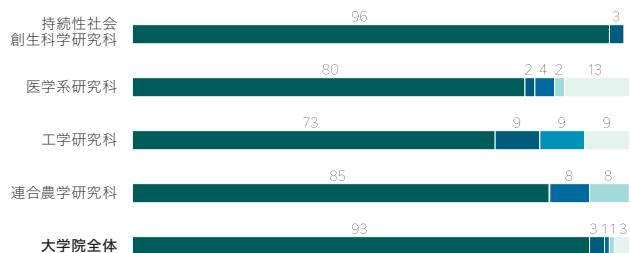
comment

学部学生では、その他の収入はわずかです。大学院生では医学系研究科、工学研究科、連合農学研究科の約1割の学生が11万円以上のその他の収入を得ています。これは社会人学生の給与収入と思われます。

学部



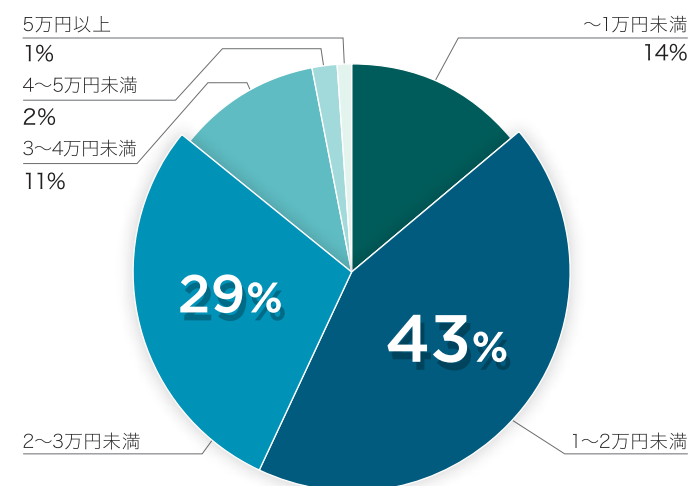
大学院



02-2

【支出内訳】食費

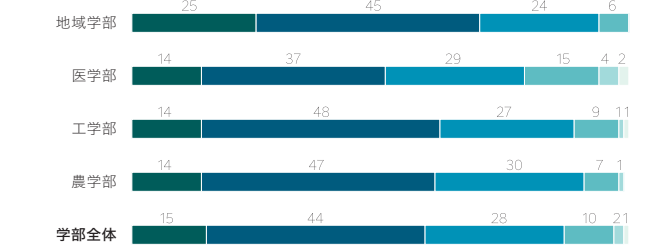
大学全体



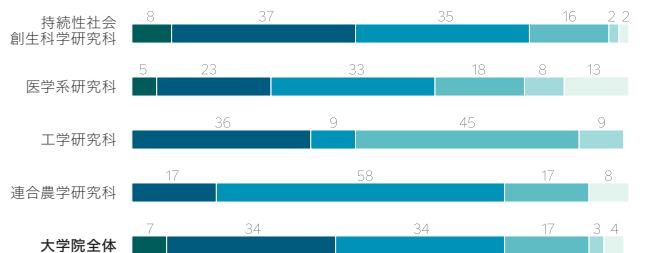
comment

食費支出の中央値は、学部全体では「1～2万円」、大学院では「2～3万円」です。大学全体では「1～3万円」の学生が約7割を占めています。

学部



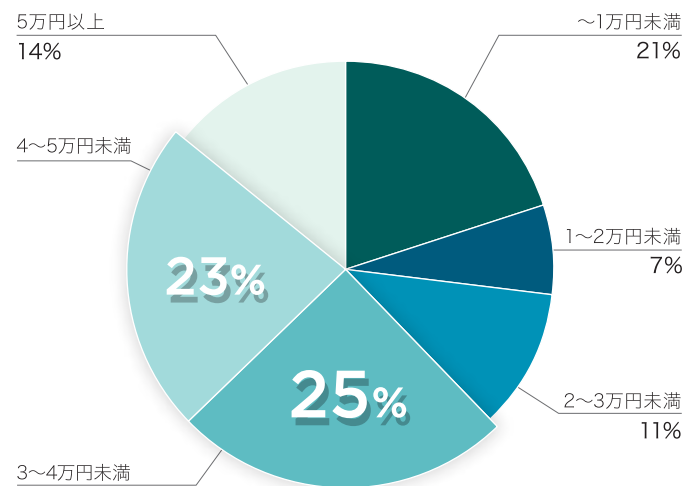
大学院



02-3

【支出内訳】住居費（家賃、光熱水料費含む）

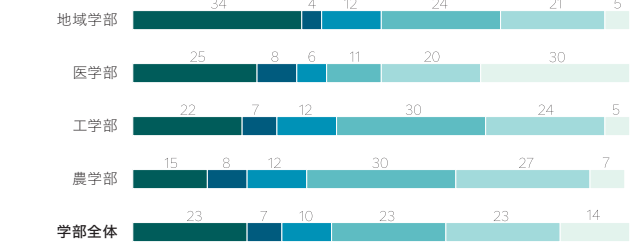
大学全体



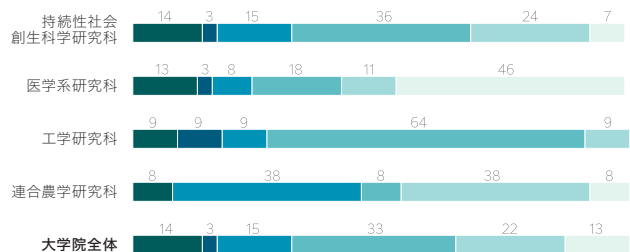
comment

住居費の支出について中央値を見ると学部全体では「3~4万円」でした。一方、5万円以上は医学部の30%、医学系研究科の46%を占めており鳥取地区の学部や研究科よりもかなり多くなっています。米子地区は米子市の中心にあるため住居費が高くなる傾向があるのかもしれませんが。

学部



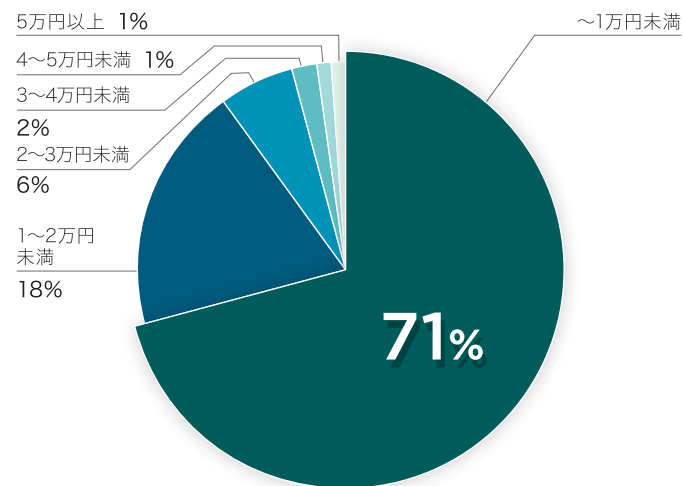
大学院



02-5

【支出内訳】課外活動費（サークル活動、ボランティア活動等）

大学全体



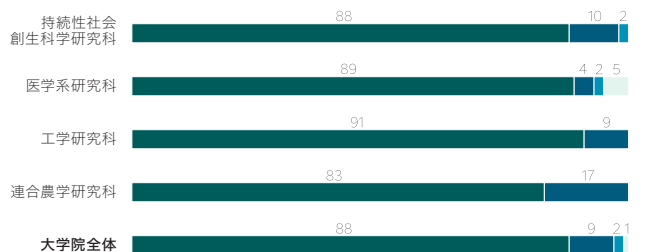
comment

課外活動費は1万円未満の学生が多く、大学全体の71%を占めています。1万円以上の学生は学部全体では31%ですが、大学院全体では12%ですので、学部の方が課外活動費の支出が多いことがわかります。学部では2万円以上支出している学生も約1割います。

学部



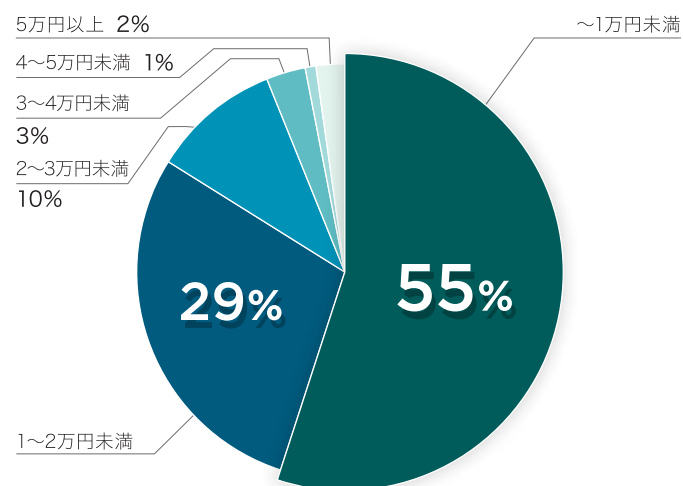
大学院



02-4

【支出内訳】修学費（教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等）

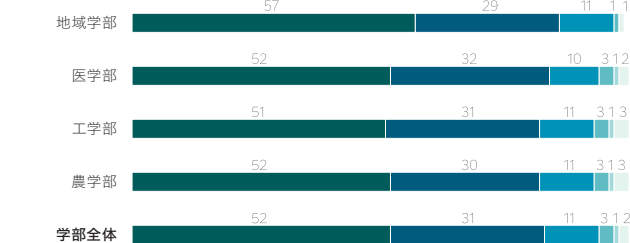
大学全体



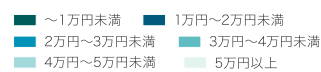
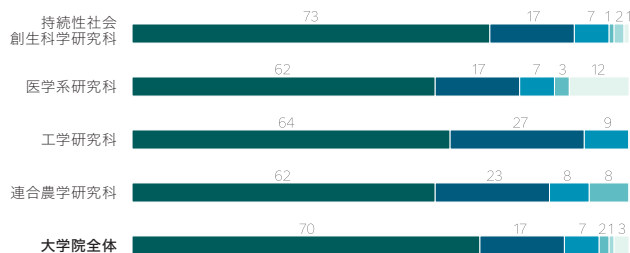
comment

修学費は1万円未満の学生が多く、大学全体では55%を占めています。1万円以上の学生は学部全体では48%ですが大学院全体では30%ですので、学部の方が修学費の支出が多いことがわかります。学部では教科書代などの出費が多いのかもしれませんが。

学部



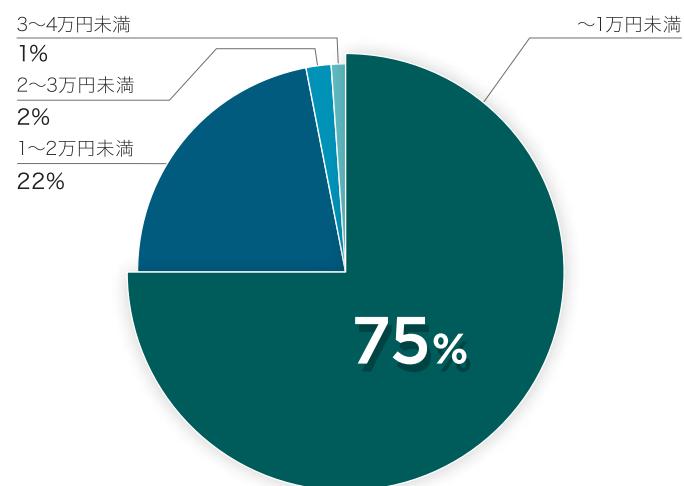
大学院



02-6

【支出内訳】通信費（携帯電話、インターネット等）

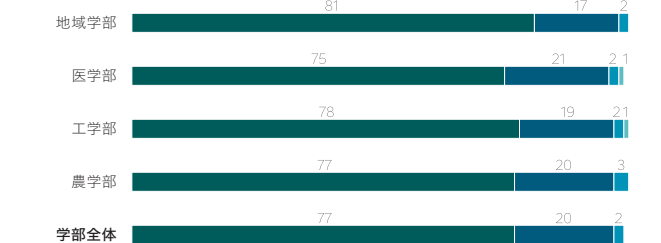
大学全体



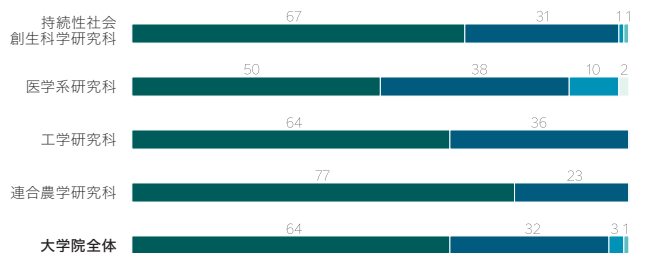
comment

通信費は、大学全体では2万円未満の学生が97%と大部分を占めています。前回調査と比較すると「1万円未満」は今回が75%（前回77%）、「1~2万円」は今回が20%（前回20%）で、ほとんど変化は見られませんでした。

学部



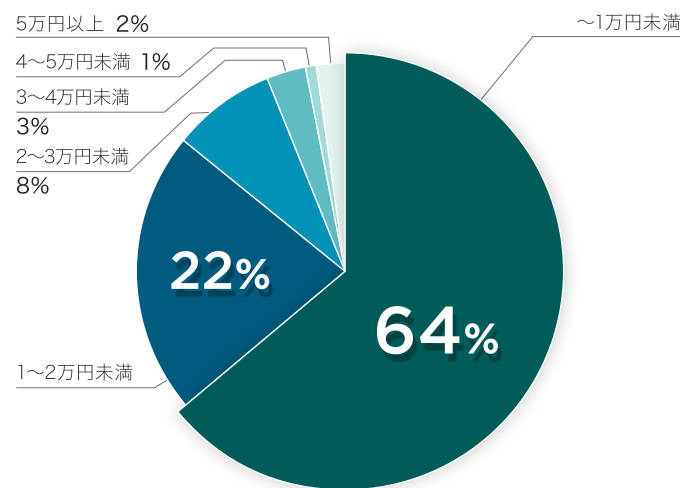
大学院



02-7

【支出内訳】その他（上記に含まれない経費）

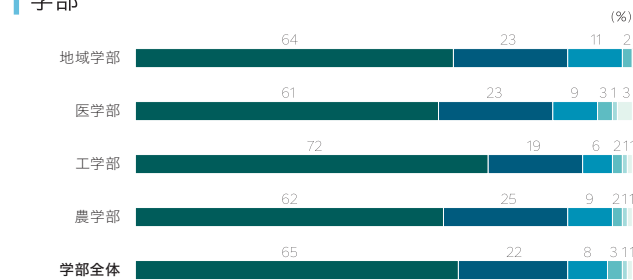
大学全体



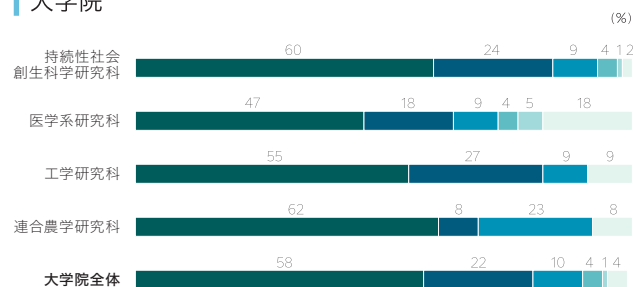
comment

その他の支出については、大学全体で「1万円未満」が64%、「1～2万円」が20%となっています。その一方で「3万円以上」の学生も6%いました。

学部



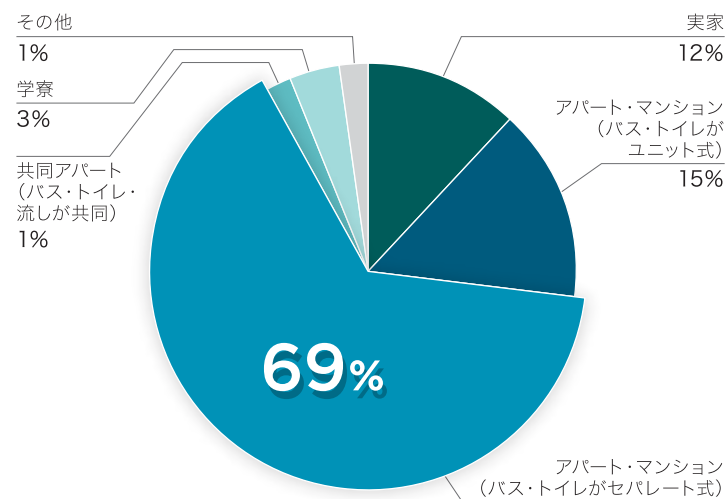
大学院



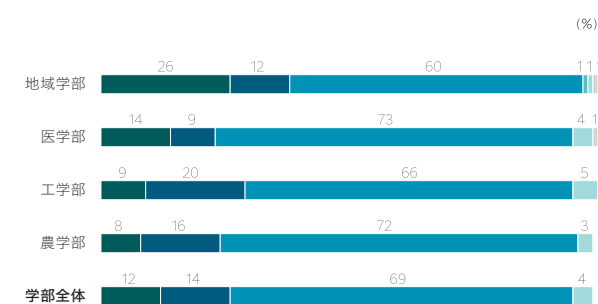
04

あなたの住居の種別はどれですか。

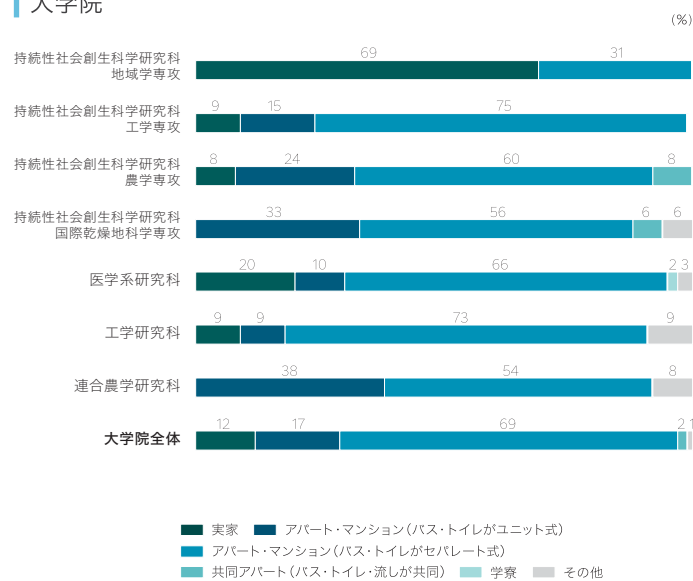
大学全体



学部



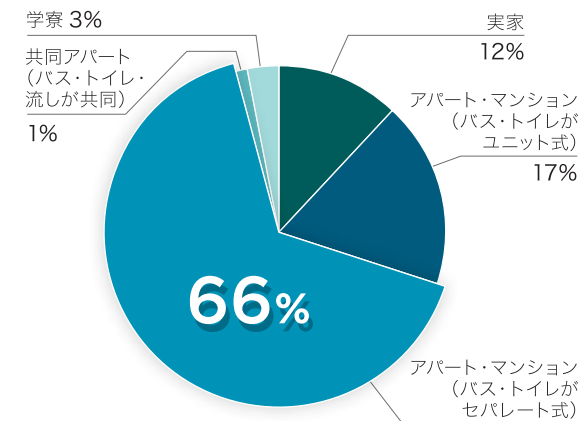
大学院



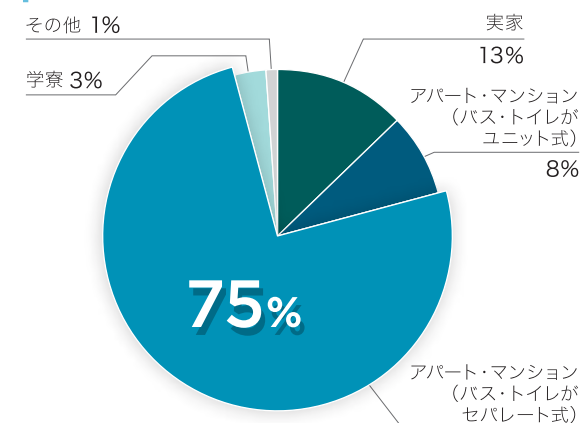
comment

バス・トイレがセパレート式のアパートに住んでいる学生が約7割を占めており、共同アパートに住んでいる学生はほとんどいない状況です。鳥取県内出身者が多いのは、学部別に見ると、地域学部、次いで医学部と思われます。

鳥取地区



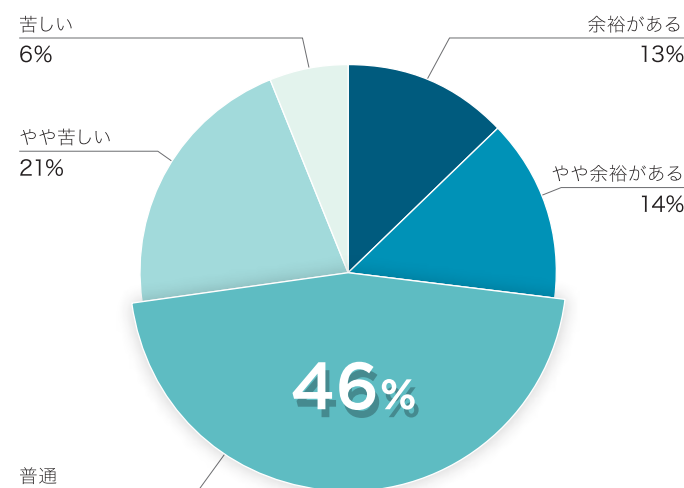
米子地区



03

あなたは、現在の自分の経済状況をどのように感じていますか。

大学全体



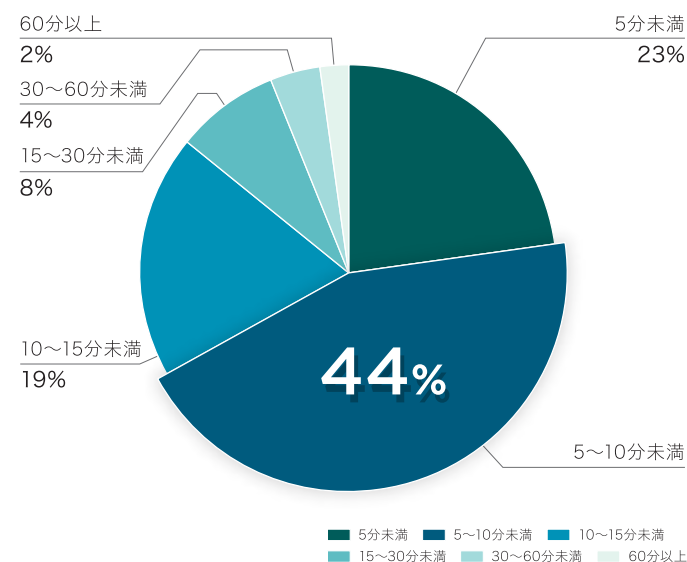
comment

経済状況については、大学全体では普通が46%（前回45%）、ある程度余裕のある学生が27%（前回27%）、苦しさを感じている学生が27%（前回28%）で、前回調査とほとんど同様でした。鳥取大学では3割弱の学生が経済的な困難さを抱えて学生生活を送っています。

06

あなたの通学時間(片道)はどのくらいですか。

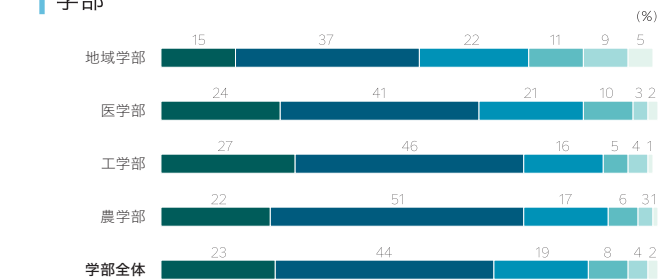
大学全体



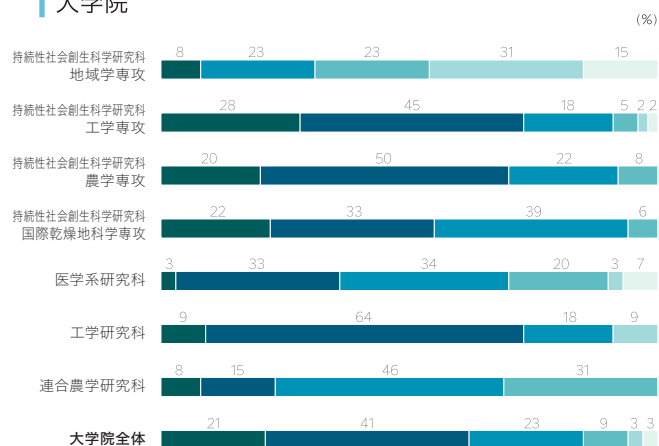
comment

通学時間が10分未満の学生が約7割、15分未満だと約9割にのびます。問4の回答も踏まえると、大学周辺にバス・トイレがセパレート式のアパートが豊富にあることがわかります。ただ、地域学部の学生は自宅から通っている学生が多いため、30分以上かけて通学している学生が3割以上になっています。

学部



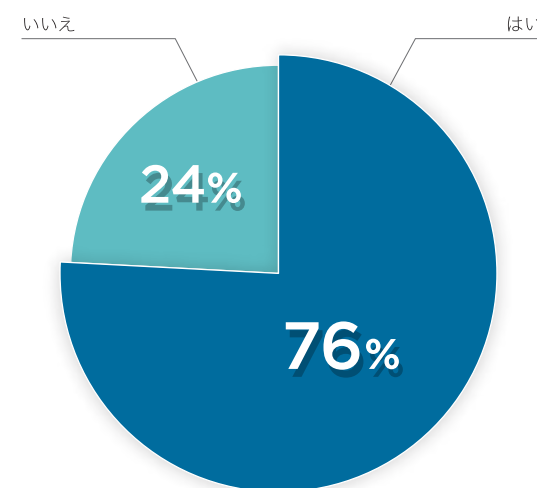
大学院



08

自転車の賠償保険(生協の賠償責任保険など)に加入していますか。

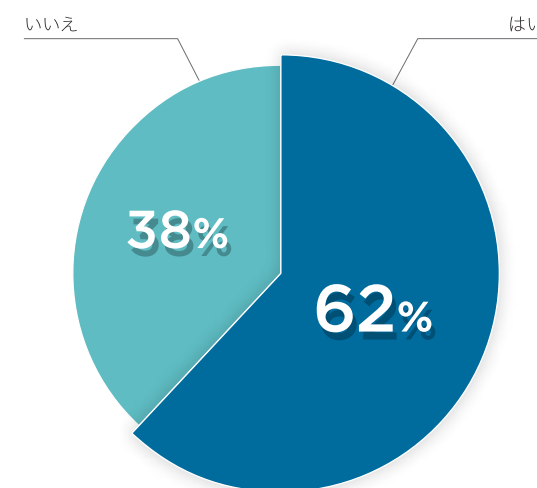
学部全体



comment

2年前の調査と同じく、3割ほどの学生が保険に未加入です。自転車事故による損害賠償は非常に多額になることもあるため、保険加入への啓蒙活動が必要かと思われます。

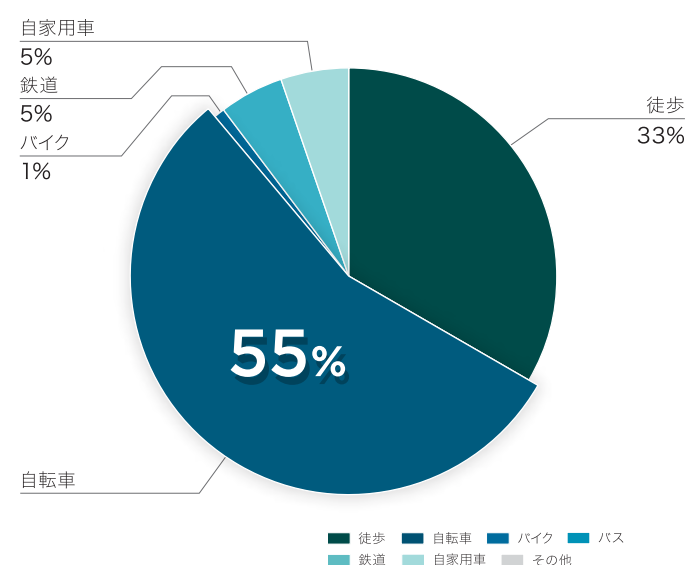
大学院全体



07

あなたの通学方法は何ですか。(乗継の場合はもっとも長い区間の手段を選んでください。)

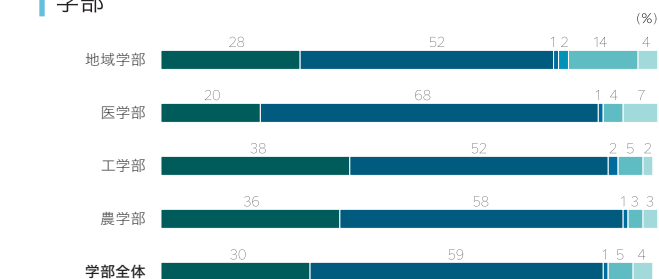
大学全体



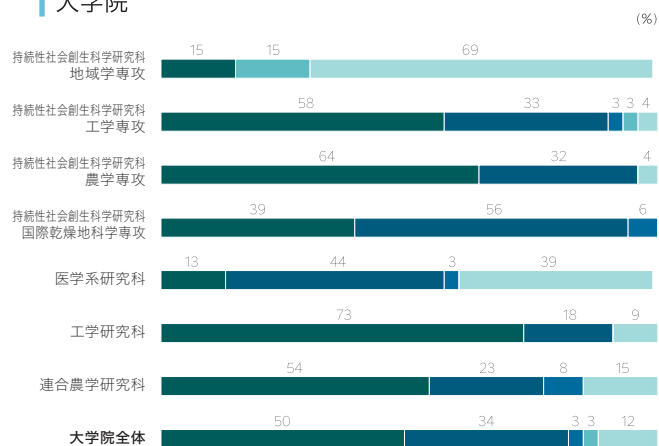
comment

約9割の学生が徒歩または自転車で通学しており、問6の回答も踏まえると、ほとんどの学生が大学周辺に住んでいるようです。地域学部の学生は自宅から通っている学生が多いため、鉄道を利用している学生も15%ほどいます。

学部



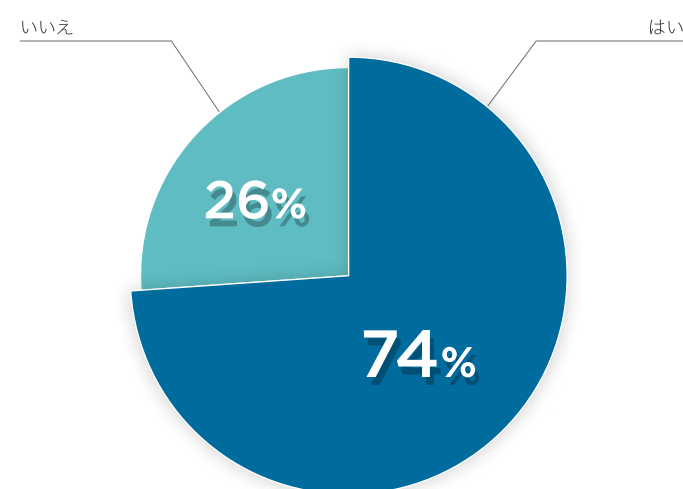
大学院



09

あなたは、直近1年間にアルバイトをしましたか。

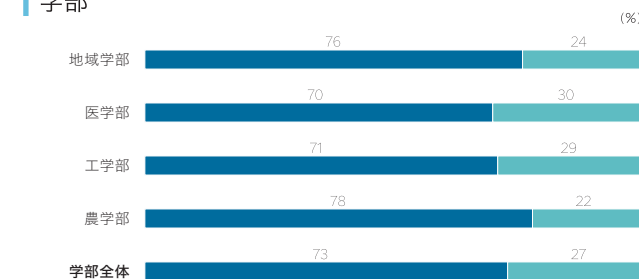
大学全体



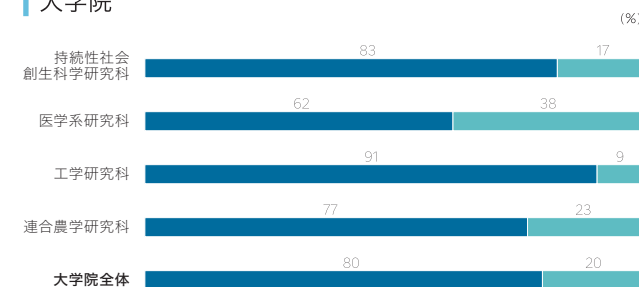
comment

大学全体では、直近1年間に74%と多くの学生がアルバイトを経験しています。学部・大学院で比較すると、学部生のアルバイト経験者は73%ですが、大学院生になると経験者の割合は80%に上昇しています。

学部



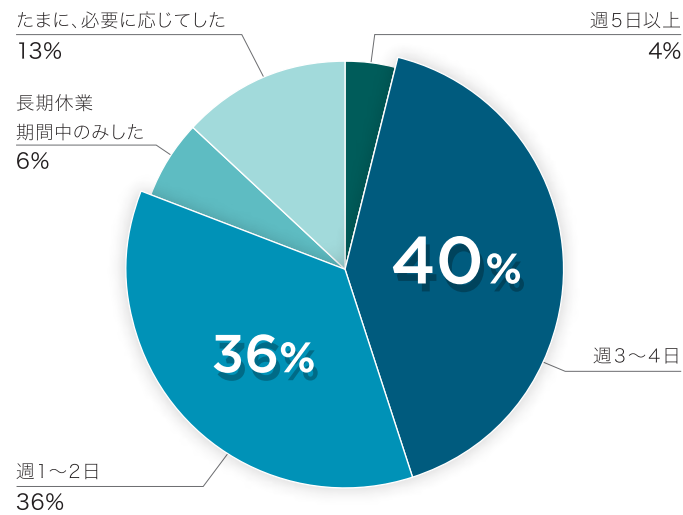
大学院



10-1

あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。

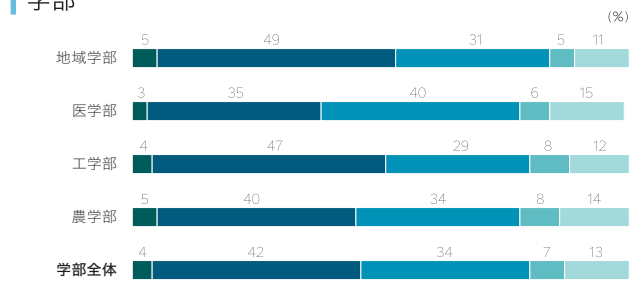
大学全体



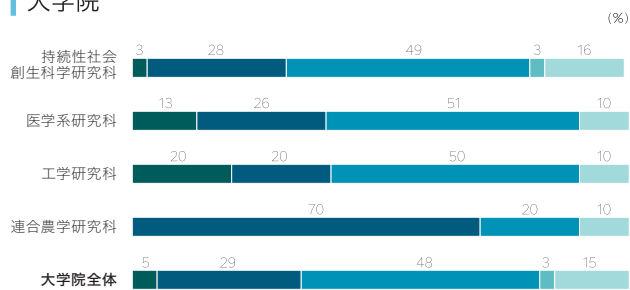
comment

大学全体では「週3～4日」と「週1～2日」が4割前後で最も多くなっています。学部・大学院で比較すると、学部生は「週3～4日」が約4割で最多であるのに対して、大学院生は「週1～2日」が約5割で最多となっており、やや日数が少なくなっています。

学部



大学院

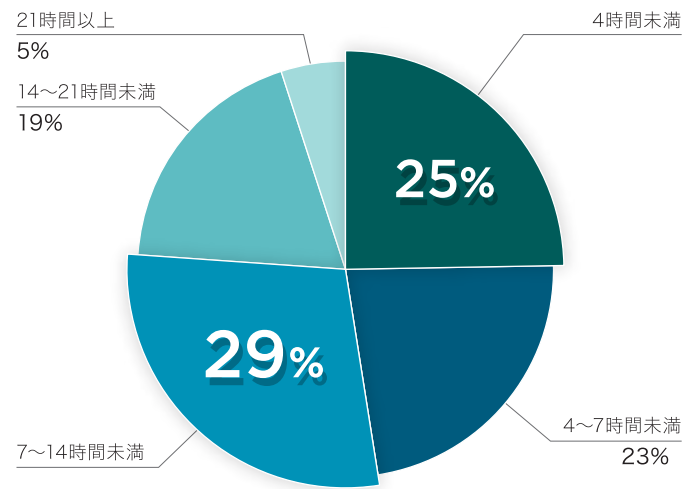


週5日以上 週3～4日 週1～2日
長期休業期間中のみした たまに、必要に応じてした

10-3

1年間を平均して1週間何時間ぐらいアルバイトをしましたか。

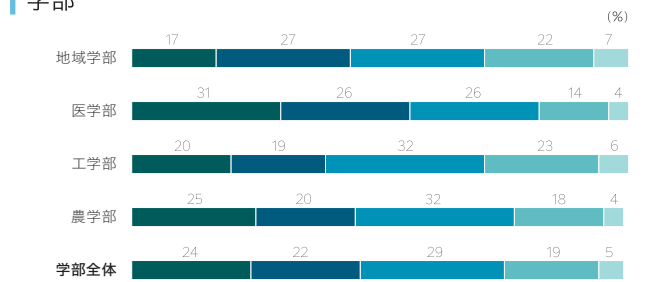
大学全体



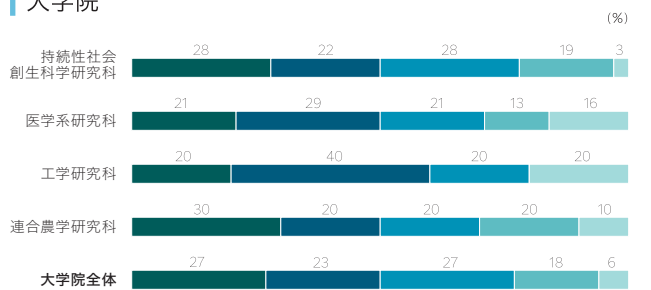
comment

学部生・大学院ともに「7～14時間未満」が最も多く（大学全体で29%）、「4時間未満」がこれに続きます（大学全体で25%）。一方、大学院生のうち、工学研究科生については、「21時間以上」の長時間アルバイトに従事している割合が2割に上っているのが特徴です。

学部



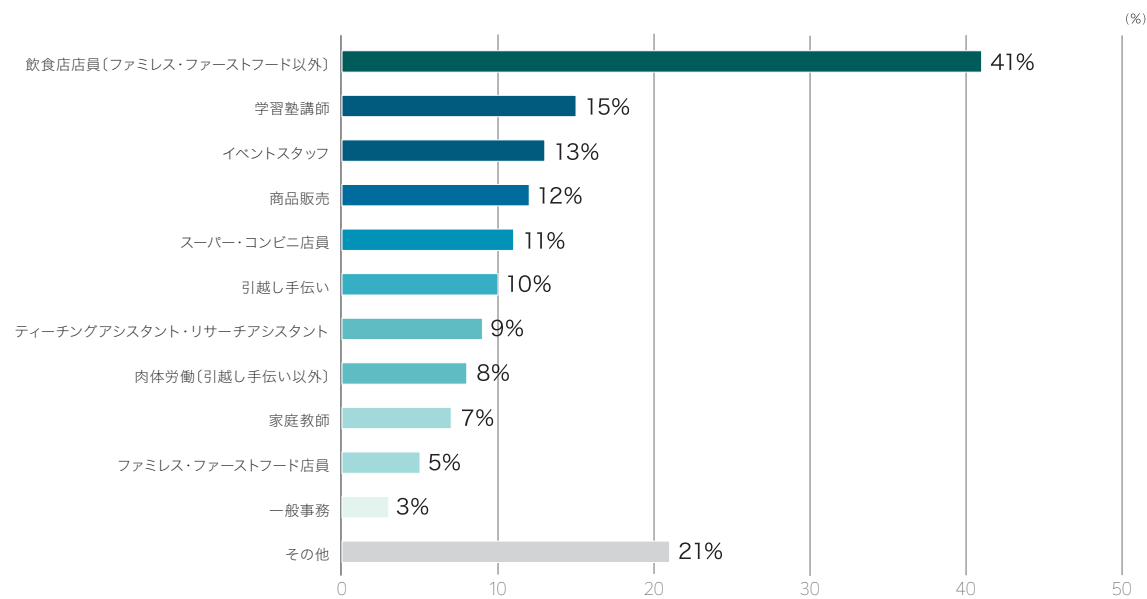
大学院



4時間未満 4～7時間未満 7～14時間未満
14～21時間未満 21時間以上

10-2

直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。〔複数選択可能〕

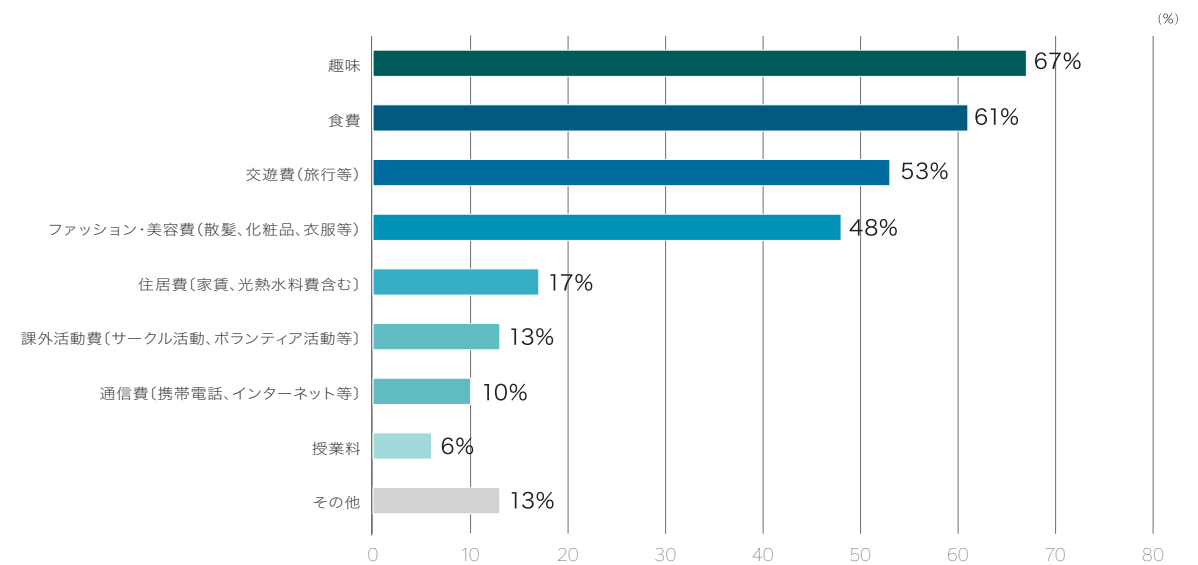


comment

学部生については、「飲食店員(ファミレス・ファーストフード以外)」が43%で最も割合が多く、大学院生については、「ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント」が45%で最も多くなっています。学部生では、医学部生が「塾講師」や「家庭教師」をしている割合が高く、大学院生では、工学研究科生が「塾講師」をしている割合が高いのが特徴です。

10-4

アルバイトの収入は、何に使いましたか。または何に使う予定ですか。〔複数選択可能〕



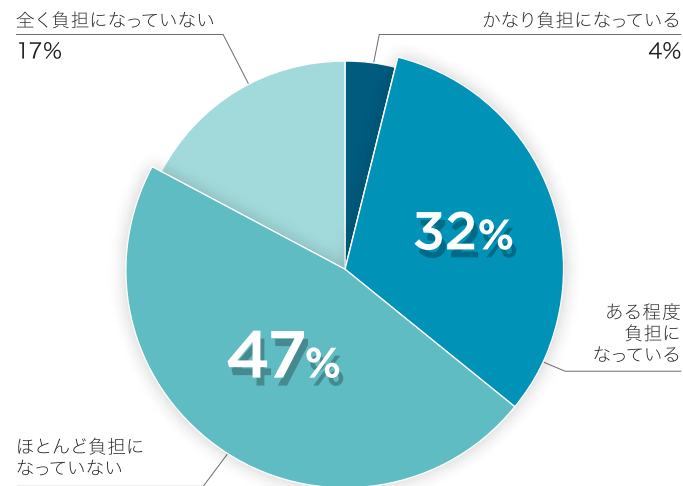
comment

大学全体では、割合が高いものから順に、「趣味」(67%)、「食費」(61%)、「交遊費(旅行等)」(53%)、「ファッション・美容費(散髪、化粧品、衣服等)」(48%)となっています。学部・大学院で比較すると、大学院生は、「食費」、「住居費(家賃、光熱水料費含む)」、「通信費(携帯電話、インターネット等)」、「授業料」が学部生より10ポイント以上高く、アルバイトで生活費や学費を補完する傾向が見られます。

10-5

① アルバイトが修学上、負担になっていますか。

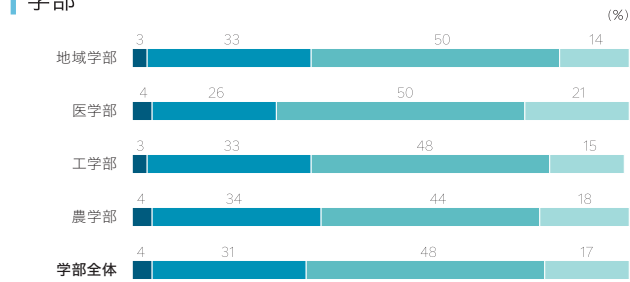
大学全体



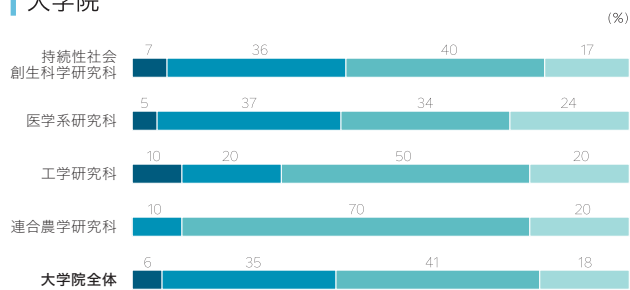
comment

学部生・大学院ともに「ほとんど負担になっていない」が最も多く（大学全体で47%）、「ある程度負担になっている」がこれに続いています（大学全体で32%）。学部では、医学部生の「全く負担になっていない」の割合が高いこと、大学院では、医学研究科生の「全く負担になっていない」の割合が高い一方で、工学研究科生の「かなり負担になっている」の割合が比較的高いことも特徴です。

学部



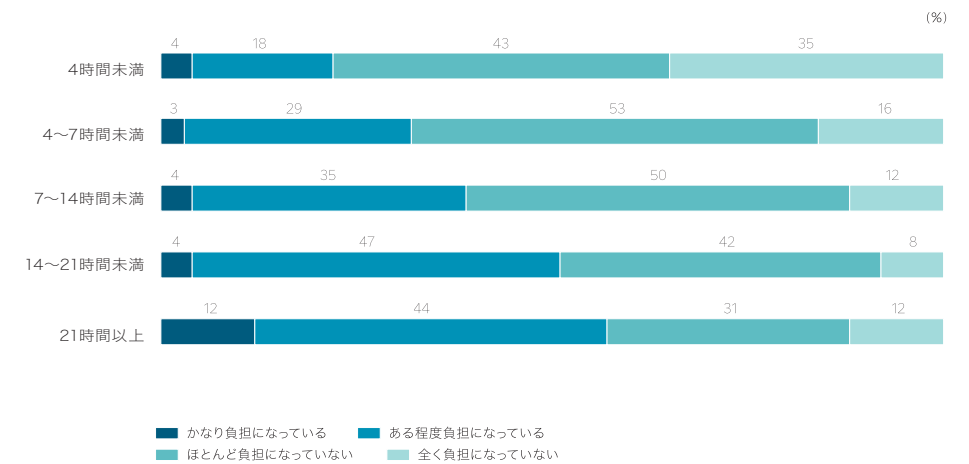
大学院



かなり負担になっている ある程度負担になっている
ほとんど負担になっていない 全く負担になっていない

10-5

③ アルバイトが修学上、負担になっていますか。（問10-3「1年間で平均して1週間何時間ぐらいアルバイトをしましたか」との相関）

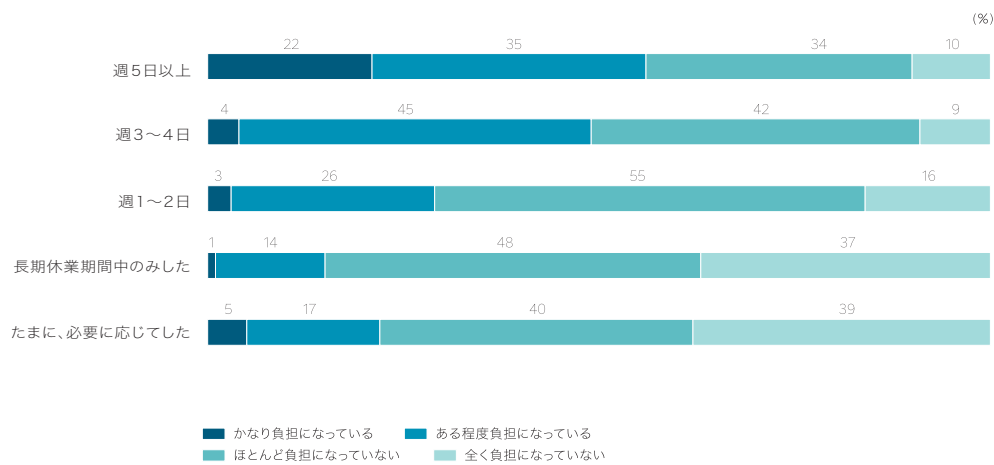


comment

「かなり負担になっている」と「ある程度負担になっている」をあわせた負担感のあるグループと、「ほとんど負担になっていない」と「全く負担になっていない」をあわせた負担感の少ないグループで割合を比べると、「4時間未満」では2:8、「4～7時間未満」では3:7、「7～14時間未満」では4:6、「14～21時間未満」では5:5と、時間が増すにつれて負担感も増していることが分かります。「21時間以上」になると負担感のあるグループが過半数を占めるとともに、「かなり負担になっている」の割合も1割を超えています。

10-5

② アルバイトが修学上、負担になっていますか。（問10-1「直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか」との相関）



かなり負担になっている ある程度負担になっている
ほとんど負担になっていない 全く負担になっていない

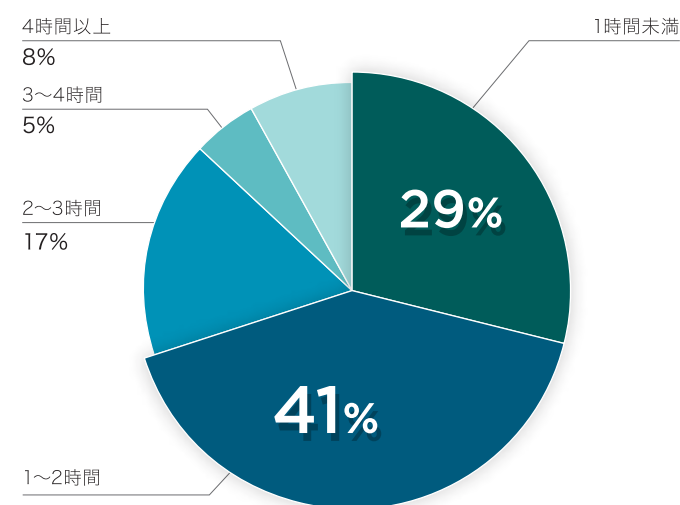
comment

「週1～2日」までは「ほとんど負担になっていない」の割合が最も多いのに対して、「週3～4日」以上に頻度が上がると、「ある程度負担になっている」の割合が最多に転じて負担感が強まることが分かります。さらに、「週5日以上」アルバイトをしている学生については、「かなり負担になっている」の割合が22%まで跳ね上がっています。

11

あなたは授業以外で、予習・復習の他、宿題やレポート作成を含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。

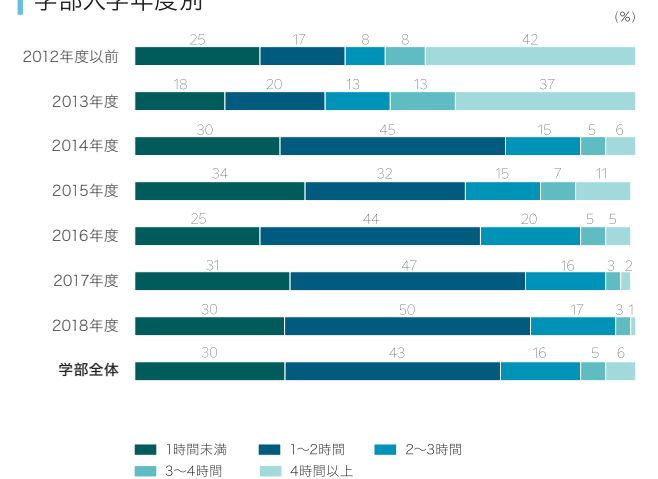
大学全体



comment

授業以外の勉強時間は、学部生の約7割が2時間未満と答えており、学部の差はほとんどありません。大学院生では2時間未満が約5割、4時間以上が2割であり、二極化の傾向が見られます。研究科、専攻によっても違いが見られます。勉強時間は学部生より大学院生の方が多いようです。

学部入学年度別

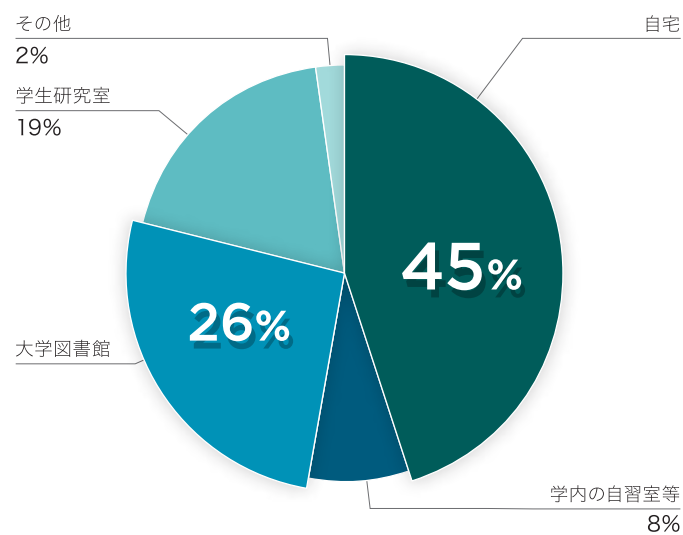


1時間未満 1～2時間 2～3時間
3～4時間 4時間以上

12

授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。

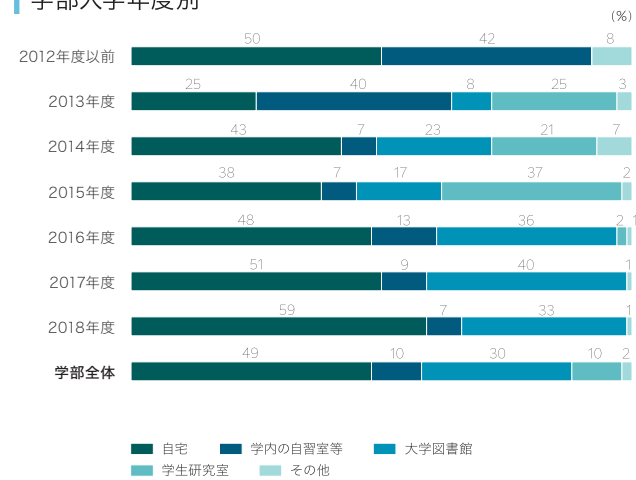
大学全体



comment

授業以外で勉強する場所について、学部生の約5割が「自宅」であり、「大学図書館」は3割となっています。一方、大学院生は約2割が「自宅」で、7割が「学生研究室」となっています。学部と大学院では、勉強する環境が大きく異なることがわかります。

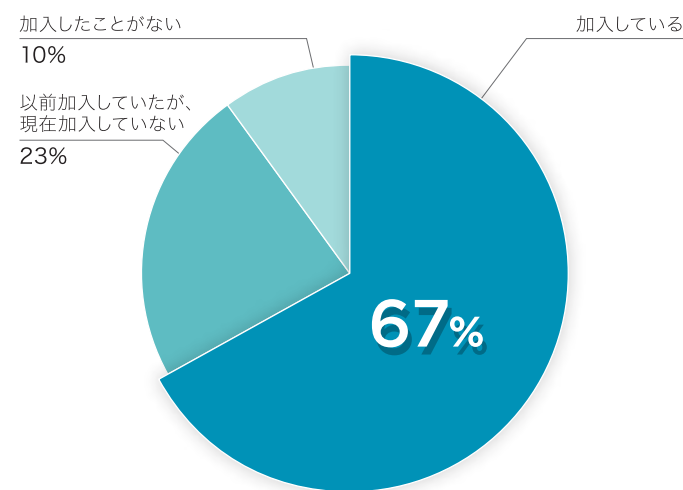
学部入学年度別



14

あなたは、現在サークル等（同好会を含む）に入っていますか。

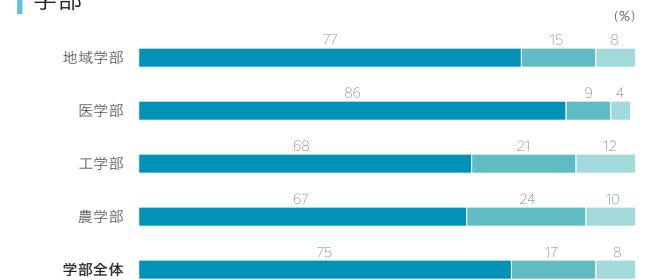
大学全体



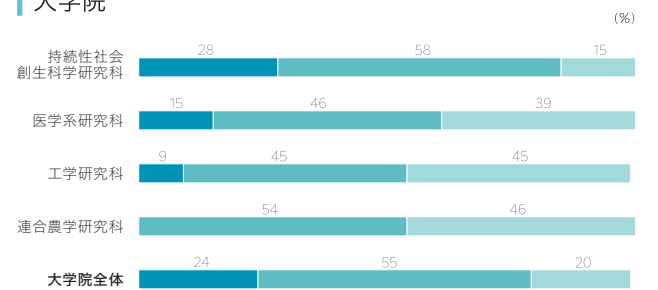
comment

大学全体では「加入している」の割合が67%と最多ですが、学部・大学院で比較すると、学部生の加入率が75%であるのに対して大学院生は24%と大幅にダウンし、代わりに「以前加入していたが、現在加入していない」が55%で最も多くなっています。

学部



大学院

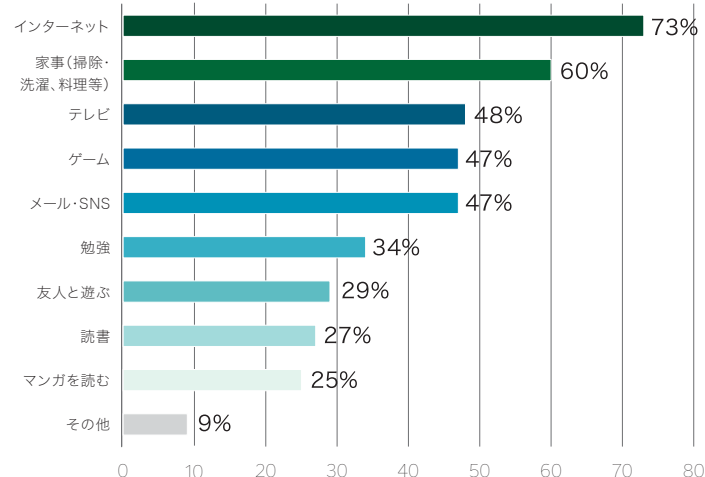


■ 加入している ■ 以前加入していたが、現在加入していない
■ 加入したことがない

13

自宅では、主に何をしておこなっていますか。（複数選択可能）

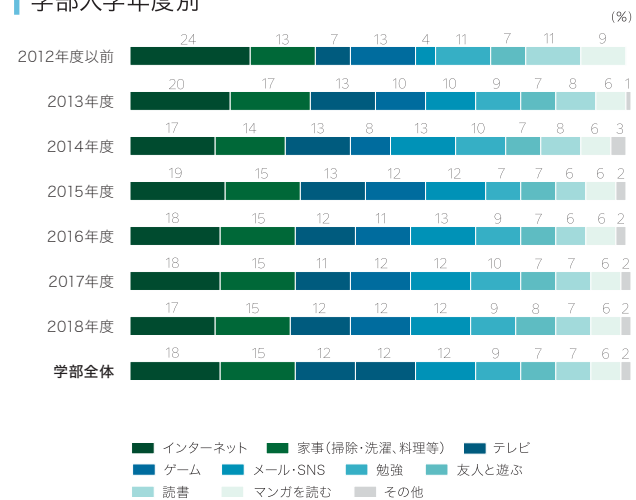
大学全体



comment

自宅で主にしていることは、学部生、大学院生とも「インターネット」が7割を超え最も多く、次に「家事」が約6割、「ゲーム」、「テレビ」が約5割であります。「メール・SNS」は、学部生が約5割に対して大学院生が4割未満と若干少ない傾向にあります。「友人と遊ぶ」は約3割であり、多くの学生が自宅で一人の時間を過ごしていることがうかがえます。

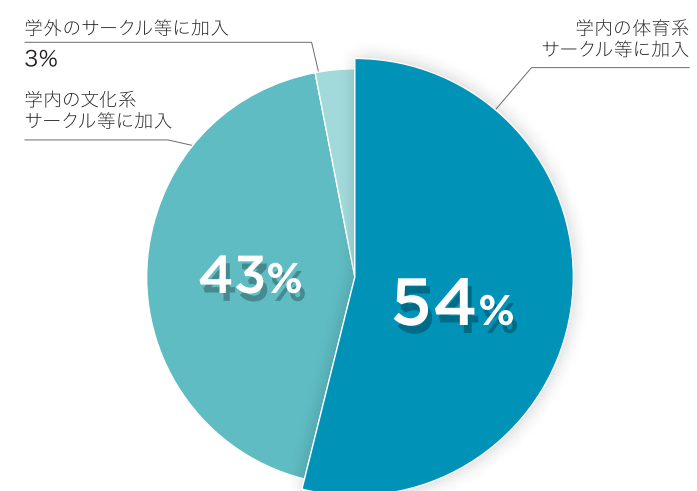
学部入学年度別



15 -1

あなたは、どのようなサークル等（同好会を含む）に入っていますか（または入っていましたか）。

大学全体

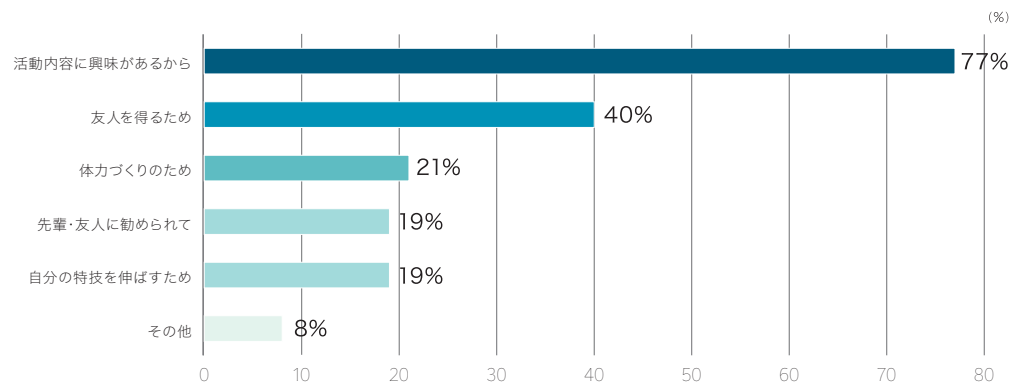


comment

大学全体では、学内の体育系サークル等に加入している割合が54%、学内の文化系サークル等に加入している割合が43%と、体育会系サークルへの加入がやや多くなっています。学部ごとに見ると、医学部生の体育会系サークルに加入している割合が64%と全体より高く、反対に地域学部生は文科系サークルへの加入率が58%と全体より高くなっています。

15-2

あなたがサークル等に入っている（または入っていた）理由は何ですか。
〔複数選択可能〕



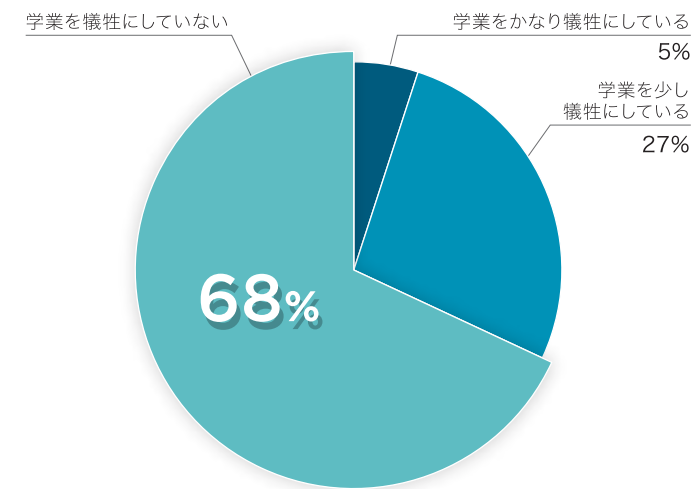
comment

大学全体では、「活動内容に興味があるから」が77%で最も多く、「友人を得るため」(40%)や「体力づくりのため」(21%)がこれに続きます。学部ごとにみると、医学部生が「体力づくりのため」と回答した割合が31%と高くなっているのが特徴です。

15-4

サークル活動と学業の関係はどうか。

大学全体



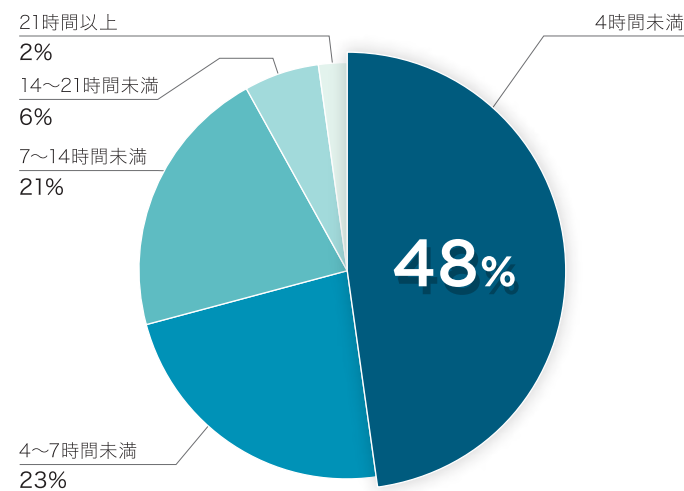
comment

「学業を犠牲にしていない」の割合が7割を占め、多くの学生が適度な時間でサークル活動に取り組んでいる一方、「学業をかなり犠牲にしている」と回答している学生も5%います。

15-3

あなたは、サークル等で1週間平均何時間くらい活動していますか。

大学全体



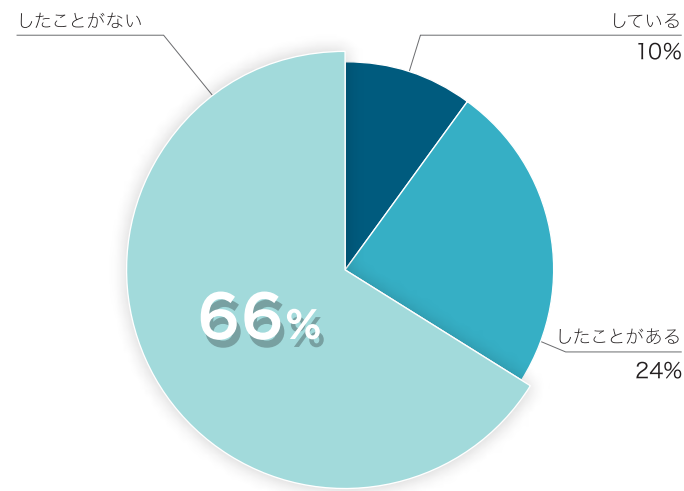
comment

大学全体では「4時間未満」が48%で最多を占めており、次いで「4～7時間未満」が23%、「7～14時間未満」が21%となっています。学部・大学院で比較すると、大学院生は「4時間未満」の割合が大幅に上昇するなど活動時間が短くなる傾向が見られます。

16

あなたは、直近1年間にボランティア活動をしていますか。またはしたことがありますか。

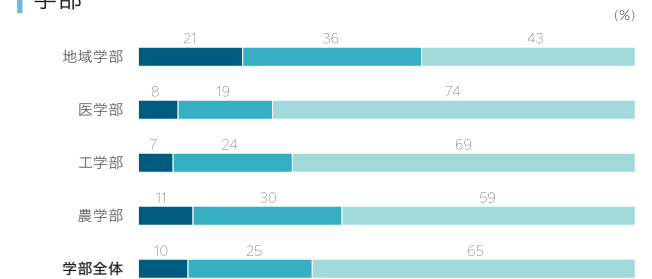
大学全体



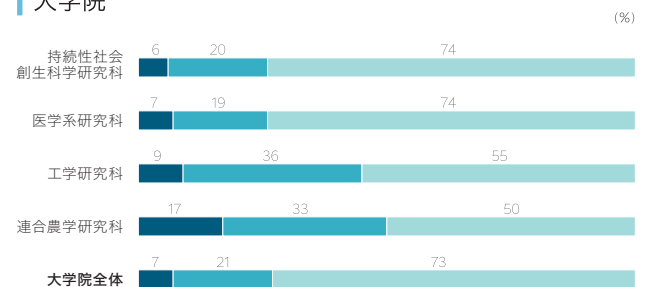
comment

大学全体では「したことがない」が最多で66%、次いで「したことがある」が24%、現在「している」が10%となっており、未経験者が3分の2にのぼっています。学部ごとに見ると、地域学部生は「している」が21%、「したことがある」が36%と経験者が多く、反対に医学部生は未経験者の割合が74%で最も多くなっています。

学部



大学院

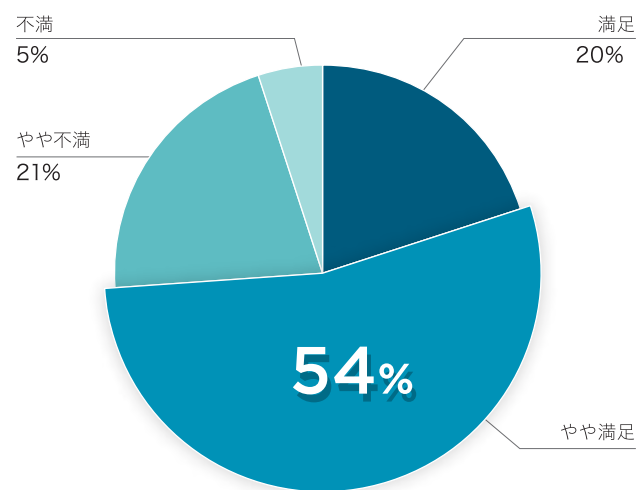


■ している ■ したことがある ■ したことがない

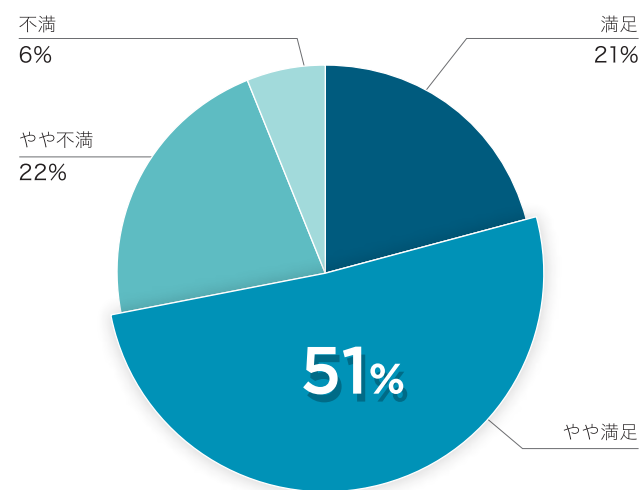
17

あなたは、現在の学生生活に満足していますか。

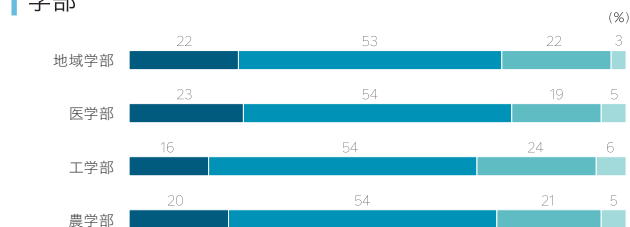
学部全体



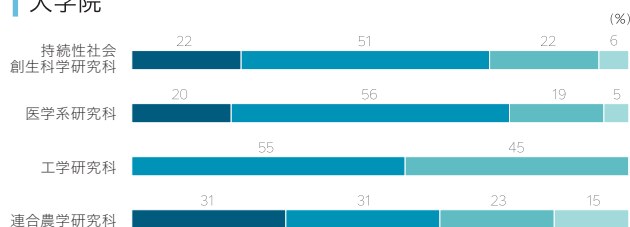
大学院全体



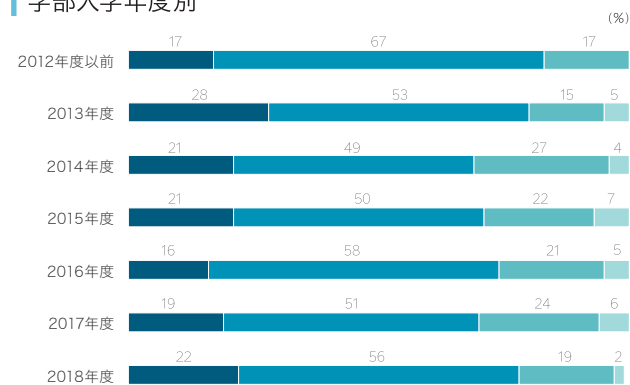
学部



大学院



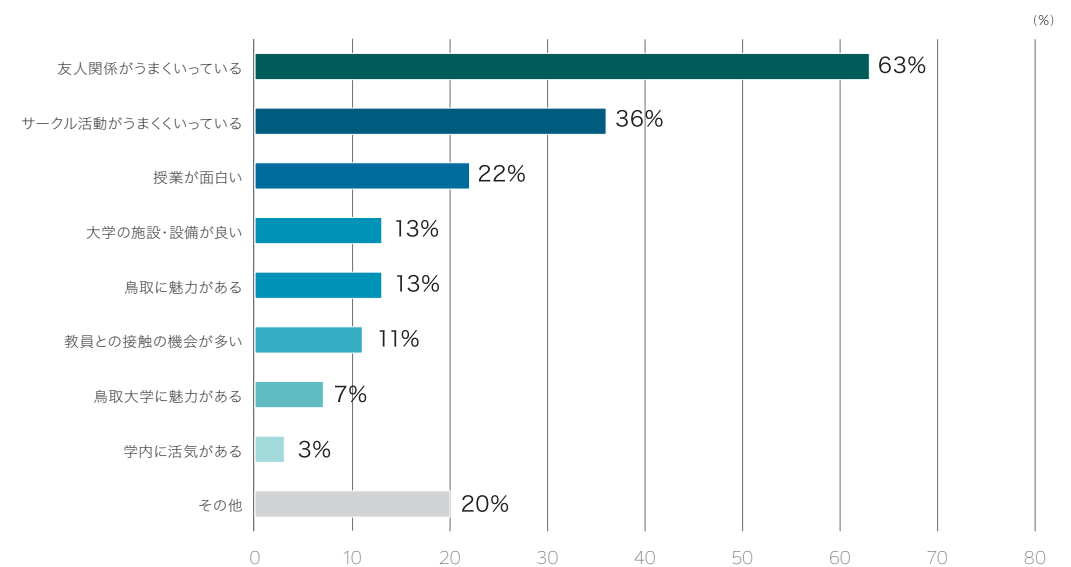
学部入学年度別



comment

「やや満足」と「満足」の学生が3/4程度と学生生活の満足度が高いと思われます。しかし、前回の調査(2016年)と比較して数%減少しているところが気になります。なお、学部と大学院、入学年度や所属学部による大きな差異は見られませんでした。

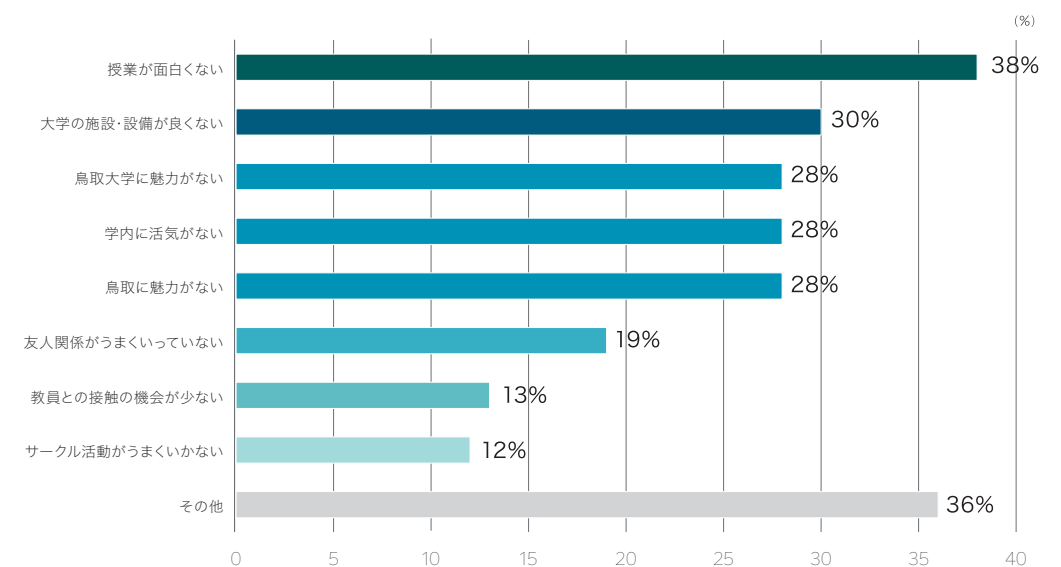
18

その理由は何ですか。(複数選択可能)
(「問17」で満足またはやや満足と答えた方)

comment

学生生活の満足度は「友人関係」に大きく依存していることがわかります。学部学生では、次いで「サークル活動」も重要であることがわかりました。一方、大学院生では、研究が主となるため「教員」や「大学の施設・設備」が上位を占めていました。

19

その理由は何ですか。(複数選択可能)
(「問17」でやや不満または不満と答えた方)

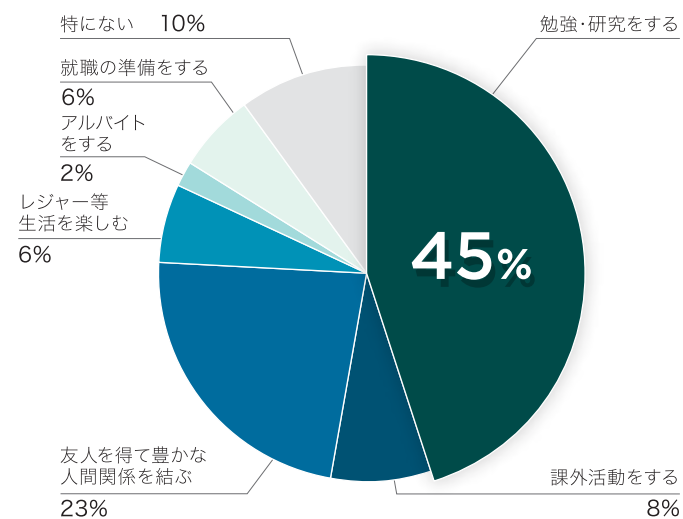
comment

学生生活の不満の理由として「授業が面白くない」が最上位にあることは、とても残念です。毎期末に実施している授業アンケート結果の活用や教員のFD研修など喫緊の対策が必要であると考えられます。

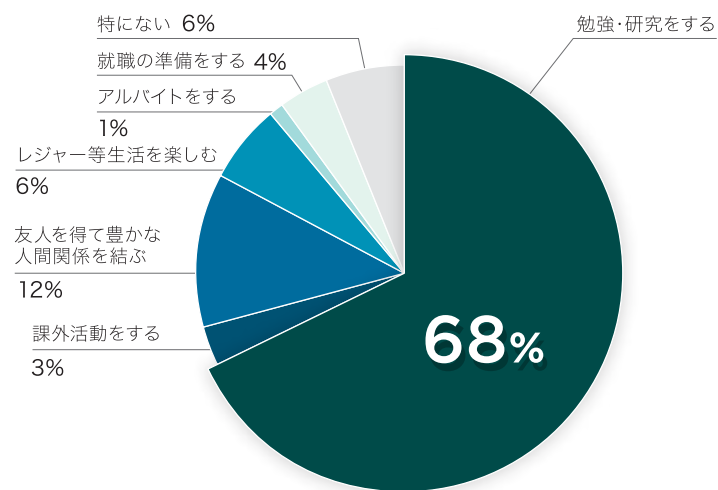
20

あなたは、現在学生生活の中でどのような点に最も重点をおいて行動していますか。

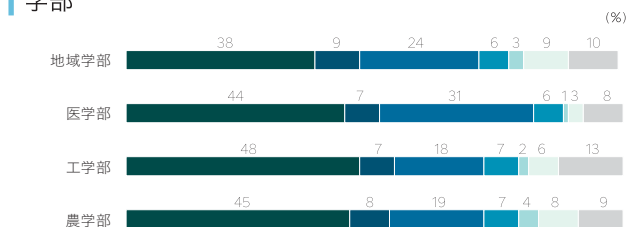
学部全体



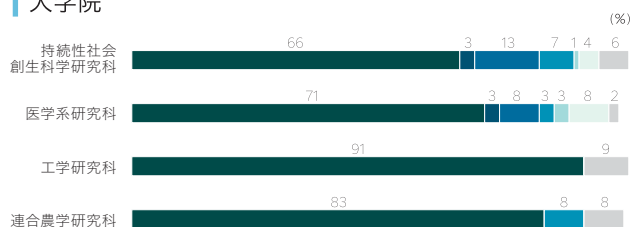
大学院全体



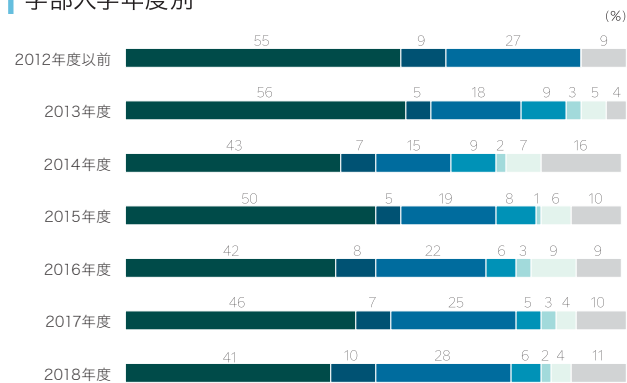
学部



大学院



学部入学年度別



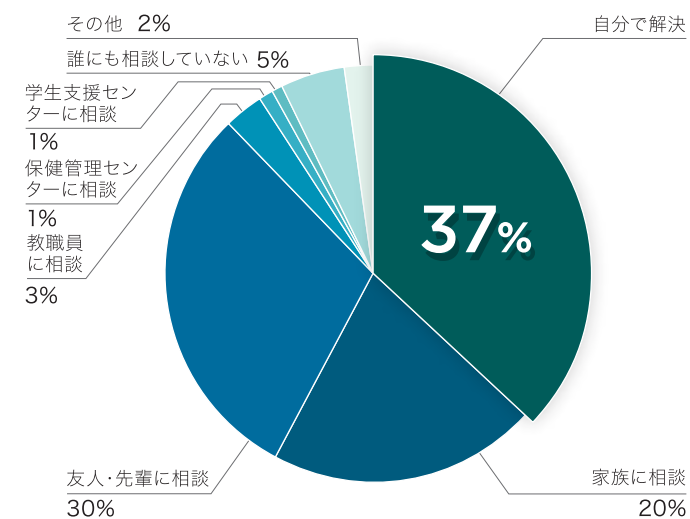
comment

学生生活の満足度は「友人関係」を重視していましたが、行動に関しては「勉強・研究」を重視しており、その割合は学部学生が45%、大学院生が68%でした。学部別では理系学部の方が、入学年度別では高学年になる方が「勉強・研究をする」割合が高くなるという結果でした。

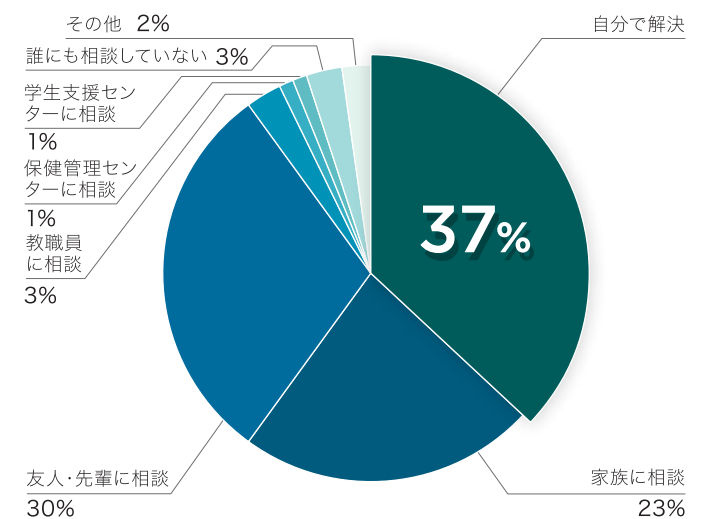
21

あなたは、自分の不安や悩みについてどのように対処していますか。（複数選択可能）

鳥取地区



米子地区



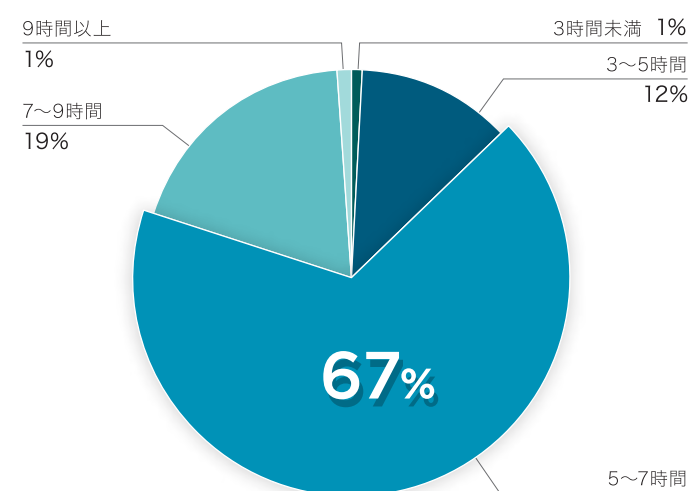
comment

大多数の学部学生が自分の不安や悩みを「自分で解決」「先輩や友達、家族に相談する」という解決方法を取り、大学院生になると教職員などへ相談することが増えています。一人で悩みを抱え込まないように、引き続き大学内の複数の相談支援窓口の周知をおこない、いざというときに相談に行ける体制を準備しておく必要があります。

22

あなたは1日平均何時間くらい睡眠をとっていますか。

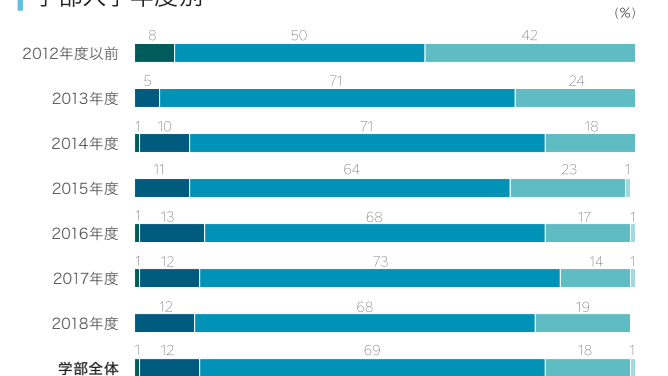
大学全体



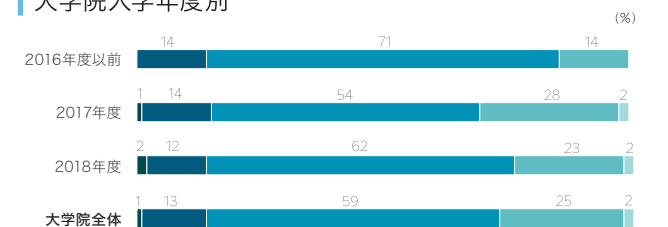
comment

平均睡眠時間は、多い順に、5～7時間(67%)、7～9時間(19%)、3～5時間(12%)で、上級学年や大学院生では、7～9時間が増える傾向を認めました。睡眠時間は、生活習慣病や心の健康と関係しますが、個人差があり、長短だけでなく、日中の眠気で困らない程度の自然な睡眠が一番です。

学部入学年度別



大学院入学年度別

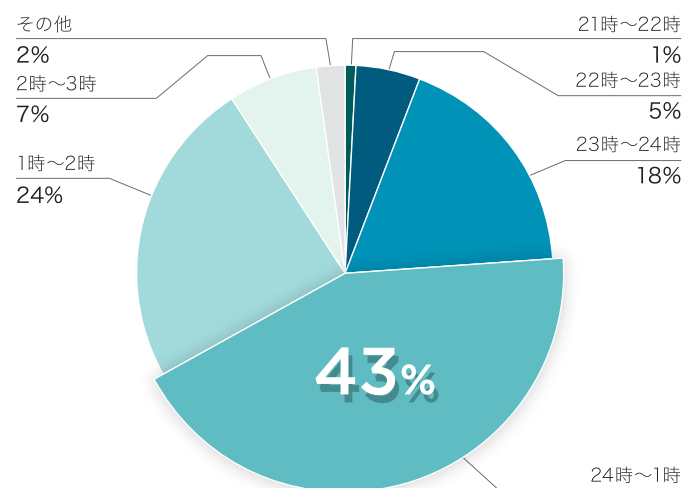


3時間未満 3～5時間 5～7時間 7～9時間 9時間以上

23

あなたは何時ごろに就寝していますか。

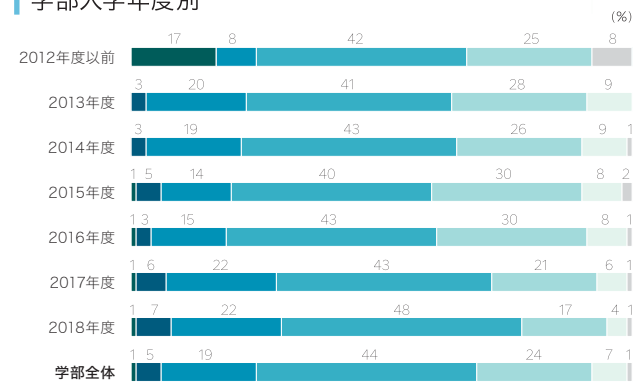
大学全体



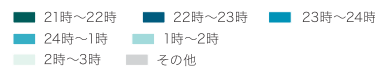
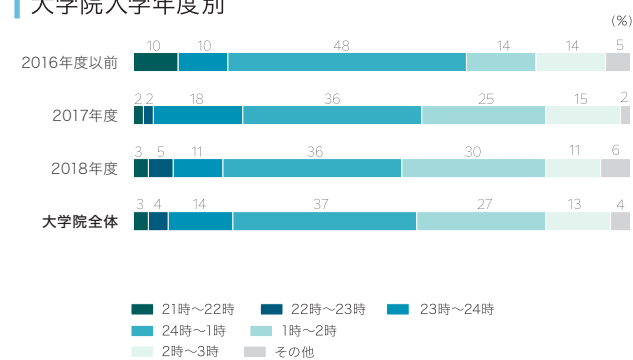
comment

24～1時に就寝する学生が最も多く43%で、上級学年や大学院生では、1時以後に就寝する学生が増える傾向を認めました。夜更かしが習慣化すると、体内時計が乱れ睡眠の問題を来す心配があります。起床時間はなるべく一定に保ち、起床後は朝日を浴びて、体内時計のリズムを保ちましょう。

学部入学年度別



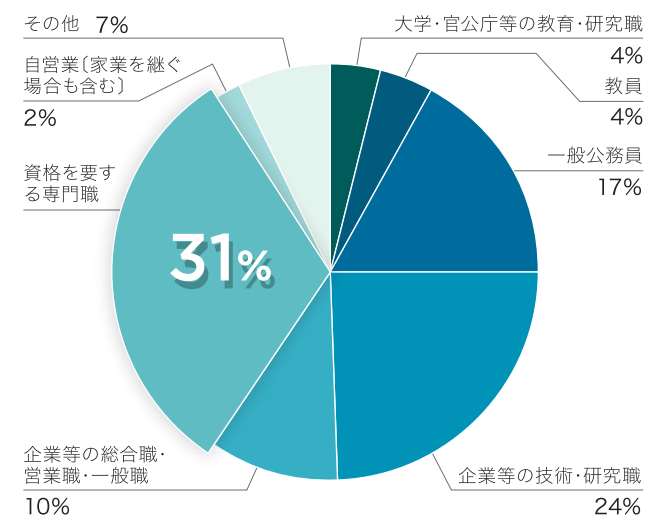
大学院入学年度別



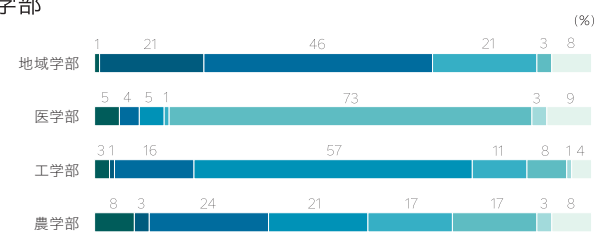
24

あなたは、将来主にどのような職業に就きたいと思いますか。

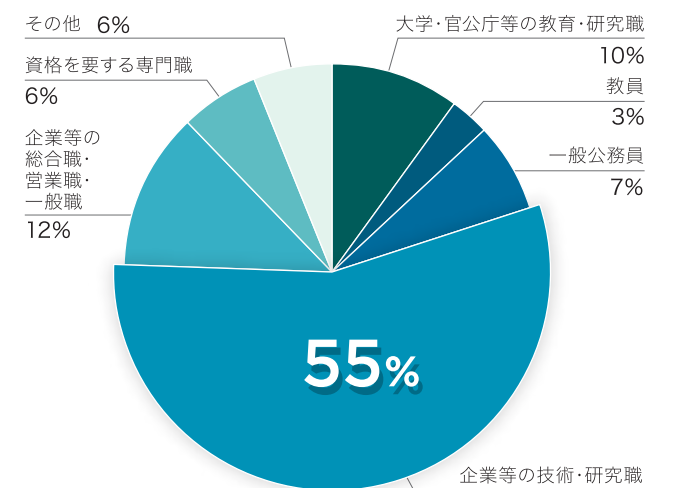
学部全体



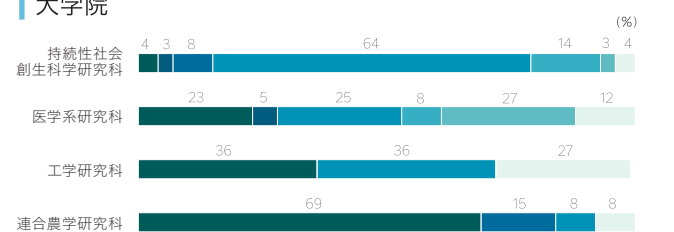
学部



大学院全体



大学院



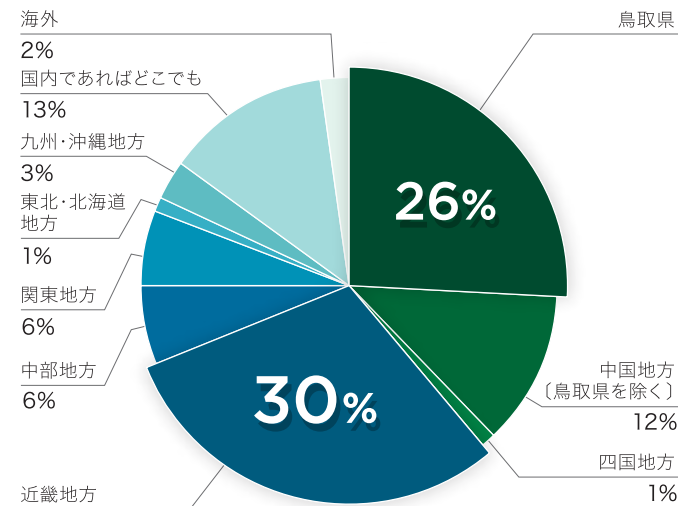
comment

学部・研究科別の集計に注目すると、「資格を要する専門職」は医学部と医学系研究科で、「企業等の技術・研究職」は工学部や持続性社会創生科学研究科等で、それぞれ最多の回答を集めました。また「一般公務員」は、地域学部のほか農学部でも最多の回答を集め、学部・研究科ごとの特徴がみられました。

25

あなたが就職するとした場合、勤務地は主にどこを希望しますか。

大学全体



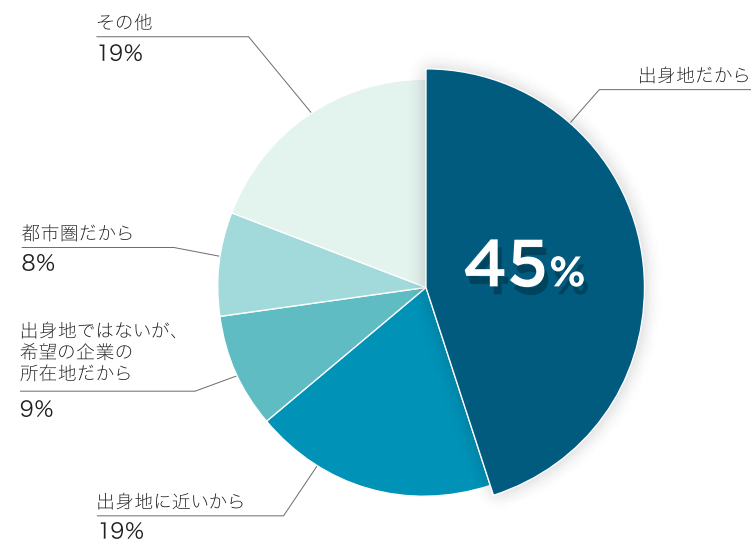
comment

大学全体の集計では「近畿地方」が最も回答を集めました。これは、本学在学生在に占める近畿地方出身者の多さが関係しています。他方、複数選択可の設問とはいえ、「鳥取県」が近畿地方に次ぐ回答を集めました。在学生全体に占める県内出身者が2割に満たない現状を考えると、興味深い結果となりました。

26

勤務地として希望している主な理由は何ですか。

大学全体



comment

学部生の場合、どの学部とも「出身地だから」が最も多くの回答を集めました。他方で大学院生の場合は、学部生よりも回答が分散しました。勤務地に求めるものとして、身に付けた知識や技術の専門性を活かすことができる等、出身地との関係性がばかりではないことが読み取れます。

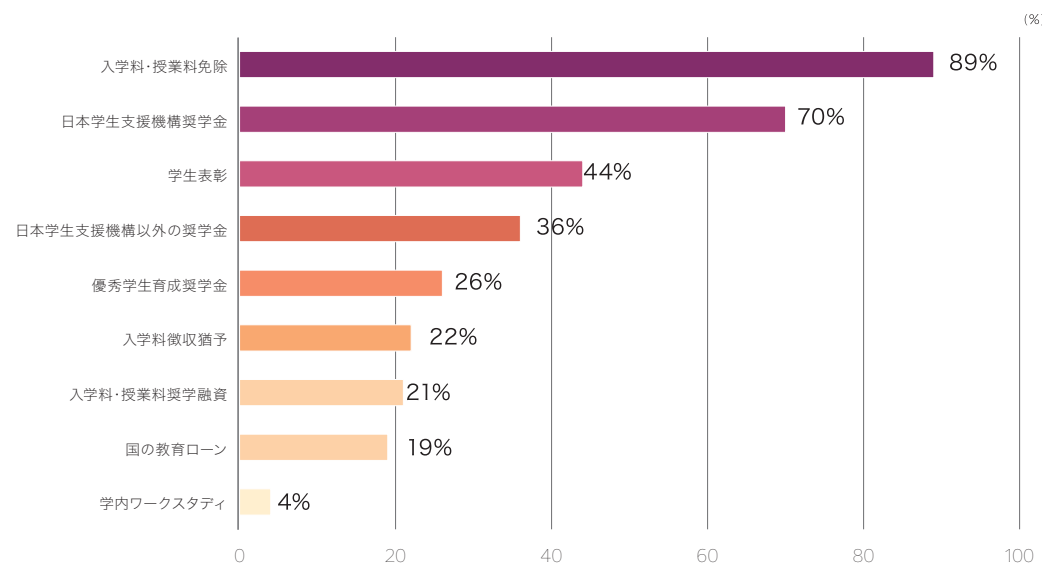
TOTTORI CAMPUS LIFE2018

学生支援体制編

鳥取大学における、経済・学習・生活・就職の支援体制についてや、進学について考えていることを回答してもらいました。

27

入学料・授業料免除、奨学金、表彰等に関連する制度について、知っているものを全て選んでください。(複数選択可能)



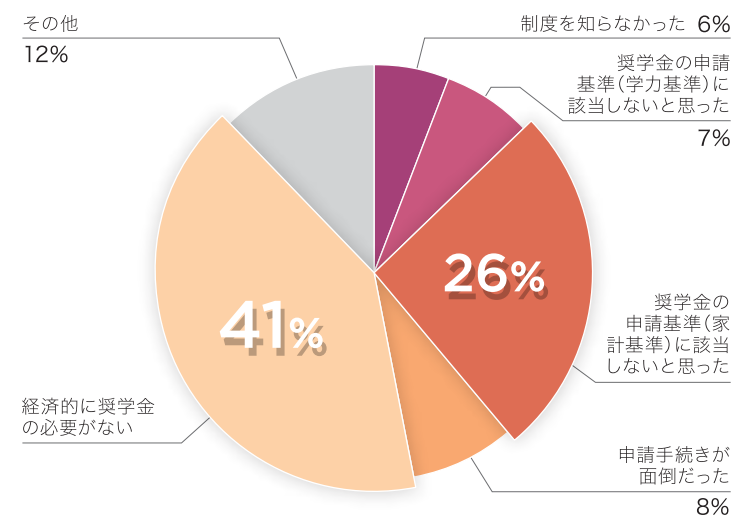
comment

入学料・授業料免除は89%、日本学生支援機構奨学金は70%に認知されていますが、その他の制度の認知度はいずれも50%未満でした。現在の各制度については、HPや掲示等で周知していますので、ほぼ認知されていると思いますが、支援が必要な学生に必要な情報が届くよう工夫が必要と考えます。

28-2

奨学金を申請しなかった主な理由は何ですか。

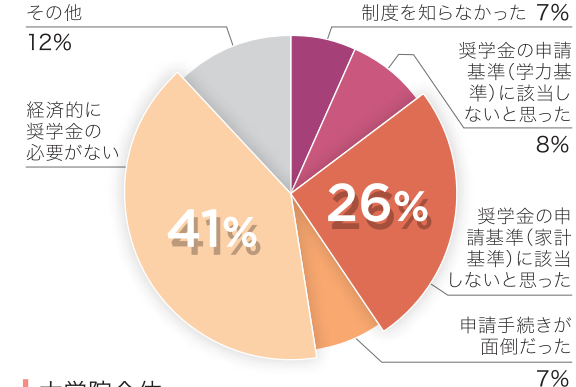
大学全体



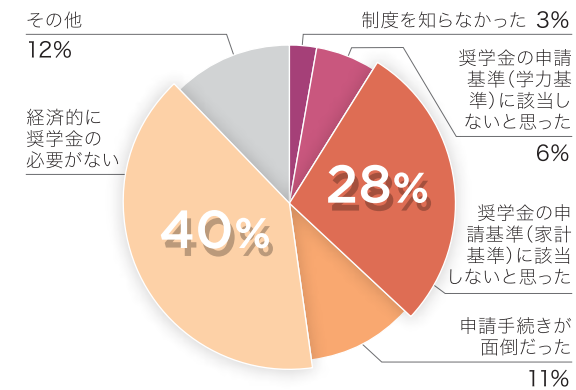
comment

申請しなかった理由で一番多いのは、学部・大学院とも「経済的に必要がない」(41%)でした。授業料免除の場合と比較すると10%以上多くなっています。奨学金の返済が卒業後の負担となることも理由の1つと考えられます。

学部全体



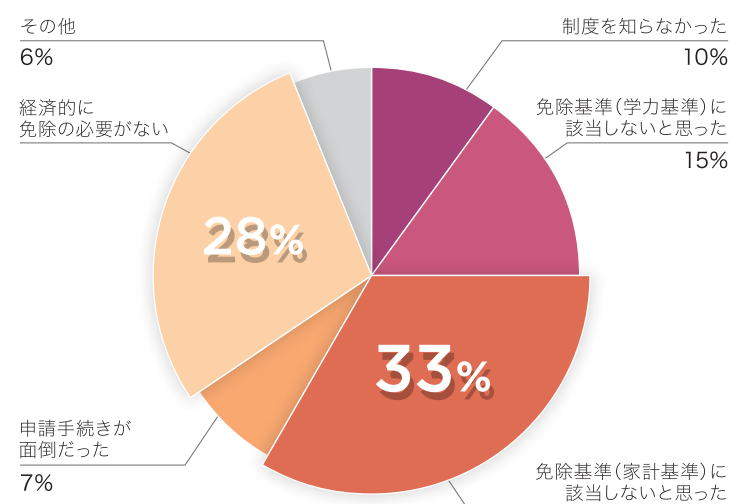
大学院全体



28-1

入学料・授業料免除を申請しなかった主な理由は何ですか。

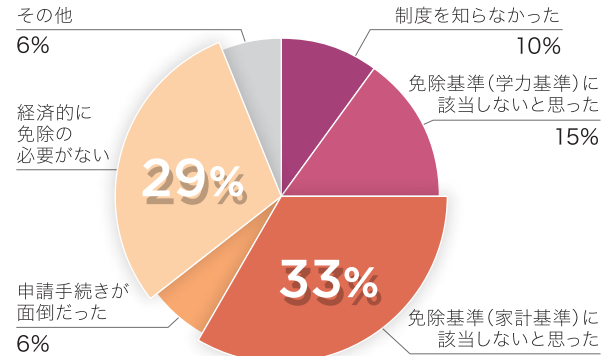
大学全体



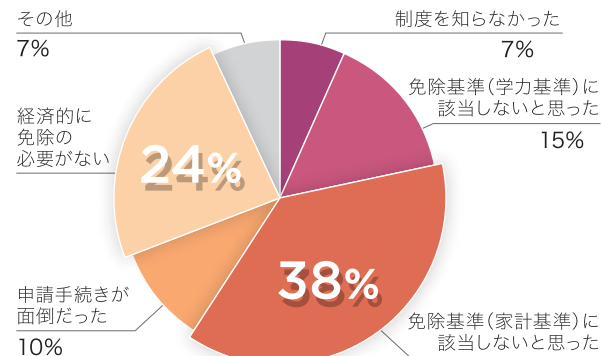
comment

申請しなかった理由として一番多いのは、学部・大学院とも「免除基準(家計基準)に該当しないと思った」(33%)でした。また、「制度を知らなかった」が大学全体で10%いることから、制度の周知とともに、どういう制度か理解してもらえるよう情報発信が必要と考えます。

学部全体

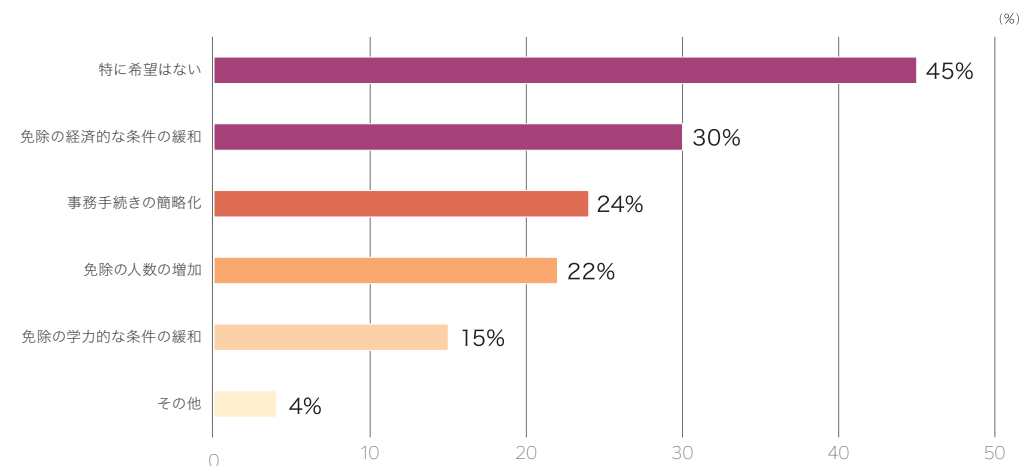


大学院全体



29-1

入学料・授業料免除について要望することがありますか。(複数選択可能)

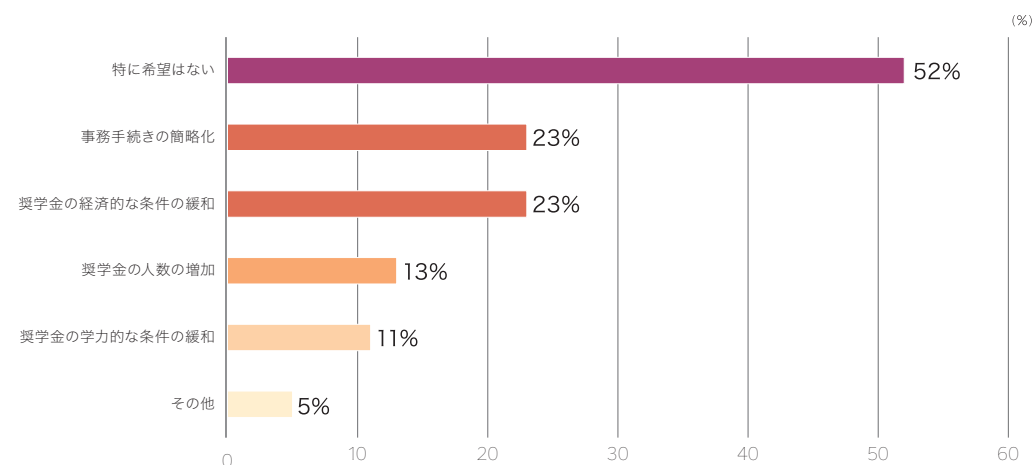


comment

一番多かったのは「特に希望なし」で前回調査(43%)とほぼ同じ数値となりました。また、「事務手続きの簡略化」、「免除条件の緩和」、「免除人数の増加」を要望する割合も高く、制度上致し方ない部分もありますが、要望に対してより丁寧な説明が必要と考えられます。

29-2

奨学金について要望することがありますか。(複数選択可能)

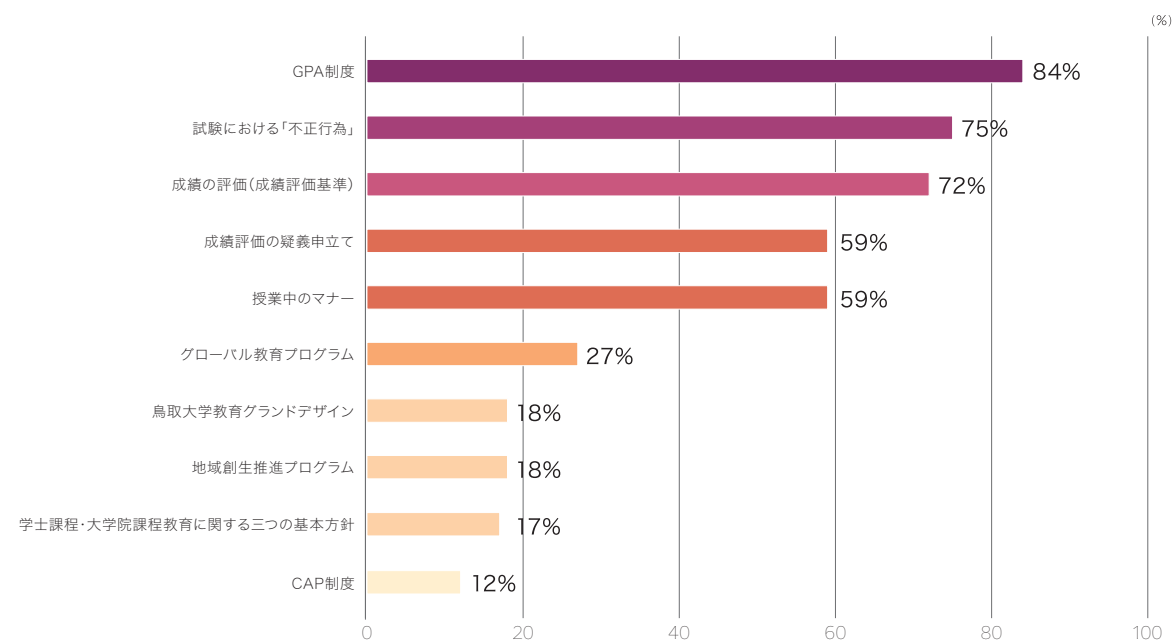


comment

一番多かったのは「特に希望なし」で前回調査(49%)とほぼ同じ数値になりました。また、入学科・授業料免除同様「事務手続きの簡略化」、「条件の緩和」、「人数の増加」を要望する割合も高く、制度上致し方ない部分もありますが、要望に対してより丁寧な説明が必要と考えられます。

31

教育に関連するポリシー、制度等について、知っているものを全て選んでください。(複数選択可能)

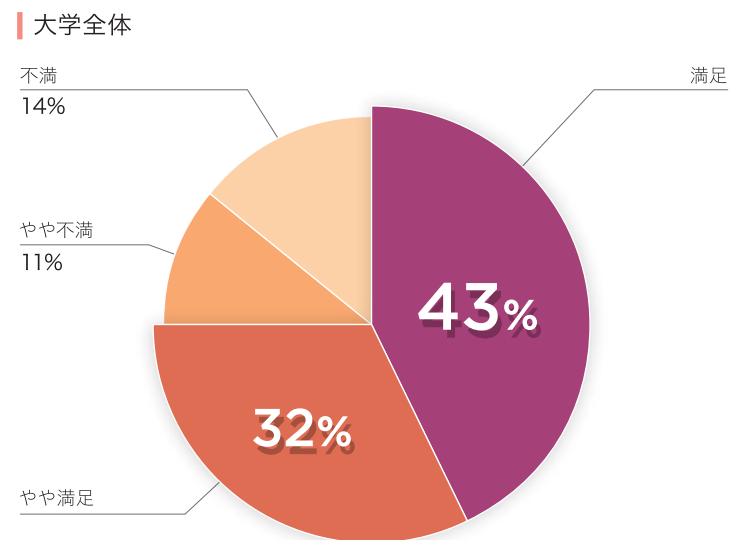


comment

「GPA制度」、「試験における不正行為」、「成績評価基準」など、成績に関わる項目は多くの学生が認知していますが、「グローバル教育プログラム」、「地域創生推進プログラム」はあまり知られていません。「グランドデザイン」、「3つの基本方針」の認知も低いですが、前回調査よりは多少上昇しています。

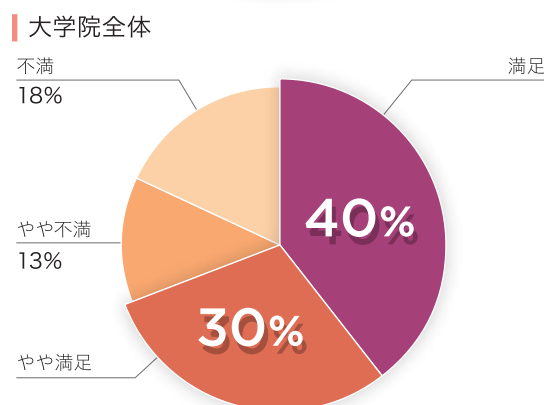
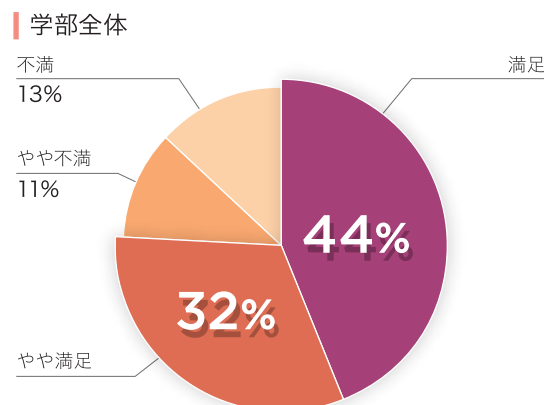
30

本学の経済支援全般に満足していますか。



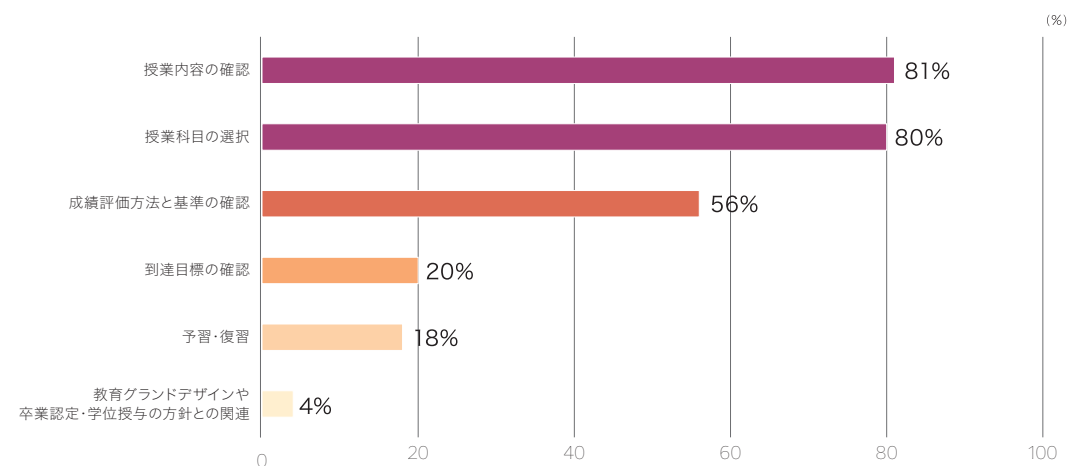
comment

「満足」、「やや満足」を合わせると75%となり、前回調査(75%)と同じでした。しかし、「不満」、「やや不満」が25%あることから、本学の経済支援の充実を図り、少しでも不満の解消につながる取り組みが求められています。



32

シラバスはどのように活用していますか。(複数選択可能)

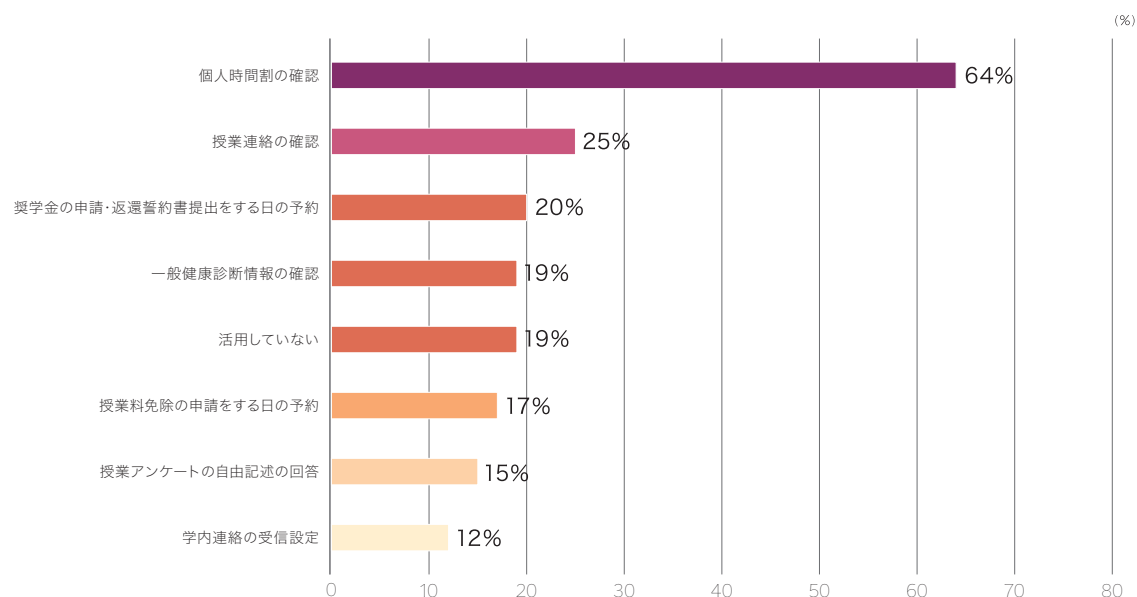


comment

シラバスの活用方法としては、「授業内容の確認」、「授業科目の選択」などは80%に達しますが、「予習・復習」は18%にとどまります。受講前の科目選択において参照だけでなく、受講中の自己学習のために積極的に活用することが期待されます。

33

学務支援システムは、履修登録と成績の確認以外で、どのように活用していますか。〔複数選択可能〕



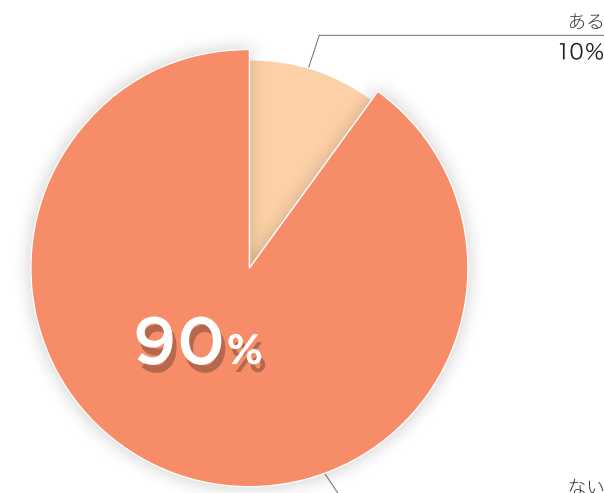
comment

学務支援システムの活用方法としては、60%以上の学生が「個人時間割の確認」に利用していますが、他の項目については20%前後の学生が利用するにとどまっており、「活用していない」も19%となっています。引き続き学生の利用を促す周知活動、機能の充実が期待されます。

35

学習支援環境（ネットワーク、e-Learningシステム、オンデマンドプリンタ等）について要望することがありますか。

大学全体



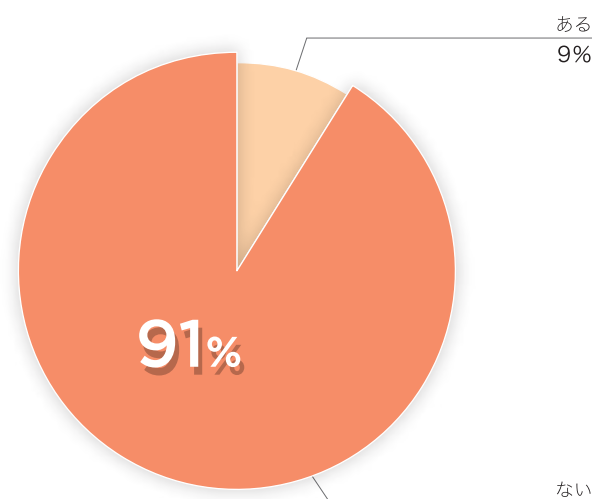
comment

システムの内容についてと同様、システムの環境についても、要望が「ない」と回答した学生が90%に達し、「ある」と回答した学生は10%にとどまっています。学生のシステム利用が低いのは、少なくとも利用環境の面に理由がある訳ではなさそうです。

34

シラバスや学務支援システムについて要望することがありますか。

大学全体

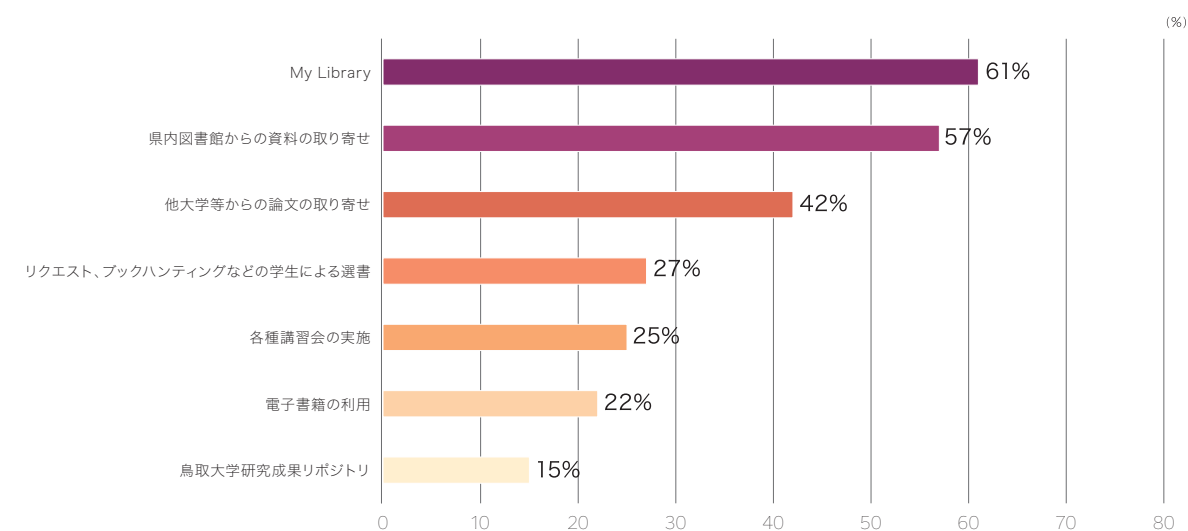


comment

90%以上の学生は、要望が「ない」と回答し、「ある」と回答した学生は10%にとどまっています。ただし、先の設問で明らかな通り、多くの学生が「シラバス」・「学務支援システム」を十分活用していないことを踏まえると、積極的な活用を促すための改善は必要と思われます。

36

図書館に関連するサービス等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕



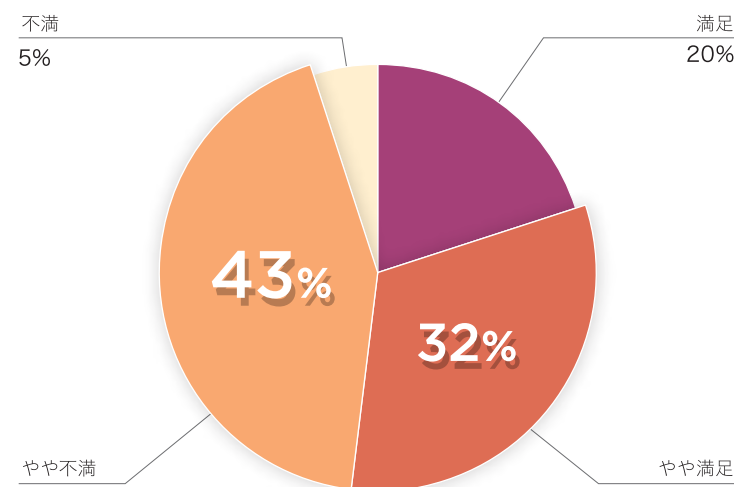
comment

図書館のサービスとして、「マイライブラリー」、「県内図書館からの資料の取り寄せ」、「他大学等からの論文の取り寄せ」は多くの学生が知っています。図書館独自の「各種講習会の実施」「学生の選書」や、「電子書籍の利用」は25%前後にとどまっており、より多くの学生への周知が期待されます。

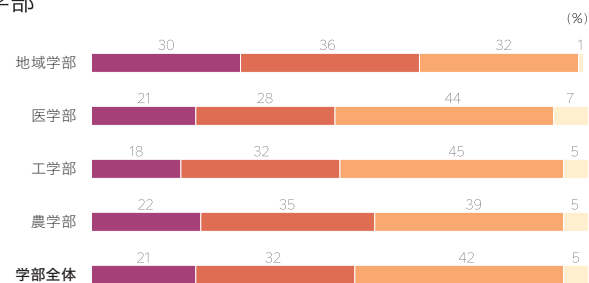
37-1

図書館の施設（ラーニングcommons、閲覧室など）について満足していますか。

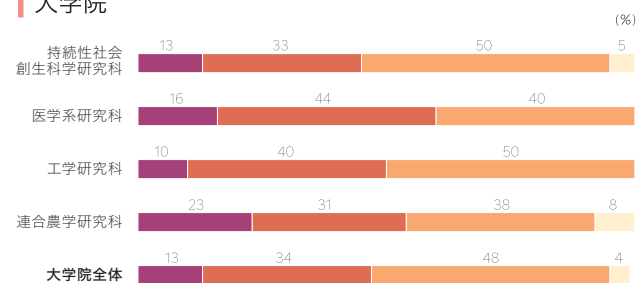
大学全体



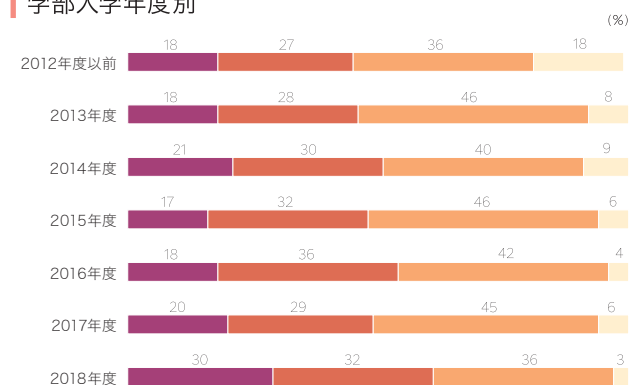
学部



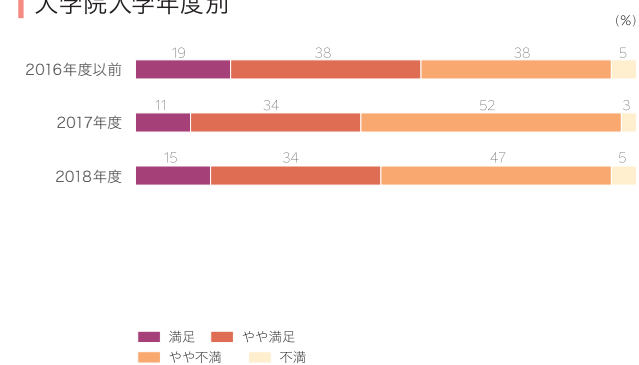
大学院



学部入学年度別



大学院入学年度別



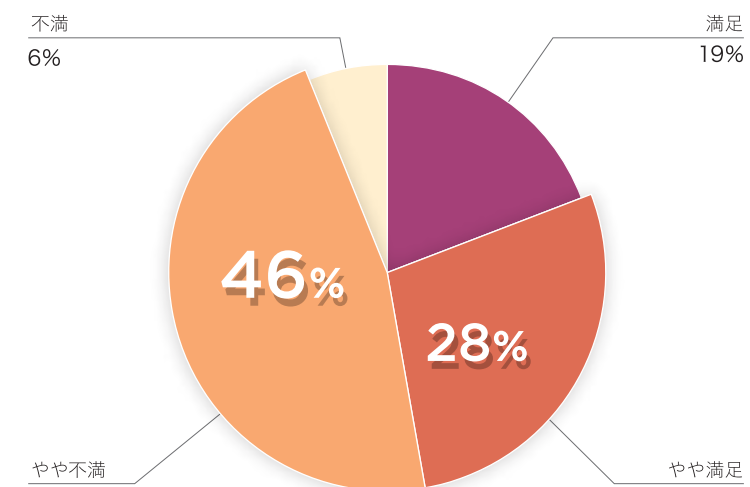
comment

大学全体としては52%の学生が「満足」「やや満足」、48%の学生は「やや不満」「不満」としています。学部別では、地域学部では満足度が60%を超えますが、医学部・工学部では不満度が高く、大学院でも不満が高い傾向にあります。ただし学年別では、低学年ほど満足度は高く、改善の傾向がうかがわれます。

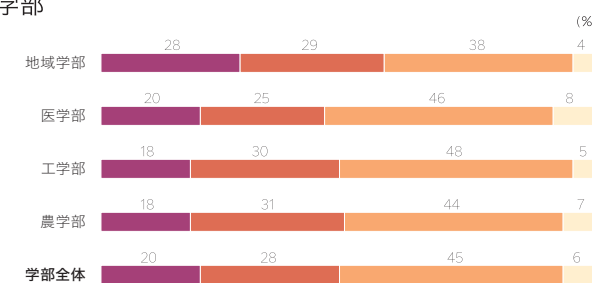
37-2

図書館の蔵書（冊数、構成）について満足していますか。

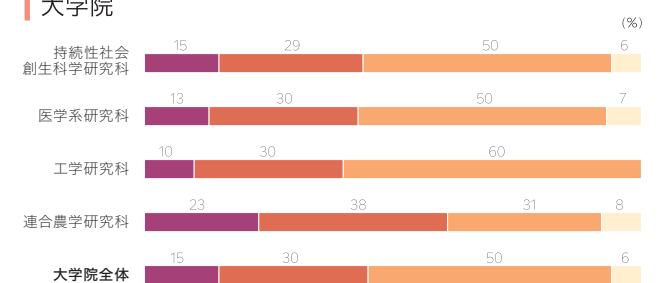
大学全体



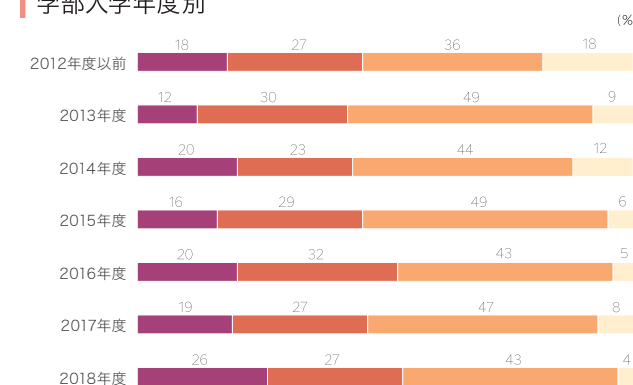
学部



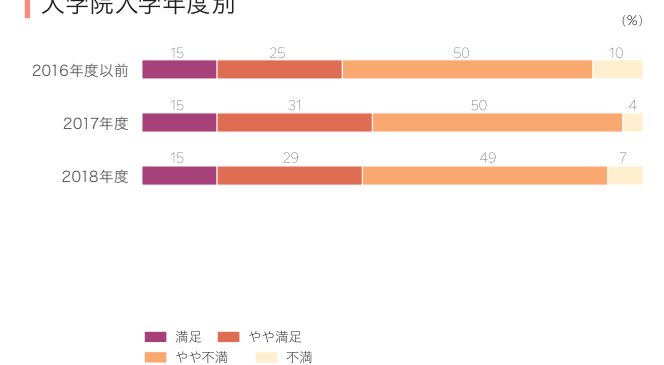
大学院



学部入学年度別



大学院入学年度別



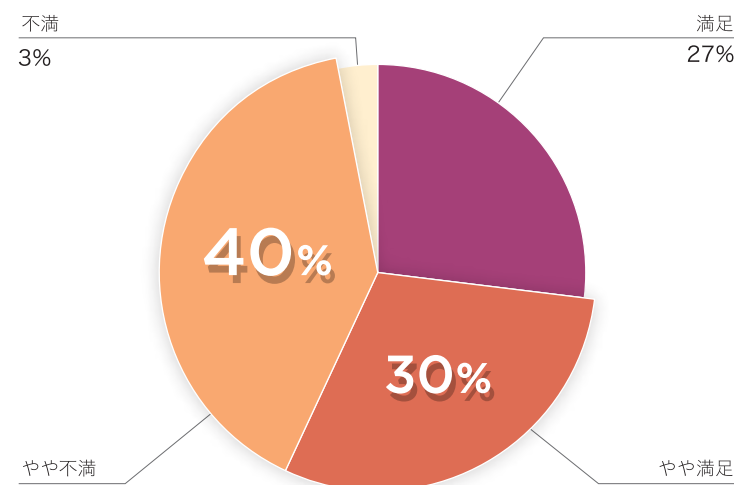
comment

大学全体としては「満足」「やや満足」は47%にとどまり、「やや不満」「不満」が52%に達します。学部別では、地域学部の満足度は50%を超えますが、医・工・農学部では不満度が50%を超え、大学院でもほぼ同様です。ただし、施設面と同じく、低学年ほど満足度は高く、改善がうかがわれます。

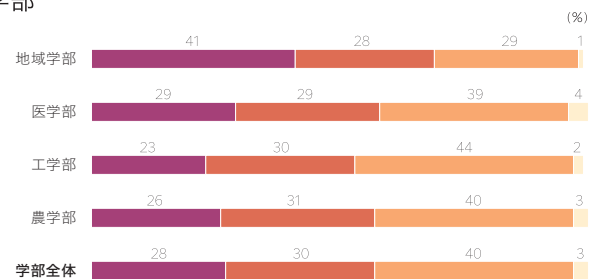
37-3

図書館のサービス(貸出、Webサービスなど)について満足していますか。

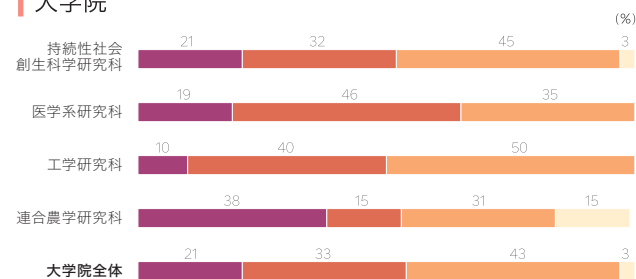
大学全体



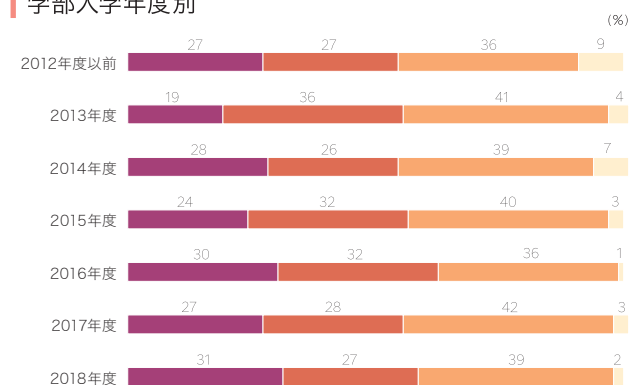
学部



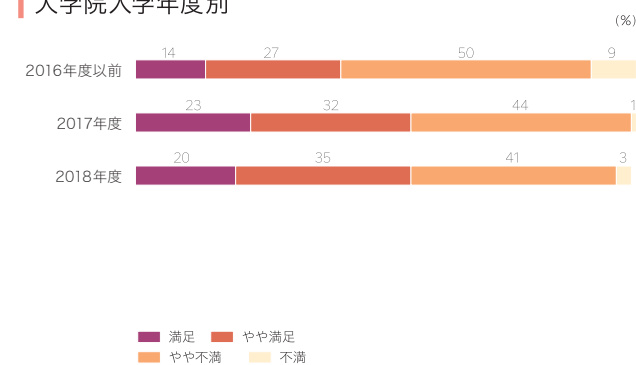
大学院



学部入学年度別



大学院入学年度別



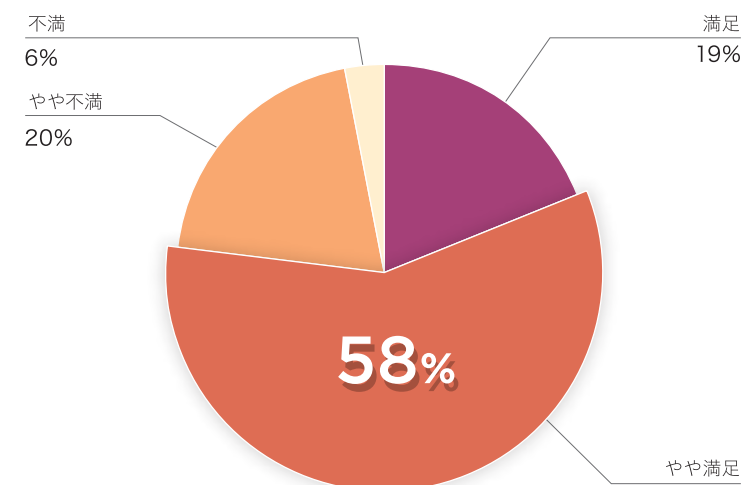
comment

大学全体としては57%の学生が「満足」「やや満足」、43%の学生が「やや不満」「不満」としています。学部別では、地域学部の満足度は70%近いですが、医・工・農学部では不満度が40%を超え、大学院でもほぼ同様です。

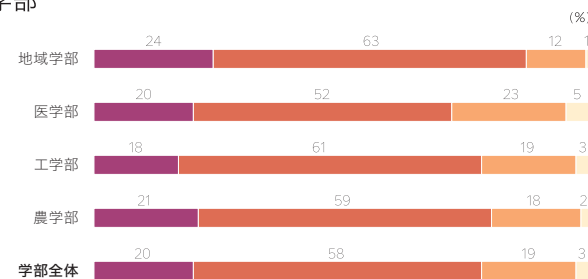
38

本学の学習支援全般に満足していますか。

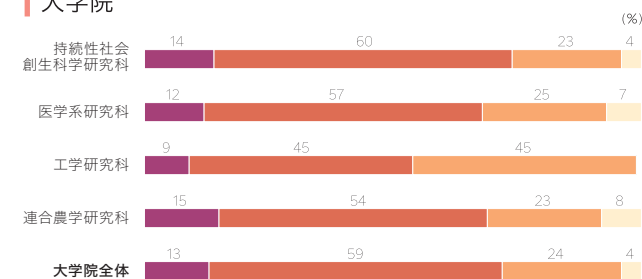
大学全体



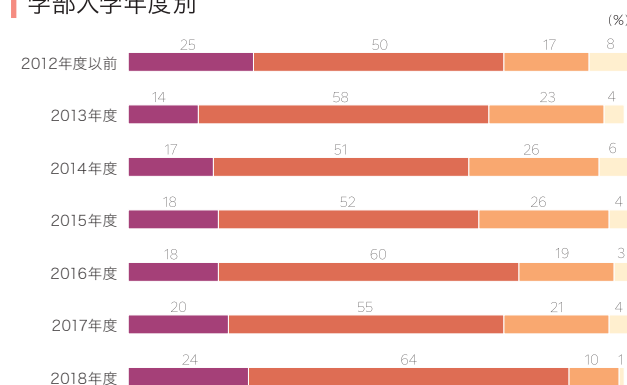
学部



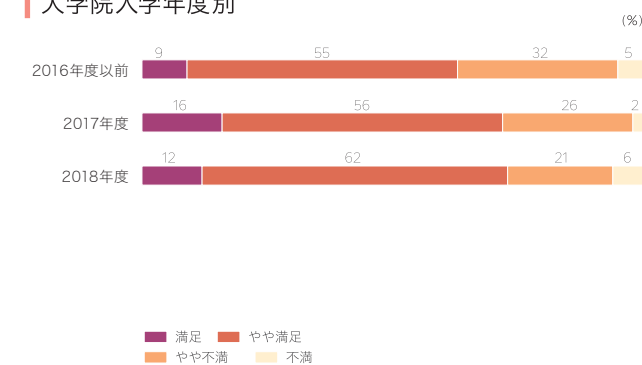
大学院



学部入学年度別



大学院入学年度別

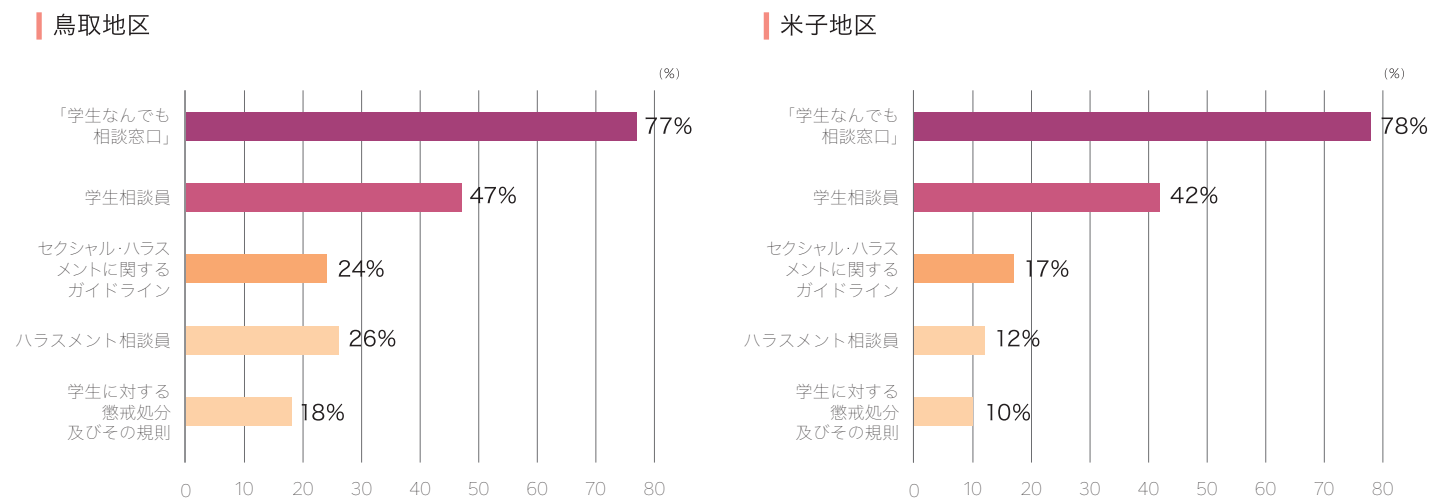


comment

大学全体としては78%の学生が「満足」「やや満足」、22%の学生が「やや不満」「不満」としています。学部別では、地域学部の満足度が87%で最も高く、他の学部、大学院の各研究科でも70～80%の学生が満足しています。また入学年度別で見ると、低学年ほど満足度が高い傾向があります。

39

学生相談、生活支援、ハラスメントの防止等に関連するサービス、制度等について、知っているものを全て選んでください。(複数選択可能)

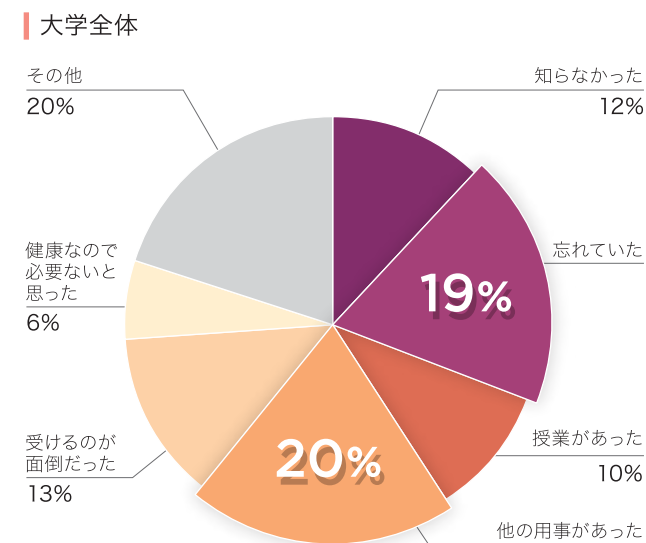


comment

「なんでも相談窓口」は多くの学生に周知されるようになり、これまでの啓発活動の成果であると評価できます。その一方で「ハラスメントガイドライン」や「ハラスメント相談員」についてはまだ一部の学生にしか認知されておらず、今後の課題として検討が必要です。

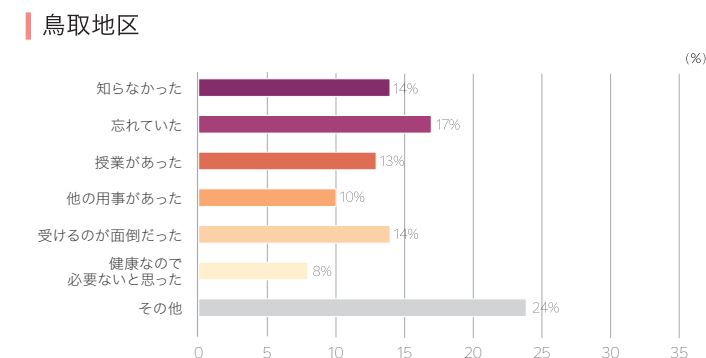
41

今年度の健康診断を受けなかった主な理由は何ですか。



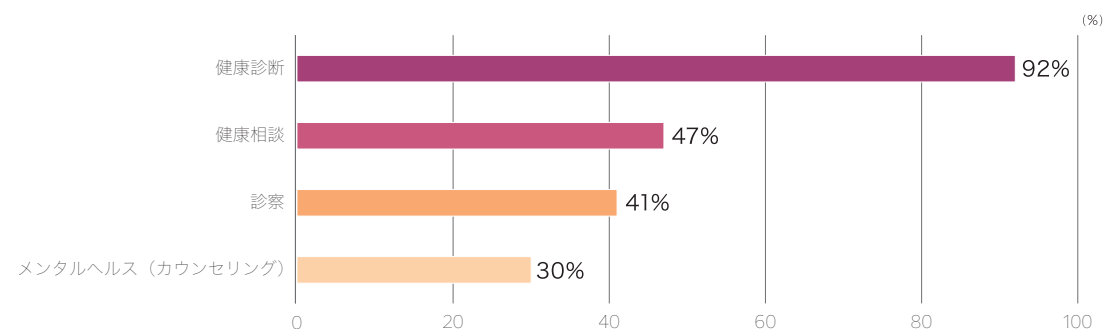
comment

鳥取地区・米子地区で、「知らなかった」「忘れていた」の合計は31%・30%、「授業があった」「他の用事があった」の合計は23%・41%でした。引き続き、健康診断日時の周知徹底と設定の配慮に努める必要があります。また、健康診断は、自身の健康チェックのために、必ず受診しましょう。



40

保健管理センターで行っているサービス等について、知っているものを全て選んでください。(複数選択可能)

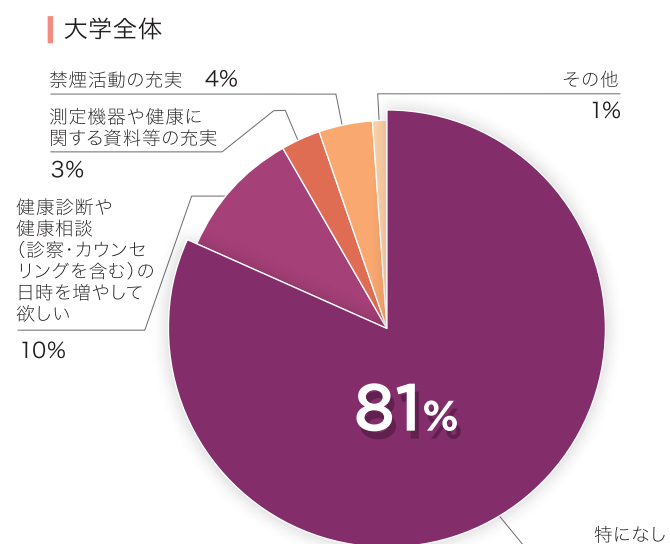


comment

大学全体で、健康診断について知っている学生は92%ですが、健康相談・診察・カウンセリングはいずれも半分以下でした。学生の心身の不調に対し、保健管理センターでは、医師・保健師・看護師・カウンセラー等の専門の医療スタッフが対応していることを、引き続き周知して行く必要があります。

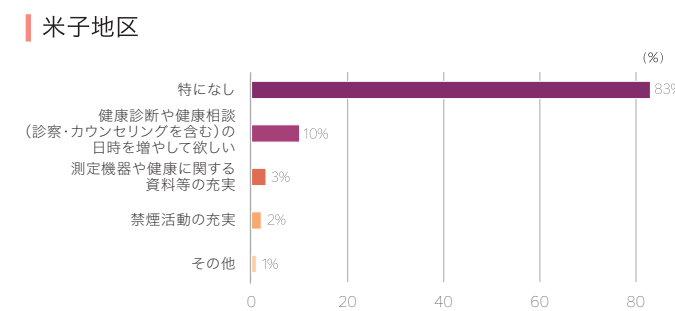
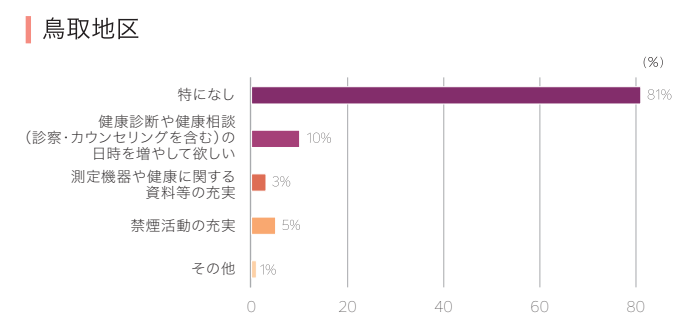
42

保健管理センターについて要望することがありますか。



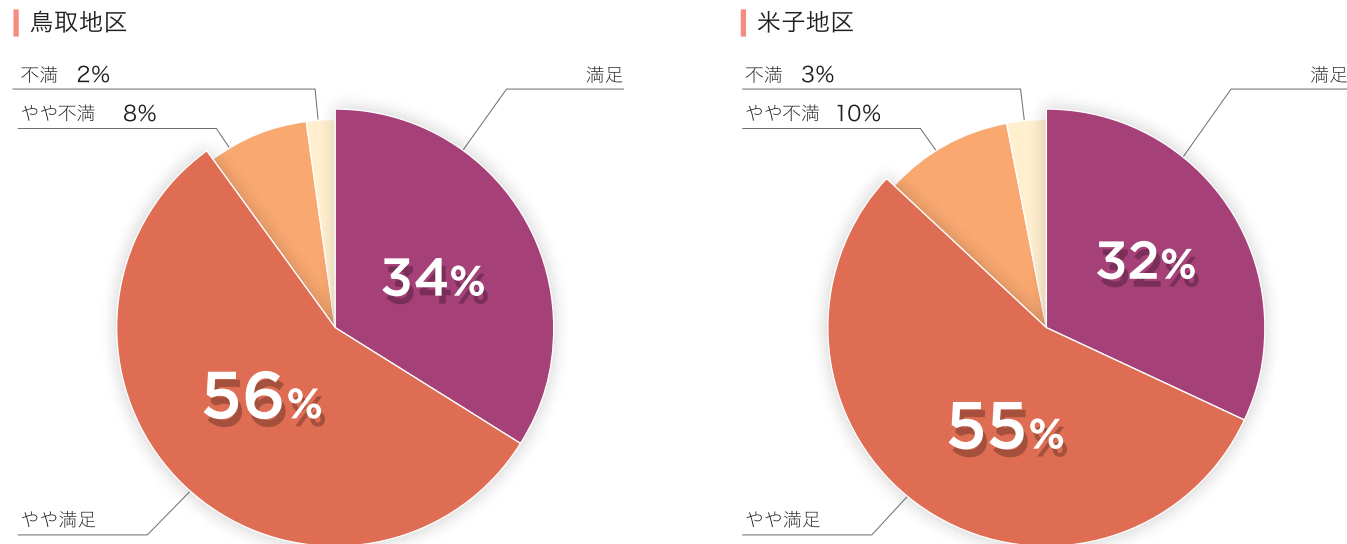
comment

「特になし」が、鳥取地区81%・米子地区83%と殆どでしたが、「健康診断や健康相談の日時を増やして欲しい」が、両地区とも10%でした。今後、日時について検討する必要があります。また、「禁煙活動の充実」と「測定機器や健康に関する資料等の充実」に、引き続き努めることが期待されます。



43

本学の学生相談及び生活支援全般に満足していますか。

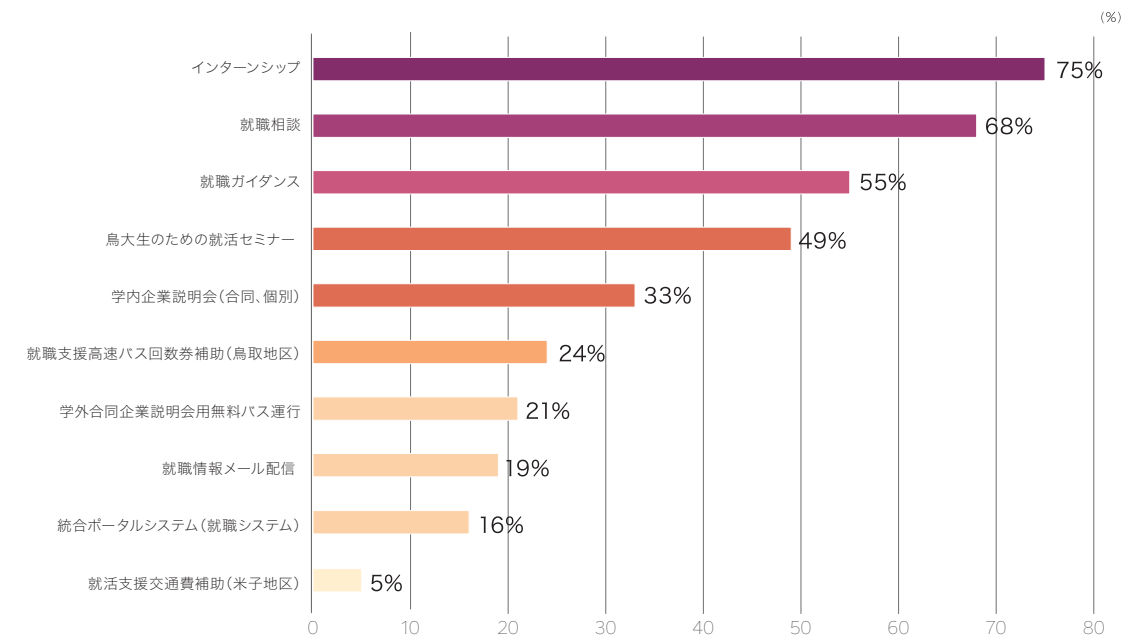


comment

鳥取キャンパス、米子キャンパスともに、約9割の学生が大学の相談体制に「満足」「やや満足」というプラスの評価をしています。しかし「不満」と答えている学生も少数いるため、相談窓口や相談方法が複数あることを再度周知するなどの工夫が必要です。

45

就職に関連するサービス、制度等について、知っているものを全て選んでください。(複数選択可能)

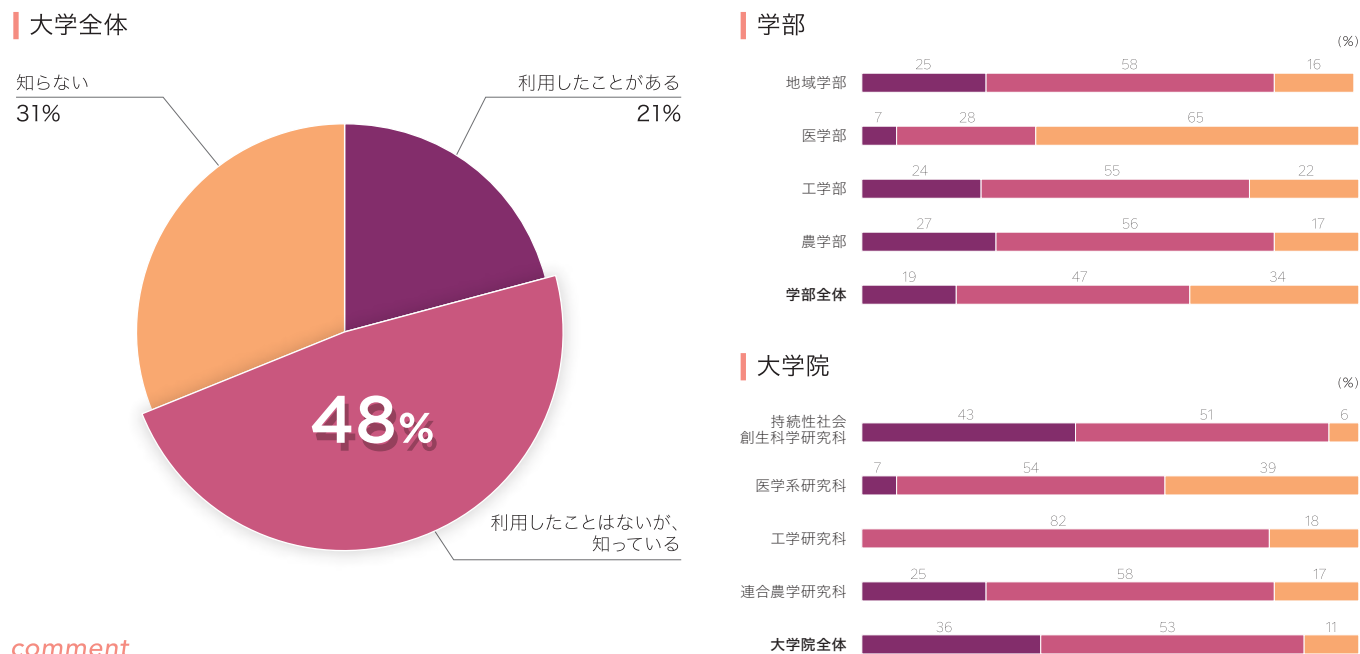


comment

大学全体では「インターンシップ」が最も回答を集めました。本学独自の就職支援としては、鳥取地区での高速バス回数券補助、米子地区での交通費補助があります。しかし後者については米子地区でも、特に学部生のあいだで認知度が低いという結果でした。本学の特色ある支援の認知度向上が課題です。

44

キャリアセンター(米子地区は学務課学生係の就職相談)を利用したことがありますか。

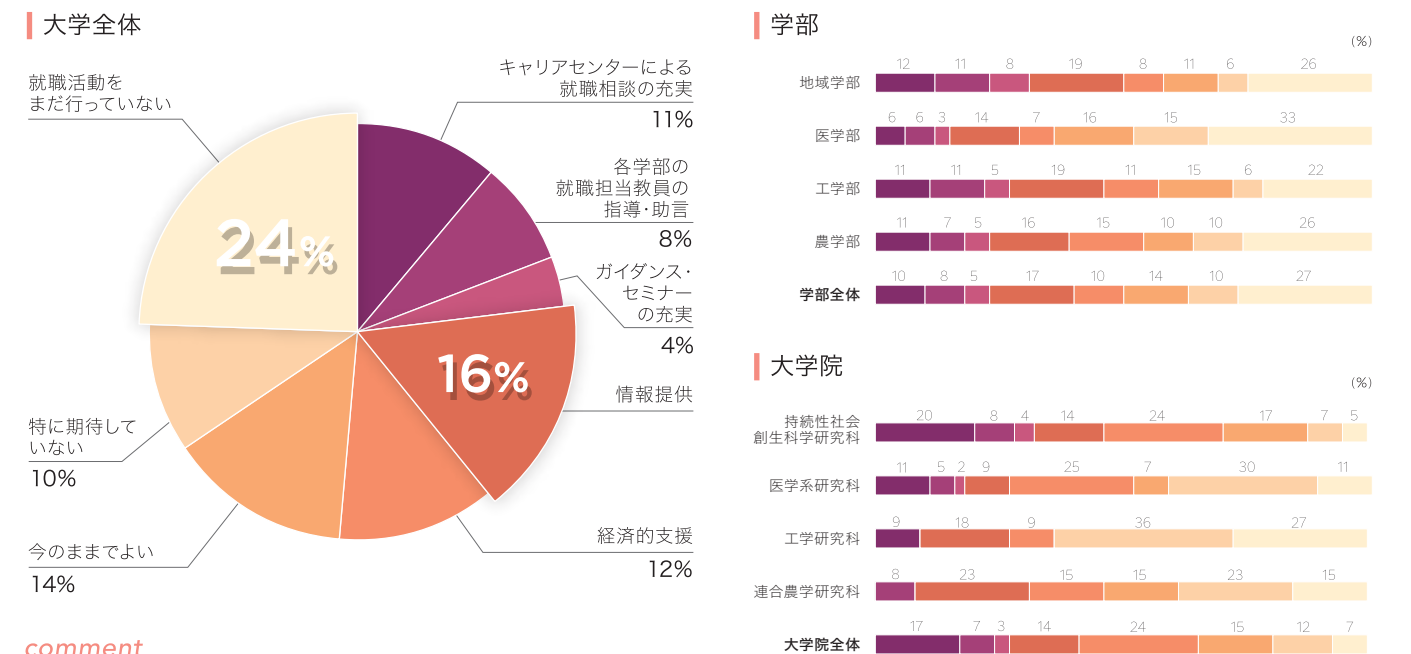


comment

大学全体でみた場合、「知らない」が3割を占めますが、学部・研究科別にみると鳥取地区ではその割合は小さく、一定の認知度はあると考えられます。ただ、大学院生よりも学部生のほうが利用度・認知度が低い傾向があるため、インターンシップ等も含めた利用を促していくことが課題です。

46

就職活動に関して、大学側にどのようなことを最も期待しますか。



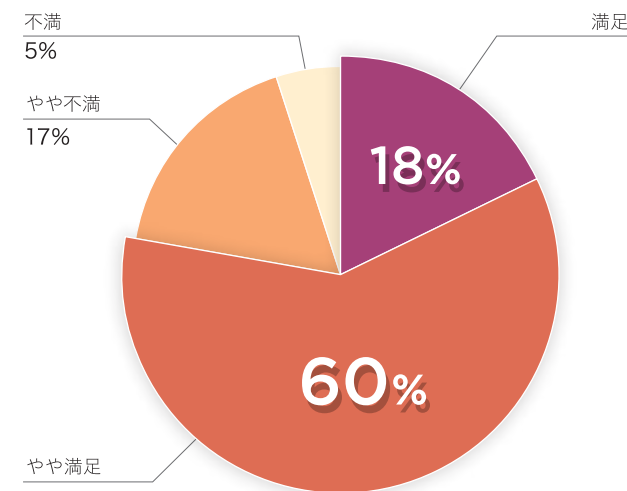
comment

就職活動をまだ行っていない学生が回答全体の4分の1を占めました。それを除くと、学部生・大学院生とも「情報提供」に対するニーズが強く、キャリアセンターに加え、本学教職員からのきめ細かな情報提供が、学生たちの期待に応える最大のポイントと考えられます。

47

【学部】 全学共通科目の科目数や内容に満足していますか。

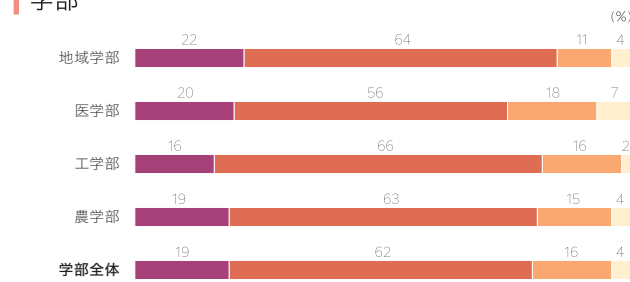
大学全体



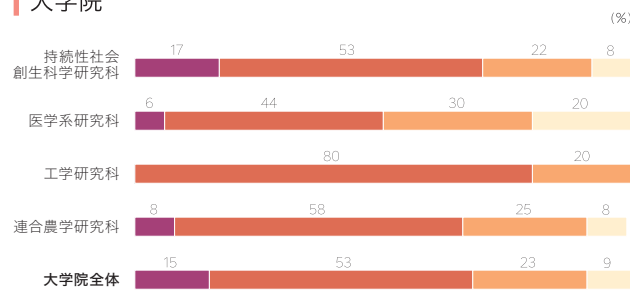
comment

「満足」と「やや満足」の合計で7～8割を占め、「不満」と「やや不満」の合計が2割程度、という結果でした。しかし、学部・研究科別にみると評価に違いがあること、「満足」の割合は2割程度にとどまること等、大学全体として学生の満足度につながるさらなる取組の強化が必要と考えられます。

学部



大学院

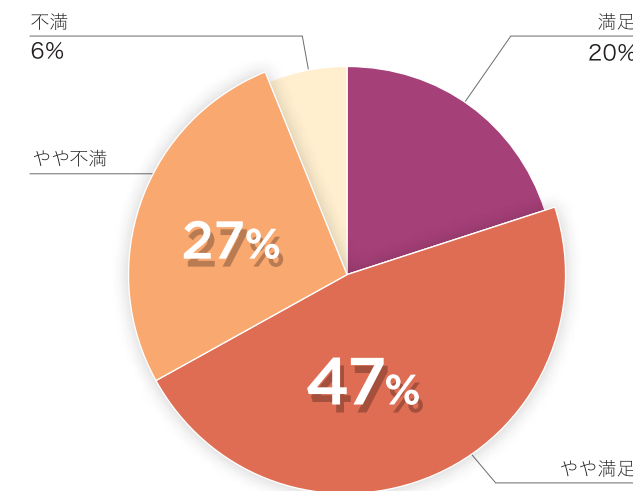


■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満

49-1

【学部】 全学共通科目の科目数や内容に満足していますか。

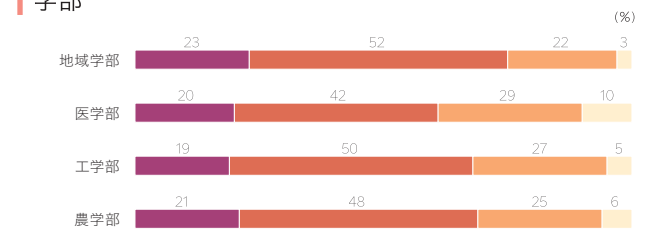
学部全体



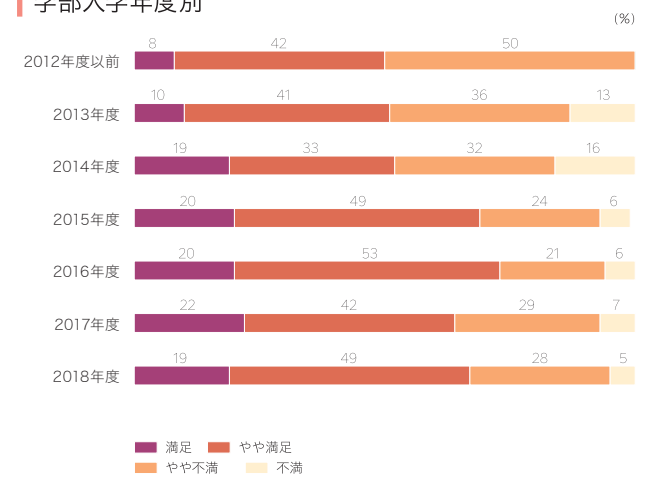
comment

「不満」と「やや不満」の割合が高いのは、2013年度以前と医学部です。過年度生が多いと思われる入学年度では、これまでの不満が表れているように思います。また、医学部で高い理由として、医学科1年生の回答が多いと予測されます。これに関しては何らかの対応が必要かも知れません。

学部



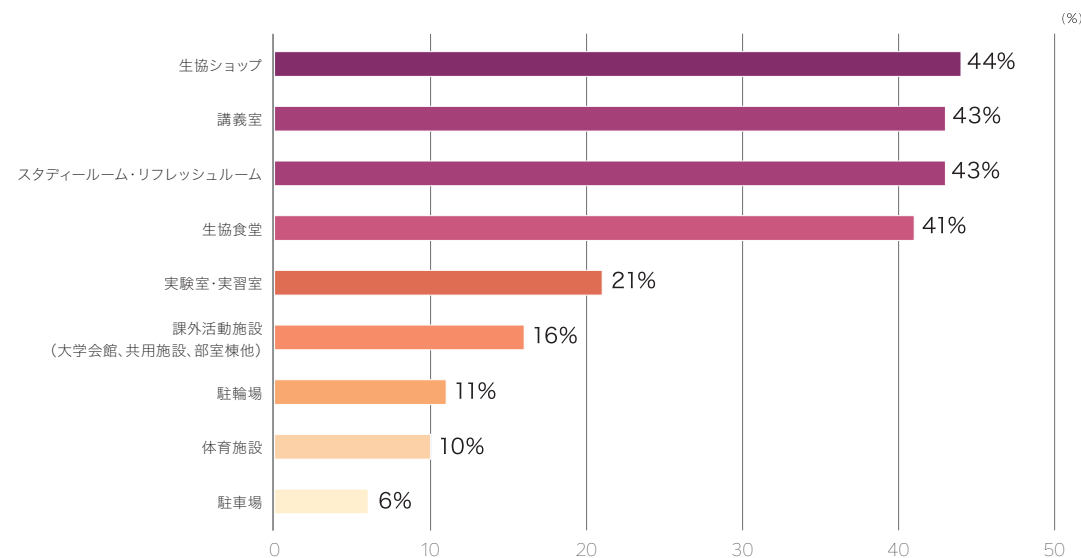
学部入学年度別



■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満

48

【学部】 満足又はやや満足の理由は何ですか。〔複数選択可能〕

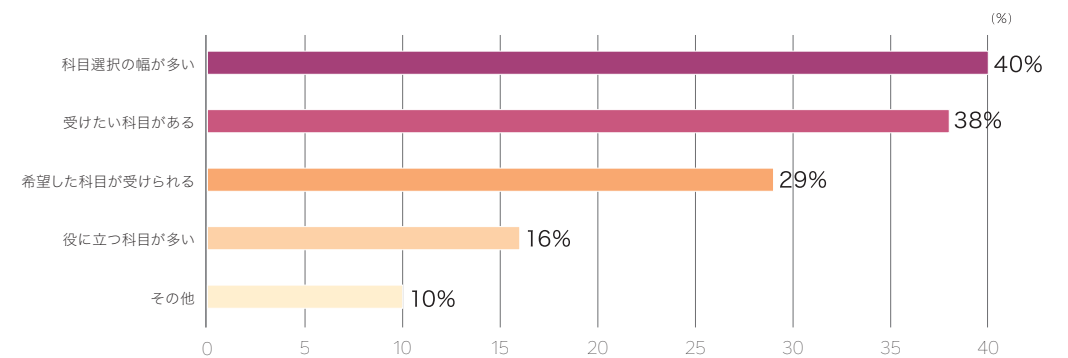


comment

「駐車場」と「駐輪場」の交通に関するものは前回の調査(2016年)でも、充実度及び利用しやすいと感じる者は少なかったです。それに加えて、「体育施設」と「課外活動施設」も低い評価となりました。近年の課外活動での活躍を考慮すると改善が必要と思われます。

49-2

【学部】 満足又はやや満足の理由は何ですか。〔複数選択可能〕



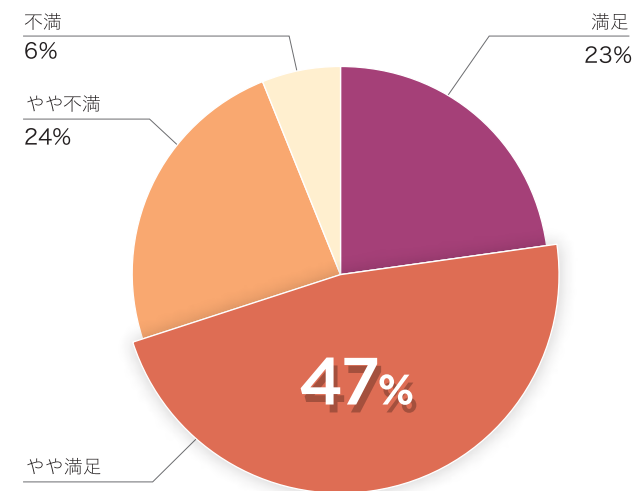
comment

「科目選択の幅が広い」と「受けた科目がある」がそれぞれ40%、38%を占めており、科目数や内容の満足度として期待された結果が得られました。

49-3

【学部】学部の専門科目の科目数や内容に満足していますか。

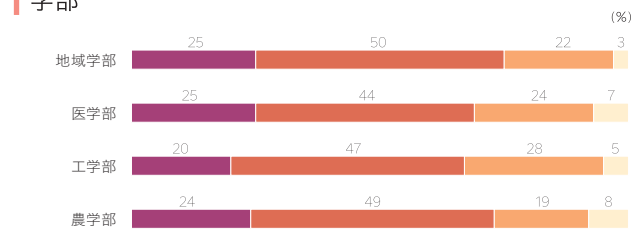
学部全体



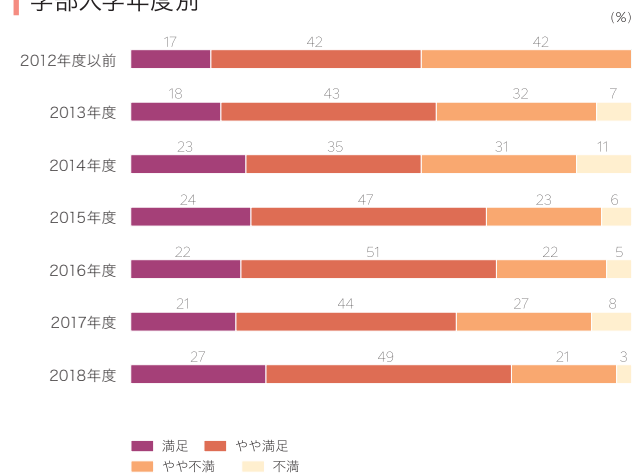
comment

学部の専門科目は、全学共通科目よりも若干満足度が高いという結果でした。学部による差異はほとんど見られませんでした。入学年度では、全学共通科目の場合と同様、2013年度以前の学生の満足度は高くありませんでした。

学部



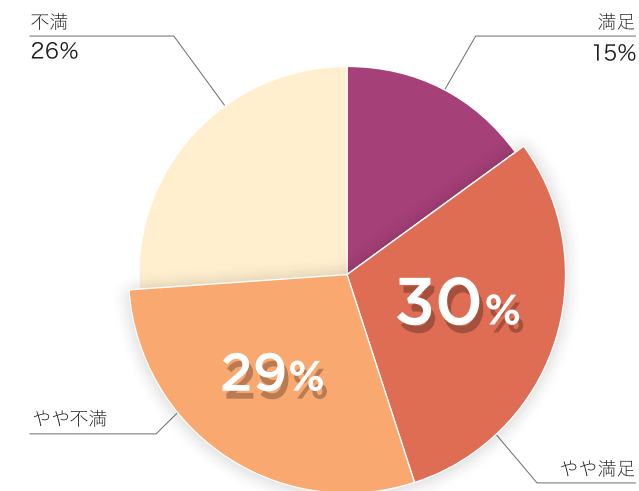
学部入学年度別



49-1

【大学院】大学院の授業科目の科目数や内容に満足していますか。

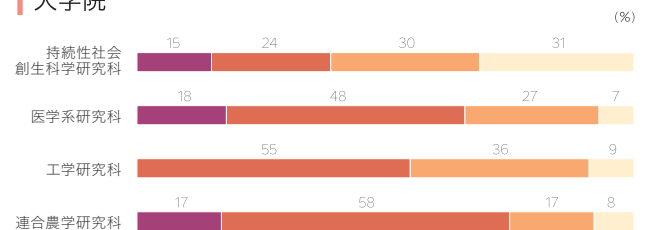
大学院全体



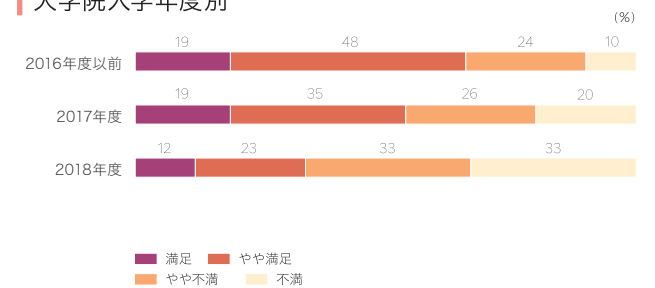
comment

学部の授業科目の時とは異なり、不満の割合が高くなっています。それも「満足」と「やや満足」の合計(45%)と、前回の調査(2016年)の「満足」と「やや満足」の合計(58%)よりもかなり悪い結果となりました。大学院の授業改善は大きな課題と思われます。

大学院

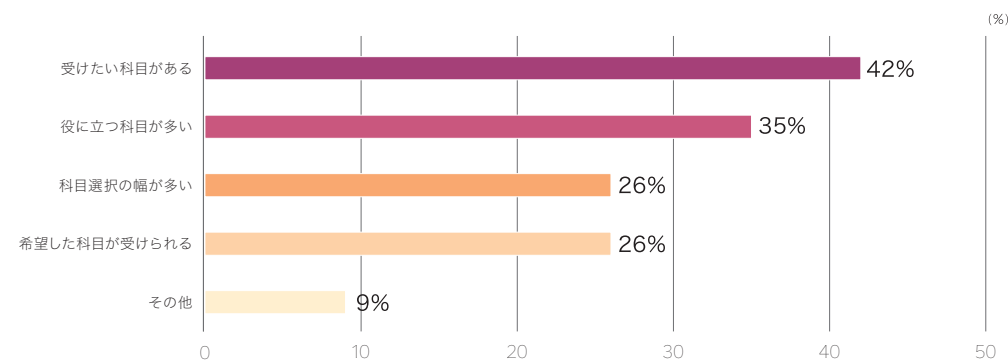


大学院入学年度別



49-4

【学部】満足又はやや満足の理由は何ですか。(複数選択可能)

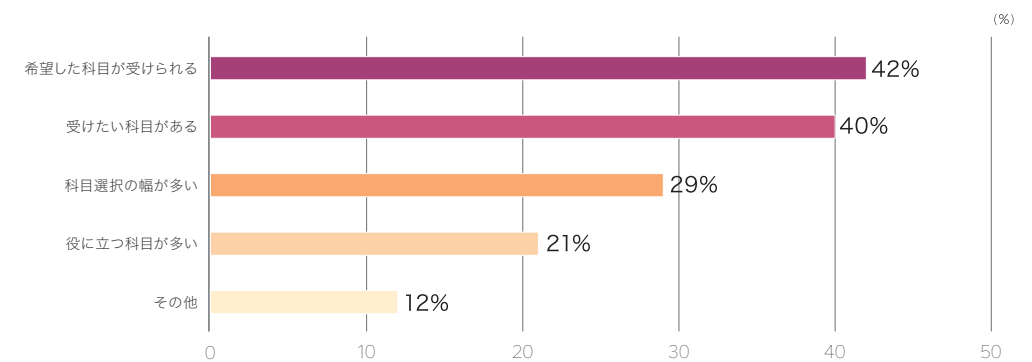


comment

全学共通科目の場合と比べると「役に立つ科目が多い」の割合が高くなりました。これも当然といえる結果で、専門科目としてよい講義が行われていることが推測されます。

49-2

【大学院】満足又はやや満足の理由は何ですか。(複数選択可能)

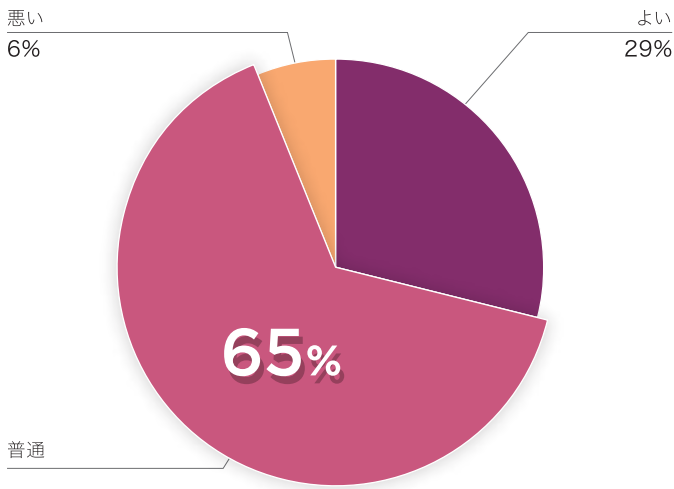


comment

「役立つ科目が多い」が21%と選択肢の中でもっとも低いことは、大きな問題と考えられます。この点からも授業内容の改善が必要と思われます。

本学の教職員の対応はどうか。

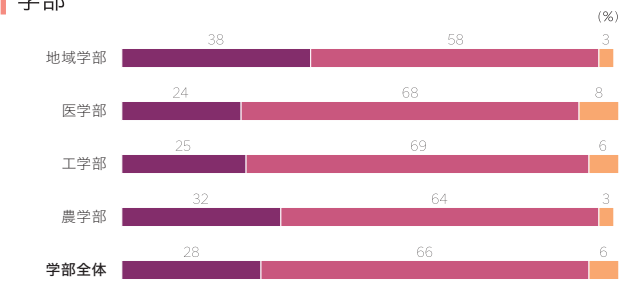
大学全体



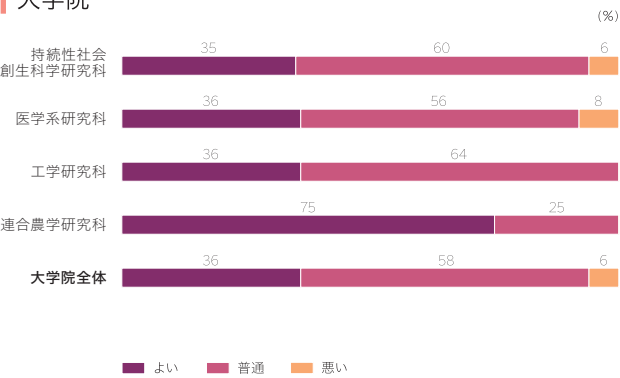
comment

前回までは「事務職員の対応」についての設問でしたが、今回は「教職員」に変更し設問の対象者が広がったにもかかわらず、前回の調査と比較すると「良い」が25%から29%に、「普通」が59%から65%に、そして「悪い」が16%から6%の結果が得られました。全体としては改善が図られたものと思われませんが、学部・研究科間で多少の偏りが見られることから、その点は再点検し改善を図る必要があります。

学部



大学院



教職員に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。

本学教職員への意見・要望を自由に書いていただいたところ、不満や要望に関するコメントが182件ある一方で、感謝、激励のコメントも6件寄せていただきました。教員については、「授業の方法及び内容の改善を求めるコメント」が多く見られました。事務職員については、「窓口での対応についてのコメント」が多いことから、今後、もっと信頼される利用しやすい窓口とするよう、頂いた意見をもとに改善していきたいと思います。

主な自由記述内容

主な自由記述内容を以下に記載しますが、記載に当たって、同じ内容のものや、個人もしくは特定の関係者を中傷する内容の意見は委員会の判断により掲載をしていません。また、掲載に当たり、文章に必要最低限の修正を加えているものがあります。

教員

授業内容

興味を持てるような授業をしてほしい。資料を見ていて生徒の顔を一切見ない先生もいる。90分の授業なら90分を有効に使ってほしい。	医学部
しゃべりたいことを話しているだけの先生が多い。自分で勉強する時間が欲しいし授業はもっと短くていい。	医学部
同じ授業内容でありながら教員が違うことで進行速度が違うことに不満を感じる。	工学部
教員によって授業の難易度・充実度に差がありすぎるように感じる。	持続性社会創生科学研究科
もっと実用的でかつ難易度の高い授業を求める。	持続性社会創生科学研究科

授業方法

もっとポイントがわかりやすく、要点を絞った授業をしてほしい。全部同じテンションで教えられたところで、時間の無駄に思える。	医学部
レジュメを使う教員の方は、自分でコピーしてきて、というより配布していただきたいです。	医学部
分かっているものだと思って説明するため、理解に時間がかかる。	工学部
もう少し、学生を見て学生に分かりやすい授業をするなり、わかっているかの確認をする工夫をしてほしい。	工学部
特に専門科目についてですが、大半の生徒が内容が分からないのに、授業を進めないでほしい。高校とは異なり、丁寧な説明などをしてくれることに対する期待は、ほとんどしていないが、もうすこし教員自身が自分の教え方などを見直すべきだと思う。自分の授業の聞き方が悪い、と思い一生懸命聞いても内容が理解できないことが多々ある。	工学部
一部の教職員の配布するレジュメの質が極端に低いことがあるので向上して欲しい。講義の説明で補える分はもちろんあると思うが、カラーを前提とした資料をモノクロで配布したり、図が掠れて読み取れない資料ばかり渡されると流石に不満を覚える。	農学部
個人的にはただ話を聞くだけの講義よりも、学生参加型の講義を希望します。とはいえ様々な学生さんがいると思いますので、講義の話の中に「～をしますか？」のような呼びかけをして頂き、学生に挙手を求めるくらいでもありがたいです。	農学部

教員の態度等

生徒に教えようとする先生と、わかりにくくて生徒に教える気のない先生の差が大きい。	医学部
先生の機嫌によって授業が左右されがち。不機嫌だと授業受ける気にならない。授業が全く面白くない先生もどうにかしてほしい。	医学部
多くの教員は普通もしくは良い人だが、一部の教員は口や態度が悪い。	工学部
一部やる気のない先生がいっぱやる。	工学部
以前受けた講義で、特定の学科だけに不快に感じられる言動をしていた教員がいたので、そのようなことがないようしてほしい。	農学部

学生への接し方

復習しやすい資料が欲しい。質問に行きやすい態度で接してほしい。	工学部
試験の結果についての質問を受け付けないとする教員が多い。	農学部

その他

コアタイムや研究室のあり方を見直すべき。	工学部
ホームページがない研究室はホームページを作してほしい。	工学部

事務職員

窓口の応接態度・対応

事務が閉鎖的で近寄りにくい。照明などを明るくしてもっと開放的にしてほしい。また、職員の態度もひどすぎる。質問しに行っても寄り添ってくれず信用できない。	地域学部
事務職員の方の中には、生徒に対して真摯に向き合って丁寧な対応をしてくださらない人が非常に多い。全員というわけではなく、優しく生徒と向き合って応対してくださる方も何人かいらっしゃいます。生徒側の主張としては、入学した後制度やルールなど分からないことも多く、至って真面目に悩み相談しているにもかかわらず、生徒に寄り添って考えてくれず冷たくあしらわれた事も何度もあり、実に不快な思いをした。	地域学部
学生からすると、困った状況で事務に相談することが多いが、塩対応されると辛いところはある。しかし、事務職員の皆さんからすると、学生の態度が悪いと感じておられるのもその通りだと思う。適切な態度でお互いに良い関係を築きたい。	医学部
事務の対応が悪い。学生と教員に対しての態度の差が激しい。学生に対してもっと丁寧な対応を希望する。電話の声が小さすぎて聞き取れない。何か制度を変えるなら教員にも話を通すべきである。事実確認に走り回られる学生の身にもなってほしい。大学内という小さなコミュニティーではあるが、もう少し責任をもって仕事をしてほしい。	持続性社会創生科学研究科

事務処理(知識、迅速化等)への不満・要望

事務の方の対応が少し遅いような気がする。(担当される方によって丁寧さが違いすぎる)	医学部
職員の仕事が遅すぎる。	持続性社会創生科学研究科

教職員に対する感謝・激励

いつも丁寧に対応して頂きありがとうございます。	医学部
良い教職員が多いと感じます。	工学部
チューターの先生がいつも親身に相談に乗ってくださってありがたいです。	農学部
人間形成コースの先生方では、気さくに話せて、かつ悩みは親身に聞いてもらえて、とても助けてもらっています。	持続性社会創生科学研究科
大方の先生が生徒に対してしっかりとした指導をしている。	持続性社会創生科学研究科
いつもありがとうございます。	連合農学研究科

シラバスをもう少し早くアップしてほしい。	医学部
シラバスで教員への連絡先やオフィスタイムが記載されていないものがあり、質問などしに行きにくいことがある。また、連絡先はメールの方が連絡しやすいので電話番号よりもメールアドレスを載せてほしい。	医学部
事務への質問フォームがあると安心。休日や土日、帰省中等にわからないことがあると不安だから。シラバスについては、教官によって充実度がバラバラなので、授業のキーワードは明記するなど、工夫してほしい。	医学部
新学期のシラバスについて、もう少し早く掲出をしていただけると助かります。次のセメスタにおける選択科目の抽選に申し込む際に、シラバスが掲出されていないと、何を基準に科目を選択すれば良いかわからず、困惑することがあります。	医学部
検索機能を付けてほしい。	医学部
鳥取大学のホームページから鳥取大学医学部のホームページに移る時に、リンクが古いため飛ばない。直してほしい。それから、医学部だけ履修登録の案内がないので、いつ履修登録開始なのか分からない。	医学部
シラバスについての要望授業を検索するために、検索結果が表示されている画面から検索画面へ戻らなくてはいけないところが使いにくい。	工学部
学務支援システムを開いたまま、新しいウィンドウを開くことなくMoodleなどに飛べるようにしてほしいです。	工学部
シラバスが1つ開けていると他の科目が開けなくなるので、いくつも開けるようにしてほしいです。	工学部
学務支援システムがHPのどこにあるのかわかりにくい。履修登録や成績確認の時にしかほぼアクセスしないので、探するのに毎回時間がかかる。わかりやすい場所に表示してほしい。	農学部
以前と総合メディアセンターのページが異なっていて、どこにMoodleや教務支援システムがあるのか分かりづらいです。一括で表示しているページを作っていただくか、すでにある場合はわかりやすくサイトから案内していただけると幸いです。	農学部
携帯からのログインが出来ない。	農学部
履修登録のとき、完了ボタンを作って欲しい。そのままログアウトしても登録できるが少し不安なため。また、クォーター制なので1回でふたつの授業が登録できるようになってほしい。	農学部
ログインするときいちいち学生証の裏のマトリックスコードやパスワードを入力するのが面倒だからもっと楽にログインできるようにしてほしい。	農学部
シラバスを開くときウィンドウが多くなるのが面倒。第2や第4Qの時にも登録できるようにしてほしい。	農学部
学務支援システム上に届いた先生からのメッセージに気づかず、困ったことがあった、改善してほしい。	持続性社会創生科学研究科

学習支援環境(ネットワーク、e-Learningシステム、オンデマンドプリンタ等)(問35)

接続が難しい。USBで印刷できるプリンタをおいてもらいたい。	地域学部
ネットワークの初期接続の際の設定をもう少し簡略化してほしい。	地域学部
オンデマンドプリンタの使用法の説明不足。図書館にある説明書は意味がわからず、未だコンビニまで行ってプリントする羽目になっている。よりわかりやすい説明書の設置を希望する。	地域学部
Wi-Fiをすべての部屋に設置して欲しい。	医学部
無理にeラーニングを授業で使用し、Wi-Fi回線が落ちて授業が中断するのはナンセンスだと思う。	医学部
オンデマンドプリンタで学生証による支払いをしますが、学生証へのチャージを図書館でもできるようにしてほしい。	医学部
学内のWi-Fiが突然繋がらなくなることがあるのを改善してもらえると助かります。	医学部
図書館のプリンターが度々故障するので、2つ設置してほしい。	医学部
学生・講義室スケジュールを校内だけでなく外部からも見れるようにしてほしい。その日一日何の授業がどこであるかを知る唯一の手段なのに、学内からしか確認できないのは不便が多い。しかも前日の午後に訂正が入ったりすると、確認できないままになることがある。学内LANでなくても見れるようにすると同時に、直前に変更があった場合などメール連絡なども追加で行って欲しい。	医学部
オンデマンドプリンタの設置台数をもう少し増やして欲しい。	医学部
色々なサービス(Moodle、livecampus、学務支援システム)があるようなのですが、どこかでweb上の入口を一元化していただけるとわかりやすいかと思っています。それがよくわからないのであまり使っていませんし、使おうという気があまり起きないというか、、、。	医学部
学内プリンタとMacbookの繋ぎ方が分かりづらい。	工学部
私の所属している研究室はWi-Fiが入らないので、インターネットを使用する際は有線をつながねばならず、非常に不便です。	工学部
繋がりにくい。図書館の一階で繋がらなかった。オンデマンドプリンタに全然データが送られず、いつもてこずっている。もっとすんなり送れるようにしてほしい。	工学部
学内LANでは通信できないネットワークがあり、得たい情報が得られない場合があります。	工学部
Moodleでもシラバスを見られるようにしてほしい。Moodleと学務支援システムを行き来できるようにしてほしい。オンデマンドプリンタに接続するときの入力画面を拡大・縮小できるようにしてほしい。	工学部
e-Learningシステムについて更新情報を記載してほしい。このシステムを使わない教員の授業もあるので、どの科目に講義資料がupされたのか一覧で示してほしい。	工学部

52 大学全般への意見、要望

この度の実態調査では、大学の取組等について様々な意見や要望が届けられました。学生の皆さんからいただいた意見等は、学生の目線でないと感じにくい内容がたくさんあります。ハードだけでなくソフト面にも重点を置いた学生生活支援の充実に向けて、改善が必要なものは優先順位を付けて見直していくことが必要と考えています。
--

シラバス・学務支援システム(問34)

シラバスや学務支援システムの活用の仕方をもっと徹底して行って欲しい。	地域学部
教務システム(学務支援システム)が使いにくい。メニュー選択等のレイアウトを見やすく変更したり、履修登録の方法をより簡便なものにするなど、改善を求める。	地域学部
履修単位の把握が現状ではできない。きちんと履修済の単位を学務支援システムに反映させて不足単位があといくつあるのかわかるようにしてほしい。	地域学部
科目検索をもう少し調べやすくしてほしい。	地域学部
授業担当者の時間がなかったのか何か分からないが、たまに詳しい内容が書かれていないほぼ白紙のシラバスを見かける。成績評価や授業の予定など、必要最低限の情報がないと学生側も授業選択に困るので、シラバスくらいは手を抜かず書いてほしい。	地域学部
少しページを開かなかただけで再ログインさせられる。	地域学部
使用マニュアル(紙媒体)が欲しい。	地域学部
授業を登録する画面からシラバスを見れるようにしてほしい。	地域学部
以前はエクセルで定期的にシラバスが更新されており、最新のものが表示されていたが、現在はPDFでまとめて大きいファイルを開く必要があり、面倒です。日程変更があった時にいちいち確認するのが面倒になったので前のシステムの方が使いやすかったです。	医学部
授業スケジュールは学内WiFi以外でも見れるようにしてほしい。	医学部

年度がかわると、前年度の授業資料がみれなくなるのが不便。事前情報なく授業資料が見れなくなったので困る。	農学部
CDLや共通教育棟にプリンタがあると更に便利になると思う。	農学部
オンデマンドプリンタの場所を地図に明記して欲しい。	農学部

図書館(問37)

ラーニングcommonsは、友人と勉強したいときやサークルの話し合いなどで大人数が集まって話ができるので重宝しています。	地域学部
席がたくさんあり、いつ行っても自由に座れる。視界を遮るような配慮があり、集中しやすい環境である。電源が多くあり、どこに座っても不自由しない。	地域学部
静かで使いやすいと感じます。テスト期間など利用者が多い時に、席取りの注意喚起をしていて、より多くの学生が利用できるようになっていて助かっています。	地域学部
夜遅くまで開いていて席数も多い。	地域学部
グループ学習室が使いやすいから。	医学部
自習室も数が多くて助かる。雰囲気も木材でできていて落ち着く。	工学部
多くの学術書や文学作品、それに関連した本が多く置いてあるので大学生にとっては便利だと感じています。大衆文学も偏りはありませんが、まずまず置いてあるので良いと思います。	地域学部
「シラバス掲載図書」とまとめられているので大事な本がすぐに探せる。	医学部
先行している学問に関する資料が多い。また、無い書籍についてはリクエストをしたことがあるが、対応がとても早かった。	持続性社会創生科学研究科
貸出制度や予約制度は便利だと感じています。	地域学部
貸出延長の手続きがWebでできるのがとても助かります。	地域学部
機械の設置によってスムーズに貸し出しできるから。	地域学部
蔵書検索がとても利用しやすい。自習に行くときも開館時間が調べられて良い。	医学部
返却期限をメールなどで教えてくれるのは便利のため。	工学部
論文をネットで探せるのが良い。	農学部

大学に対する意見、要望(問52)

喫煙

学内全面禁煙にしても喫煙者のマナーは改善されません。むしろ局所的には悪化しているとも思えます。段階的に禁煙をすすめるべきではないでしょうか。喫煙所を各学部にか所ずつ設置するだけでも変化があると思います。	工学研究科
構内禁煙ですが正門横の学内禁煙の看板の前が喫煙所代わりになっています。構内だけでなく構内周辺での禁煙が守られないことも大学の責任であると思います。私は非喫煙者ですが禁煙よりも分煙を優先すべきだと考えています。喫煙所の設置を検討お願いします。	農学部
喫煙所の設置をお願いします。自分は喫煙していませんが、家の前でたくさん吸われて困っています。しかし本学内が全面禁煙とは言え、禁煙したくてもできないとか、来客の方は喫煙したいはずなので分煙して欲しいです。	農学部
よく、農学部棟や工学部棟の裏、工学部棟側での生徒、職員の喫煙が見られ、看板に「喫煙するな、ポイ捨てするな」と書かれていても、改善されていない現状です。なので、各学部棟内やその付近などに喫煙ルームの設置を要望します。喫煙ルームがあれば、ポイ捨てや近隣住民からのクレームも減ると思います。	農学部
落ちてるタバコの吸殻が多い。学内に喫煙スペースを作った方が近隣の迷惑にもならないので良いのではないかと 思います。	持続性社会創生科学研究科
大学敷地周辺での喫煙者は後を絶ちませんが、大学側が学内に公式に喫煙所を作るべきではないでしょうか。ただやめなさい、学内完全禁煙ですなどと、お互いに歩み寄らない精神では問題が解決しないと思います。周辺住民からの苦情があるなら、外から見えないように囲い込むような場所を作るなど、そういった対処の仕方もあるのでないでしょうか。現状、解決していませんので、看板や巡回は意味がないと感じざるを得ません。大学の新たな対策に期待します。	持続性社会創生科学研究科
大学構内に、小さな物でよいので喫煙室(もしくは喫煙スペース)を設けてほしい。私はタバコを吸わないため構内全面禁煙はありがたいが、校門周辺で喫煙者が目立ち、通る度に煙草のにおいがするのは好ましくない。第二駐車場で入り口付近にもよく人が立って喫煙しており、自動車での通行の際に安全面での不安がある。大学側は、喫煙者に対して大学内・校門付近での喫煙を避けるように注意喚起を行うことしかできておらず、現状を鑑みて十分な効果が挙げられているとは思えない。また、喫煙者に対して煙草を吸わせなくするのは不可能である。そこで、喫煙室を大学内に設けることで、近隣住民や通行人の視界からの隔離、吸い殻のポイ捨ての低減などの効果を期待できると考える。まずは、試験的な運用であってもよいと思うので、大学内のどこかに喫煙室または鳥取駅付近に見られるような、鉢植えの樹木で囲った屋外の喫煙スペースなどを設置してほしい。	連合農学研究科

駐輪

駐輪場を増やすことと、それに屋根をつけること。	地域学部
駐輪場が少ない。最も利用されているであろう共通教育棟前の駐輪場は度々キャパシティオーバーになる上、大学会館前の駐輪が減らないのはその付近に駐輪場が無いからではないのか。	地域学部

駐輪マナーが悪い。(駐輪スペース外に停めている自転車が邪魔な時がある)	地域学部
食堂、生協ショップの近くに駐輪場を作ってほしい。	工学部
駐輪場を広くしてほしい。自転車通学している学生の自転車が現在の駐輪場内にすべて収まるとは思えない。	工学部
共通教育棟の前の駐輪場に屋根を付けてほしい。	工学部
駐輪所に放置されている自転車が邪魔で道をふさいでいることがあります。明らかに廃棄されているものは回収して、駐輪所のスペースを確保してほしいです。	農学部
農学部の駐輪場に落ち葉がたまっているのをどうにかして欲しい。屋根をつけてもらえると嬉しい。	農学部
共通教育棟の南側の道路脇の、コンクリートで舗装された駐輪スペースを駐輪場として認めてほしい。	農学部
違反駐輪自転車の取り締まりを厳しくしてほしい。道が狭くなり雨の日や自動車が通る時などはより危険になっている。	農学部
図書館前の駐輪車が少なすぎる。	農学部
駐輪場の場所をもっとみんなに教えてほしい。	持続性社会創生科学研究科
駐輪場の設置を徹底していただきたいです。現在駐輪禁止とされている場所にたくさんの自転車が駐輪されていると思います。特に大学会館の前、共通教育棟の駐輪場、工学部棟の正面玄関の前は駐輪場外の駐輪が見られます。その付近に、その自転車の数に見合う駐輪場を設置すべきだと思います。このまま学生の好きなところに停めさせるよりはその方が断然いいと思います。工学部棟の前は救急車や消防車が来た時のために駐輪場にできないと聞いたことがあります。今のままでは駐輪場になっているも同然です。メールで注意喚起したところで変わるものではありません。その代わりの場所として、その道の反対、図書館側に駐輪場を設置することを提案します。おそらくそれでもあふれて道をふさいでしまうこともあると思うので、芝生などほかの場所にも駐輪場の設置ができればもっといいと思います。工学部棟以外の場所も含め、ご検討のほどよろしくお願いします。	持続性社会創生科学研究科

課外活動施設

サークル棟にエアコンを設置してほしいです。夏は暑すぎてサークル棟での活動がしにくいです。	地域学部
課外活動施設の環境を改善してほしいです。旧廃液処理施設は、何度も隣の研究室から液体が漏れており、学校の楽器も中に置いてあるため、あまり良くないと思います。また、体育会系のサークルにはきちんと体育館があるので、音楽系サークルにも活動に適したホールなどが出来たら嬉しいです。	地域学部
体育館が狭すぎる。	医学部
サークル棟にWi-Fiが必要。	医学部
米子地区の体育館でもネットを使えるようにしてほしい。	医学部
医学部での音楽サークルの活動時間が、夜8時までなのは厳しい。バンド練習や全体での活動があると個人練習する時間がなくなり、結果他のメンバーに迷惑をかけてしまう。今より不便な所でもいいので部室を移転するなりして活動できるようにしてほしい。	医学部
ウォータークーラーの設置をしてほしい、体育館前など運動施設の周辺にはもちろん、各学部の階層ごとに2個ずつくらいが希望。	工学部
野球場の土を買っていただきたい。	工学部
グラウンドを人工芝にしてほしい。グラウンド周辺に駐車場を作ってほしい。グラウンド近くに自販機を置いてほしい。グラウンド周辺に部室がほしい。グラウンド近くにもっと大きい倉庫がほしい。	農学部
芸術系サークルが大きい作品を制作できるような共用アトリエが欲しい。	農学部
第二体育館の付近に自動販売機の設置をお願いします。	農学部
学生会館和室にWi-Fiが届かない件が何度相談してもなおりません、よろしくおねがいします。	持続性社会創生科学研究科
部室棟についてです。現在部室を使用している部の中でほとんど使われていない部屋が見受けられます。音楽系サークルは練習場所が限られており、部屋が空いていれば使いたいというサークルは多くあると思います。実質使われていない部室があれば、そこを借りたい部が大学会館の部屋のように借りれるような制度ができればうれしいです。	持続性社会創生科学研究科

経済支援

大学院への入学金について、鳥大生は安くなったり免除になったりしませんが・・・？	医学部
授業料免除不許可の理由を教えてほしい。家計がギリギリなのに不許可になって非常に困っている。	医学部
学部の頃は受けられた授業料免除が、院生になった後に受けられなくなって生活に困っているの、授業料免除の枠を広げてほしい。	医学系研究科
第2種奨学金を受けている学生でも、鳥取大学優秀学生表彰を授与されるほど優秀な学生であれば返済免除にしてほしい。	工学部

就活

就職支援がバスの回数券だけというのは、支援が足りていないと感じました。鳥取を拠点と言うだけで移動が大変なのに、もっと経済的な援助があっていいと思います。	地域学部
就活支援バスの回数券の購入可能枚数を増やしてほしい。あと、大阪以外の区間（鳥取～福岡、鳥取～東京）を作ってほしい。	工学部
大阪への就職支援バスを3年生の夏から使えるようにしてほしい。インターンシップが主流になってきており、就職のピークは今の時代は3年生なのに4年生しか使えないなんて意味がない。	工学部
就活バスの利用できる回数をもっと増やしてほしい。	持続性社会創生科学研究科

学食・売店

マーレの出口に水道がほしいです。厳しいようでしたら、ウェッティを置いてほしいです。生協でお弁当を買った時にも、セルリアのようにおしぼりを付けてほしいです。また、5限後にも行けるようにもう少し長く開いていたらありがたいです。	地域学部
食堂の値段をもう少し下げてほしい。	地域学部
土日の昼も食堂を開けてほしい。	医学部
食事をする施設をもっと増やして欲しい。弁当のレパートリーが少なすぎる。	工学部
生協食堂の渋滞緩和策を講じてほしい。	工学部
食堂・生協ショップの拡大。	農学部
生協ショップの営業時間をのばしてほしい。	農学部
弁当の販売場所をより多く設置してもらいたい。	農学部

その他

学生のやりたいことをもっと吸い上げてほしい。	地域学部
JRで通っているが、JRが止まってから休講を出すのでは対応がとても遅く、帰ることが出来なくなりとても困る。また、休講を出す時間が遅いため、休講の発表をされた頃には既に汽車に乗っている状態である。JRが止まりそうな時は止まってから休講にするのではなく、早めに対応してほしい。	地域学部
鳥取大学に、生徒の意見・要望を受け入れる姿勢が見られない。学生生活実態調査自体も、好評価に対してのみ理由を述べさせる欄が設けられており、改善の意思が感じられず、残念に思います。	地域学部
お金がなくなっているんな面で苦慮しているのは大変良く痛感しているので、無駄をどんどん省くだけでなく、稼ぐことも考えてみてはどうか。	地域学部
学務の対応が以前に比べて親切・丁寧になって嬉しい。	医学部
鳥取大学の教養課程が非常に短い。学年が上がるにつれて、自身の教養のなさに研究活動のネックとなっている。もっと教養科目を履修する期間を長くするべきであると感じている。	医学部
医学部以外の視点を米子にも取り入れてほしい。隔離されているように感じます。	医学部
情報数の地域格差を感じてしまうので、もっと様々な情報を打ち出してほしい。	医学部
教職員に対して意見や要望を伝えやすい環境でないと思うので改善してほしい。	医学部
教養科目の文学で日本文学とフランス文学で分けてほしい。	工学部
大学からある程度離れたところに住んでいる学生に対しては駐車場を授業の間だけでも無料にしてほしいと感じている。公共交通機関が少ない鳥取で車で通学できないのは特に雨や雪の日などは不便である。また付近の月極駐車場は金銭的な負担が大きい上いたずらが心配である。	工学部
ファストフード等の外部の飲食店を学内に入れてほしい。	工学部
地元の学生で湖山以外にすんでいる学生は公共交通機関で行きづらいため、地元の学生でかつ公共交通機関でくのが難しいとこに住んでいる学生には駐車場の補助をしてほしい。	農学部
大学は学生にとって人生の中でも特別な時期に当たります。かつ大学の存在意義や在り方が問われる時代です。故きを温ねつつも先見性と柔軟性を持って頑張ってください。	農学部
研究室に割り当てられる研究費を増やして欲しい。	連合農学研究科
夜間実験時の夜食用の軽食の自販機を設けてほしい。	連合農学研究科

TOTTORI
CAMPUS
LIFE2018

参考資料

今回のアンケートを行うにあたり、
学生に回答してもらった設問を
記載しています。

平成30年度学生生活実態調査 調査項目

1. 家計状況について

問 1. 【全員が対象です】

あなたの直近1年間における平均的な1か月の収入はいくらですか。
小遣いや仕送り、奨学金、アルバイト、その他に区分して、回答してください。

1) 収入合計

1. ～1万円未満	2. 1万円～3万円未満	3. 3万円～5万円未満	4. 5万円～7万円未満
5. 7万円～9万円未満	6. 9万円～11万円未満	7. 11万円～13万円未満	8. 13万円以上

2) 学資負担者等からの小遣いや仕送り

1. ～1万円未満	2. 1万円～3万円未満	3. 3万円～5万円未満	4. 5万円～7万円未満
5. 7万円～9万円未満	6. 9万円～11万円未満	7. 11万円～13万円未満	8. 13万円以上

3) ～5) の選択肢は、上記 2) と同様です。

3) 奨学金

4) アルバイト

5) その他

問 2. 【全員が対象です】

あなたの直近1年間における平均的な1か月の支出はいくらですか。
食費、住居費、修学費、課外活動費、通信費、その他に区分して、回答してください。

1) 支出合計

1. ～1万円未満	2. 1万円～3万円未満	3. 3万円～5万円未満	4. 5万円～7万円未満
5. 7万円～9万円未満	6. 9万円～11万円未満	7. 11万円～13万円未満	8. 13万円以上

2) 食費

1. ～1万円未満	2. 1万円～2万円未満	3. 2万円～3万円未満
4. 3万円～4万円未満	5. 4万円～5万円未満	6. 5万円以上

3) ～7) の選択肢は、上記 2) と同様です。

3) 住居費（家賃、光熱水料費含む）

4) 修学費（教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等）

5) 課外活動費（サークル活動、ボランティア活動等）

6) 通信費（携帯電話、インターネット等）

7) その他（上記に含まれない経費）

問 3. 【全員が対象です】

あなたは、現在の自分の経済状態をどのように感じていますか。

1) 支出合計

1. 余裕がある	2. やや余裕がある	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
----------	------------	-------	----------	--------

2. 住居・通学方法について

問 4. 【全員が対象です】

あなたの住居の種別はどれですか。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 実家 | 2. アパート・マンション（バス・トイレがユニット式） |
| 3. アパート・マンション（バス・トイレがセパレート式） | 4. 共同アパート（バス・トイレ・流しが共同） |
| 5. 学寮 | 6. その他 |

問 5. 【全員が対象です】

あなたの出身地域はどこですか。

1. 鳥取県	2. 中国地区（鳥取県を除く）	3. 四国地区	4. 近畿地区	5. 東海・北陸地区
6. 関東地区	7. 東北・北海道地区	8. 九州・沖縄地区	9. 海外	

問 6. 【全員が対象です】

あなたの通学時間（片道）はどのくらいですか。

1. 5分未満	2. 5～10分未満	3. 10～15分未満	4. 15～30分未満
5. 30～60分未満	6. 60分以上		

問 7. 【全員が対象です】

あなたの通学方法は何ですか。（乗継の場合はもっとも長い区間の手段を選んでください。）

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. バス
5. 鉄道	6. 自家用車	7. その他	

問 8. 【「問 7」の質問で自転車と答えた人に尋ねます】

自転車の賠償保険（生協の賠償責任保険など）に加入していますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

3. アルバイトについて

問 9. 【全員が対象です】

あなたは、直近1年間にアルバイトをしましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 10. 【「問 9」の質問ではいと答えた人に尋ねます】

1) あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。

1. 週5日以上	2. 週3～4回	3. 週1～2回	4. 長期休業期間中のみした
5. たまに、必要に応じてした			

2) 直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。（複数選択可能）

1. 飲食店店員〔ファミレス・ファーストフード以外〕	2. 肉体労働〔引越し手伝い以外〕		
3. 一般事務	4. ファミレス・ファーストフード店員	5. 家庭教師	
6. ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント	7. 引越し手伝い	8. スーパー・コンビニ店員	
9. 商品販売	10. イベントスタッフ	11. 学習塾講師	12. その他

3) 1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか。

1. 4時間未満	2. 4～7時間未満	3. 7～14時間未満	4. 14～21時間未満	5. 21時間以上
----------	------------	-------------	--------------	-----------

4) アルバイトの収入は、何に使いましたか。または何に使う予定ですか。（複数選択可能）

1. 修学費（教科書、参考書、公務員講座費等）	2. 授業料	3. 通信費（携帯電話、インターネット等）	
4. その他	5. 課外活動費（サークル活動、ボランティア活動等）	6. 住居費（家賃、光熱水料費含む）	
7. ファッション・美容費（散髪、化粧品、衣服等）	8. 交遊費（旅行等）	9. 食費	10. 趣味

5) アルバイトが修学上、負担になっていますか。

1. かなり負担になっている	2. ある程度負担になっている	3. ほとんど負担になっていない	4. 全く負担になっていない
----------------	-----------------	------------------	----------------

4. 授業以外での学習について

問 11. 【全員が対象です】

あなたは授業以外で、予習・復習の他、宿題やレポート作成を含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。

1. 1時間未満	2. 1～2時間	3. 2～3時間	4. 3～4時間	5. 4時間以上
----------	----------	----------	----------	----------

問 12. 【全員が対象です】

授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。

1. 自宅	2. 学内の自習室等	3. 大学図書館	4. 学生研究室	5. その他
-------	------------	----------	----------	--------

問 13. 【全員が対象です】

自宅では、主に何をして過ごしていますか。1つだけ選んで下さい。(複数選択可能)

1. その他	2. マンガを読む	3. 読書	4. 友人と遊ぶ	5. 勉強
6. メール・SNS	7. ゲーム	8. テレビ	9. 家事（掃除・洗濯・料理等）	10. インターネット

5. 課外活動について

問 14. 【全員が対象です】

あなたは、現在サークル等（同好会を含む）に入っていますか。

1. 加入している	2. 以前加入していたが、現在加入していない	3. 加入したことがない
-----------	------------------------	--------------

問 15. 【「問 14」の質問で加入している又は以前加入していたが、現在加入していないと答えた人に尋ねます】

1) あなたは、どのようなサークル等（同好会を含む）に入っていますか（または入っていましたか）。

1. 学内の体育系サークル等に参加	2. 学内の文化系サークル等に参加	3. 学外のサークル等に参加
-------------------	-------------------	----------------

2) あなたがサークル等に入っている（または入っていた）理由は何ですか。(複数選択可能)

1. 活動内容に興味があるから	2. 友人を得るため	3. 先輩・友人に勧められて	4. 体力づくりのため
5. 自分の特技を伸ばすため	6. その他		

3) あなたは、サークル等で1週間平均何時間くらい活動していますか。

1. 4時間未満	2. 4～7時間未満	3. 7～14時間未満	4. 14～21時間未満	5. 21時間以上
----------	------------	-------------	--------------	-----------

4) サークル活動と学業の関係はどうか。

1. 学業をかなり犠牲にしている	2. 学業を少し犠牲にしている	3. 学業を犠牲にしていない
------------------	-----------------	----------------

問 16. 【全員が対象です】

あなたは、直近1年間にボランティア活動をしていますか。またはしたことがありますか。

1. している	2. したことがある	3. したことがない
---------	------------	------------

6. 学生生活について

問 17. 【全員が対象です】

あなたは、現在の学生生活に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

問 18. 【「問 17」で満足又はやや満足と答えた人に尋ねます】

その理由は何ですか。(複数選択可能)

1. 学内に活気がある	2. 鳥取大学に魅力がある	3. 教員との接触の機会が多い
4. 鳥取に魅力がある	5. 大学の施設・設備が良い	6. その他
7. 授業が面白い	8. サークル活動がうまくいっている	9. 友人関係がうまくいっている

問 19. 【「問 17」でやや不満又は不満と答えた人に尋ねます】

その理由は何ですか。(複数選択可能)

1. 授業が面白くない	2. サークル活動がうまくいかない	3. 友人関係がうまくいっていない
4. 教員との接触の機会が少ない	5. 大学の施設・設備が悪い	6. 学内に活気がない
7. 鳥取大学に魅力がない	8. 鳥取に魅力がない	9. その他

問 20. 【全員が対象です】

あなたは、現在学生生活の中でどのような点に最も重点をおいて行動していますか。

1. 勉強・研究をする	2. 課外活動をする	3. 友人を得て豊かな人間関係を結ぶ
4. レジャー等生活を楽しむ	5. アルバイトをする	6. 就職の準備をする
		7. 特にない

問 21. 【全員が対象です】

あなたは、自分の不安や悩みについてどのように対処していますか。(複数選択可能)

1. 自分で解決	2. 家族に相談	3. 友人・先輩に相談
4. 教職員に相談	5. 保健管理センターに相談	6. 学生支援センターに相談
7. 学生相談員に相談	8. 誰にも相談していない	9. その他

問 22. 【全員が対象です】

あなたは、1日平均何時間くらい睡眠をとっていますか。

1. 3時間未満	2. 3～5時間	3. 5～7時間	4. 7～9時間	5. 9時間以上
----------	----------	----------	----------	----------

問 23. 【全員が対象です】

あなたは、何時ごろに就寝していますか。

1. 21時～22時	2. 22時～23時	3. 23時～24時	4. 24時～1時
5. 1時～2時	6. 2時～3時	7. その他	

7. 就職について

問 24. 【全員が対象です】

あなたは、将来主にどのような職業に就きたいと思いますか。

1. 大学・官公庁等の教育・研究職	2. 教員	3. 一般公務員	4. 企業等の技術・研究職
5. 企業等の総合職・営業職・一般職	6. 資格を要する専門職	7. 自営業（家業を継ぐ場合も含む）	8. その他

問 25. 【全員が対象です】

あなたは、就職するとした場合、勤務地は主にどこを希望しますか。

1. 鳥取県	2. 中国地方（鳥取県を除く）	3. 四国地方	4. 近畿地方	5. 中部地方
6. 関東地方	7. 東北・北海道地方	8. 九州・沖縄地方	9. 国内であればどこでも	10. 海外

問 26. 【全員が対象です】

勤務地として希望している主な理由は何ですか。

1. 出身地だから	2. 出身地に近いか	3. 出身地ではないが、希望の企業の所在地だから
4. 都市圏だから	5. その他	

8. 経済支援体制について

問 27. 【全員が対象です】

入学科・授業料免除、奨学金、表彰等に関連する制度について、知っているものを全て選んでください。(複数選択可能)

1. 入学科・授業料免除	2. 入学科徴収猶予	3. 国の教育ローン
4. 入学科・授業料奨学融資	5. 日本学生支援機構奨学金	6. 日本学生支援機構以外の奨学金
7. 学生表彰	8. 優秀学生育成奨学金	9. 学内ワークスタディ

問 28. 【経済支援を申請しなかった人が対象です】

1) 入学科・授業料免除を申請しなかった主な理由は何ですか。

1. 制度を知らなかった	2. 免除基準（学力基準）に該当しなかったと思った
3. 免除基準（家計基準）に該当しなかったと思った	4. 申請手続きが面倒だった
5. 経済的に免除の必要がない	6. その他

2) 奨学金を申請しなかった主な理由は何ですか。

1. 制度を知らなかった	2. 奨学金の申請基準（学力基準）に該当しなかったと思った
3. 奨学金の申請基準（家計基準）に該当しなかったと思った	4. 申請手続きが面倒だった
5. 経済的に奨学金の必要がない	6. その他

問 29. 【全員が対象です】

1) 入学科・授業料免除について要望することがありますか。〔複数選択可能〕

1. 免除の学力的な条件の緩和	2. 免除の経済的な条件の緩和	3. 免除の人数の増加
4. 事務手続きの簡略化	5. 特に希望はない	6. その他

2) 奨学金について要望することがありますか。〔複数選択可能〕

1. 奨学金の学力的な条件の緩和	2. 奨学金の経済的な条件の緩和	3. 奨学金の人数の増加
4. 事務手続きの簡略化	5. 特に希望はない	6. その他

問 30. 【全員が対象です】

本学の経済支援全般に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

9. 学習支援体制について

問 31. 【全員が対象です】

教育に関連するポリシー、制度等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 鳥取大学教育グランドデザイン	2. 学士課程・大学院課程教育に関する三つの基本方針	3. 成績の評価（成績評価基準）
4. 成績評価の疑義申立て	5. CAP 制度	6. GPA 制度
7. 授業中のマナー	8. 試験における「不正行為」	9. グローバル教育プログラム
		10. 地域創生推進プログラム

問 32. 【全員が対象です】

シラバスはどのように活用していますか。〔複数選択可能〕

1. 授業科目の選択	2. 授業内容の確認	3. 予習・復習
4. 到達目標の確認	5. 成績評価方法と基準の確認	6. 教育グランドデザインや卒業認定・学位授与の方針との関連

問 33. 【全員が対象です】

学務支援システムは、履修登録と成績の確認以外で、どのように活用していますか。〔複数選択可能〕

1. 個人時間割の確認	2. 一般健康診断情報の確認	3. 授業料免除の申請をする日の予約
4. 奨学金の申請・返還誓約書提出をする日の予約		5. 学内連絡の受信設定
6. 授業連絡の確認	7. 授業アンケートの自由記述の回答	8. 活用していない

問 34. 【全員が対象です】

シラバスや学務支援システムについて要望することがありますか。 ※あると答えた方は、その内容を記入してください

1. ある	2. ない
-------	-------

問 35. 【全員が対象です】

学習支援環境（ネットワーク、e-Learning システム、オンデマンドプリンタ等）について要望することがありますか。 ※あると答えた方は、その内容を記入してください

1. ある	2. ない
-------	-------

問 36. 【全員が対象です】

図書館に関連するサービス等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. My Library	2. 各種講習会の実施	3. 3 県内図書館からの資料の取り寄せ
4. 他大学等からの論文の取り寄せ	5. 鳥取大学研究成果リポジトリ	6. 電子書籍の利用
7. リクエスト、ブックハンティングなどの学生による選書		

問 37. 【全員が対象です】

1) 図書館の施設（ラーニングコモンズ、閲覧室など）について満足していますか。 ※あると答えた方は、その内容を記入してください

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

2) 図書館の蔵書（冊数、構成）について満足していますか。 ※あると答えた方は、その内容を記入してください

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

3) 図書館のサービス（貸出、Web サービスなど）について満足していますか。 ※あると答えた方は、その内容を記入してください

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

問 38. 【全員が対象です】

本学の学習支援全般に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

10. 生活支援体制について

問 39. 【全員が対象です】

学生相談、生活支援、ハラスメントの防止等に関連するサービス、制度等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 「学生なんでも相談窓口」	2. 学生相談員	3. セクシャル・ハラスメントに関するガイドライン
4. ハラスメント相談員	5. 学生に対する懲戒処分及びその規則	

問 40. 【全員が対象です】

保健管理センターで行っているサービス等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 健康診断	2. 健康相談	3. 診察	4. メンタルヘルス（カウンセリング）
---------	---------	-------	---------------------

問 41. 【今年度健康診断を受けなかった方が対象です】

今年度の健康診断を受けなかった主な理由は何ですか。

1. 知らなかった	2. 忘れていた	3. 授業があった	4. 他の用事があった
5. 受けるのが面倒だった	6. 健康なので必要ないと思った	7. その他	

問 42. 【今年度健康診断を受けなかった方が対象です】

保健管理センターについて要望することがありますか。

1. 特になし	2. 健康診断や健康相談（診察・カウンセリングを含む）の日時を増やして欲しい	
3. 測定機器や健康に関する資料等の充実	4. 禁煙活動の充実	5. その他

問 43. 【全員が対象です】

本学の学生相談及び生活支援全般に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
-------	---------	---------	-------

11. 就職支援体制について

問 44. 【全員が対象です】
キャリアセンター（米子地区は学務課学生係の就職相談）を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが、知っている
3. 知らない

問 45. 【全員が対象です】
就職に関連するサービス、制度等について、知っているものを全て選んでください。（複数選択可能）

1. 就職相談
2. インターンシップ
3. 就職ガイダンス
4. 鳥大生のための就活セミナー
5. 統合ポータルシステム（就職システム）
6. 就職情報メール配信
7. 就職支援高速バス回数券補助（鳥取地区）
8. 就活支援交通費補助（米子地区）
9. 学内企業説明会（合同、個別）
10. 学外合同企業説明会用無料バス運行

問 46. 【全員が対象です】
就職活動に関して、大学側にどのようなことを最も期待しますか。

1. キャリアセンターによる就職相談の充実
2. 各学部の就職担当教員の指導・助言
3. ガイダンス・セミナーの充実
4. 情報提供
5. 経済的支援
6. 今のままでよい
7. 特に期待していない
8. 就職活動をまだ行っていない

問 47. 【全員が対象です】
本学の就職支援全般に満足していますか。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

12. 大学の施設について

問 48. 【全員が対象です】
本学の施設・設備の充実度及び利用のしやすさについて、良いと感じている施設を回答してください。（複数選択可能）

1. 駐車場
2. 体育施設
3. 駐輪場
4. 課外活動施設（大学会館、共用施設、部室棟他）
5. 実験室・実習室
6. 生協食堂
7. スタディールーム・リフレッシュルーム
8. 講義室
9. 生協ショップ

13. カリキュラムについて

問 49. 本学のカリキュラムについて尋ねます。
【学部学生の人に尋ねます】

1) 全学共通科目の科目数や内容に満足していますか。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

2) 満足又はやや満足の理由は何ですか。（複数選択可能）

1. 役に立つ科目が多い
2. その他
3. 希望した科目が受けられる
4. 受けたい科目がある
5. 科目選択の幅が多い

3) 学部の専門科目の科目数や内容に満足していますか。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

4) 満足又はやや満足の理由は何ですか。（複数選択可能）

1. 役に立つ科目が多い
2. その他
3. 希望した科目が受けられる
4. 受けたい科目がある
5. 科目選択の幅が多い

【大学院学生の人に尋ねます】

1) 大学院の授業科目の科目数や内容に満足していますか。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満

2) 満足又はやや満足の理由は何ですか。（複数選択可能）

1. 役に立つ科目が多い
2. その他
3. 希望した科目が受けられる
4. 受けたい科目がある
5. 科目選択の幅が多い

14. その他

問 50. 【全員が対象です】
本学の教職員の対応はどうですか。

1. よい
2. 普通
3. 悪い

問 51. 【全員が対象です】
教職員に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。

問 52. 【全員が対象です】
本学に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。